

本法施行令第三十三條ニ於テ「地租、所得税及ヒ營業稅ノ三種ヲ以テ直接國稅ト爲ス」ト定メ「但シ所得稅法第三條第一項第二種ノ所得中、無記名債權ノ所得ニ係ル所得稅ヲ除ク」トアリ

地租ノ納稅年限ハ納稅者ト爲リタル日ヨリ起算ス

十圓以上ヲ納メトアリ若シ納稅義務ヲ有スル者怠納シタルトキハ十圓以上ヲ納メルト云フ可ラサルカ

曰、十圓以上ヲ納ムヘキ義務ヲ負擔スルモノハ假令怠納ノタメ現實ニ納稅セサルモ尙ホ十圓以上ヲ納メト云フコトニ該當シ本條ノ條件ヲ具フルモノトナル

土地臺帳ニ記載セラレタル土地ノ納稅價格ハ十圓ニ達スルモ災害其他ノ理由ニ依リ免租又ハ減減ノ處分ニ依リ實際十圓ニ達セサルトキハ地租十圓以上ヲ納メト云フコトニ該當セサルカ

曰、實際、地租十圓以上ヲ納メサレハ土地臺帳ノ名義上、十圓以上ヲ納ムヘキモノナルモ本條謂フ所ノ十圓以上ヲ納メニ該當セス從テ選舉資格ナシ

共有地ノ地租ハ之ヲ納稅額ニ加算スルコトヲ得ルヤ若シ加算スルコトヲ得ルトセハ如何ナル計算ヲ以テ之ヲ納稅額ニ加フヘキヤ

曰、共有地ヨリ生スル納稅義務モ納稅義務タル性質ニ於テ異ナル所ナキニヨリ之ヲ共有者本來ノ納稅額ニ加算スヘキコト勿論ナリ而加算スル程度ハ左ノ如シ」民法第二百五十條ニヨレハ各

共有者ノ持分ハ相均シキモノト推定トアリ故ニ持分ニ關シ別段ノ定ナキモノハ法律ノ推定ニ從ヒ各自ノ持分ハ平等ナリトス持分既ニ平等ナリトセハ持分アルカタメニ生スル納稅義務モ平等ナリト云ハサル可ラス從テ納稅額ヲ平分シタルモノヲ以テ共有者本來ノ納稅額ニ加算スヘキモノトス

本條第二項ニ關スル說明

家督相續ノ效力ハ家督相續人ヲシテ相續開始ノ時ヨリ前戸主ノ有セシ一切ノ私權及義務ヲ承繼セシムルコト民法第九百八十六條ノ規定スル所ナリ然モ納稅義務ハ公法上ノ義務ナルヲ以テ私法上ノ義務承繼ニ關スル前記民法第九百八十六條ノ規定ヲ以テ納稅義務ノ繼續スルヤ否ヤヲ定ムル能ハス是レ特ニ本項ヲ設ケテ納稅義務ノ繼承ヲ規定シ家督相續ニヨリ財產ヲ取得シタル者ハ其相續シタル財產ニ關シ被相續人カ爲シタル納稅ヲ相續人ニ承繼セシメ以テ本條第一項第三號ニ規定スル納稅ニヨル要件ヲ充タサシムルコトトセリ

本項ニ關スル注意事項アリ左ノ如シ

- 一、家督相續ニ依リ財產ヲ取得シタルモノハ登記ヲ經サルモ本項ノ適用ヲ受クヘキヤ
- 登記ハ公示方法ニシテ登記ノタメ財產權ノ移轉アルモノニアラサレハ本條ノ適用ニ付テハ登記ヲ要セス相續シタル日ヲ以テ相續財產ハ相續人ノ所有ニ歸スルニヨリ本項ノ適用ニ關シテハ登記ヲ必要トセス

- 二、選舉名簿調製期日後ニ於テ家督相續ニ由リ財產ヲ取得シタル場合ト雖モ其確定前ニ於テハ選舉人トシテ名簿ニ登載ヲ求ムルコトヲ得
- 三、納稅額十圓未滿ノ家督相續ヲ爲シタル場合ト雖モ自己從來ノ納稅額ヲ合算シ十圓以上トナルトキハ所謂、十圓以上ノ納稅者トナリ本條ノ規定ニ依リ選舉人タル資格ヲ有スルニ至ル然トモ被相續人カ俸給ニ依ル所得ハ財產ニ關スル納稅ニアラサルヲ以テ相續人ハ被相續人ノ納稅ヲ承繼シテ選舉資格ヲ有スル能ハサルモノトス
- 四、營業ヲ相續シ尙ホ引續キ營業スルトキハ相續人ハ被相續人ノ營業稅ヲ繼承シテ選舉資格ヲ有スルコトヲ得ルモノトス

第九條 前條ノ要件中其年限ニ關スルモノハ行政區畫變更ノ爲メ中斷セラルルコトナシ

「解」 行政區畫ノ變更ハ第七條ノ解ニ於テ説明シタリ

中斷トハ一定ノ期間經過中、事故ノ生セシタメ是迄經過シ來リタル期間ノ利益ヲ失ハシムルヲ云フ例ヘハ民法ニ規定スル債權(例、貸金)ノ時効期間ハ十年ナリ(第六十七條)而此時効期間ノ進行中、債權者カ債務者ニ向テ請求又ハ差押ヲ爲セハ時効ノ進行ハ中斷セラル故ニ貸金ノ返濟期限到來セハ其翌日ヨリ時効期間進行シ夫レヨリ十年ヲ經過スレハ消滅時効ニヨリ債權消滅シ債務者ハ義務ヲ免カルルモ若シ時効進行後五年ニシテ債權者カ債務者ニ對シテ辨濟ノ請求ヲ爲セハ此請求ハ時効ノ中斷原因ナルヲ以テ是レ迄進行シタル五年ノ經過ハ全ク消

滅シ更ニ其後十年ヲ經過セサレハ時効ノ利益ヲ受クル能ハサルモノナリ

前條ノ要件中其年限トハ前條第二號ノ住所年限ノミヲ指シ前條第三號ニ規定セル納稅年限ヲ含マス何トナレハ本法ハ舊選舉法ノ如ク納稅スルニ付テハ一定ノ土地タルコトヲ必要トセス一定ノ稅額(十圓以上)ヲ一定ノ年限(一年以上)納稅スレハ前條第三號ノ要件ヲ充タスコトナル從テ行政區畫ノ變更ニヨリ甲縣ノ納稅者タリシ者カ乙縣ニ於ケル納稅者トナルモ選舉資格ニハ何等ノ影響ナケレハナリ

「説明」 行政區畫ヲ變更セハ選舉區ニ變動ヲ生シ選舉區ニ變更ヲ生セハ從來甲縣某選舉區ノ住民タリシモノヲ變シテ乙縣某選舉區ノ住民トナル隨テ一年以上同地ニ住スル者モ第八條第二號ニ謂フ所ノ一年以上其選舉區内ニ住所ヲ有シト云フコトハ能ハサルニ至リ其結果、一定ノ住所ニ於ケル一年以上ノ期間ノ經過ヲ中斷スルコトトナルカ如キ疑アリ本條ハ此疑問ヲ解決シ此場合ニハ期間經過ノ中斷ナク隨テ選舉資格ニ何等ノ影響ナキコトヲ明定セリ例ヘハ從來甲縣ノ某選舉區ニ住所ヲ有シタリシニ行政區畫ノ變更ニヨリ其後乙縣ニ編入セラレタリ此場合ニ乙縣ノ某選舉區ニ於テハ未タ一年ヲ經サルモ甲縣ノ某選舉區ニ住居シタル年限ヲ加算シテ第八條第二號ニ規定スル條件ヲ充タスモノトシ從テ選舉權ヲ有セシムルガ如シ

第十條 帝國臣民タル男子ニシテ年齡滿三十歲以上ノ者ハ被選舉權ヲ爲ス

「説明」 本條ハ被選舉權ノ要件ヲ規定シタルモノニシテ其所謂、要件トハ(1)帝國臣民タルコト(2)

男子タルコト(3)年齢滿三十歲以上タルコト是ナリ
 帝國臣民ノ意義及ヒ帝國臣民タルコトヲ要件トスル理由ニ付テハ第八條ノ解ニ於テ詳説シタルニ依リ略ス唯々選舉權ト被選舉權トノ間ニ於テ生スル差異ハ外國人タリシ者カ帝國臣民トナリシ場合ニ於テ之レアリ詳シク云ヘハ歸化人及ヒ歸化人ノ子ニシテ日本臣民トナリシ者及ヒ日本人ノ養子又ハ入夫ト爲リシタメ日本臣民トナリシ者ハ選舉權ヲ有スルモ被選舉權ヲ有セス(即チ帝國議會ノ議員トナルコトヲ得ス)(國籍法第十六條第七號)但シ五年又ハ十年ノ後(歸化ノ種類ニヨリ)内務大臣カ勅裁ヲ經テ前記ノ帝國臣民ニ被選舉權ヲモ有セシムルコトヲ得ヘシ(國籍法第十七條)

被選舉權者ノ年齢ヲ選舉權者ノ年齢ヨリ五年ヲ増加シタル所以ハ選舉セラレテ議員トナリ直接ニ立法事業ニ從來スル者ハ單ニ議員ヲ選舉スルヨリ一層大ナル智識經驗ヲ要スルニヨルニシテ、被選舉權者ノ命令ニ關スル各國ノ法制ヲ閱スルニ瑞典ハ二十歲トシテ英吉利、伊太利ハ二十一歲トシ佛蘭西、獨逸、白耳義、羅馬、瑞典ハ二十五歲トシ普魯西、埃及、希臘、那成等ハ三十歲ト爲セリ

本法ニ於テハ被選舉權者ノ資格ヲ前記ノ三個ト爲スト雖モ舊選舉法ニ於テハ選出セラレントスル選舉區ヲ管轄スル府縣内ニ於テ直接國稅十五圓以上ヲ納ムルコトヲ以テ被選舉權ノ一要件トセリ又他國ノ法制ヲ案スルニ北米合衆國ノ一部、埃及、瑞典、那威等ハ何レモ被選舉權ニ一

定ノ納稅資格ヲ必要トセリ然トモ被選舉權ノ資格ヲ嚴重ニセハ自然適任者ヲ得ルニ困難ナルヲ以テ本法ハ英吉利、伊太利、白耳義、獨逸、普魯西、瑞典、羅馬諸國ノ法制ト同シク納稅資格ニ關スル要件ヲ削除セリ

第十一條 左ニ掲クル者ハ選舉權及被選舉權ヲ有セス

- 一、禁治產者及準禁治產者
- 二、身代限ノ處分ヲ受ケ債務ノ辨濟ヲ終ヘサル者及家資分散若クハ破産ノ宣告ヲ受ケ其確定シタルトキヨリ復權ノ決定確定スルニ至ル迄ノ者
- 三、剝奪公權及停止公權
- 四、禁錮以上ノ刑ノ宣告ヲ受ケタルトキヨリ其ノ裁判確定スルニ至ル迄ノ者

「解」 禁治產者トハ心神喪失ノ狀況ニ在ル者ニ對シ本人、配偶者、四等親内ノ親族、戶主、後見人、保佐人又ハ檢事ノ請求ニ因リ裁判所カ禁治產ノ宣告ヲ爲シ民事上無能力者トナリタル者ナリ(民法第七條乃至第九條)

準禁治產者トハ心神耗弱者、聾者、啞者、盲者及ヒ浪費者ニ對シ本人、配偶者四親等内ノ親族、戶主、後見人、保佐人又ハ檢事ノ請求ニ因リ裁判所カ準禁治產者ノ宣告ヲ爲シ民事上ノ無能力者ト爲シ民法第十二條ニ規定スル法律行爲ニ付テハ保佐人ノ同意ヲ必要トシ其同意ナクシテ爲シタル行爲ハ之ヲ取消スコトヲ得セシムルモノナリ(民法第十一條乃至第十三條)

身代限トハ債務ノ辨濟ヲ爲ス資力ナキ者ニ對シ其無資力ヲ確定シ財産上ノ信用ヲ喪失セシムル處分ニシテ明治五年太政官布告ニ基キテ行ハレタルモ明治二十四年四月一日民事訴訟法ノ實施ト共ニ廢止セラレタリ

家資分散ノ宣告トハ明治二十年法律第六十九號、家資分散法第一條ニヨリ民事訴訟法ノ強制執行處分ニ因リ義務ヲ辨濟スル資力ナキ債務者ニ對シ無資力ノ狀態ヲ確認スル裁判ナリ

破産宣告トハ明治二十三年法律第三十二號舊商法破産編第九百七十八條ノ規定ニヨリ商人カ支拂ヲ停止シタルトキ本人又ハ債權者ノ申立ニヨリ債務辨濟無資力狀態ヲ確認スル裁判ナリ

剝奪公權トハ舊刑法施行時代重罪ノ刑ニ處セラレタル者ニ對シ附加刑トシテ同法第三十一條ニ規定セル九種ノ公權ヲ終身剝奪スル處分ナリ

停止公權トハ舊刑法施行時代、禁錮ノ刑ニ處セラレタル者ニ對シ附加刑トシテ刑期間及ヒ監視ノ期間内、舊刑法第三十一條ニ規定セル公權ノ行使ヲ停止セル處分ナリ

(備考) 剝奪公權及ヒ停止公權ハ舊刑法ノ廢止ト共ニ廢止ニ歸シ新刑法ニ於テハ如此附加刑ヲ設ケサルニヨリ明治四十一年十月一日新刑法ノ施行ト共ニ此二種ノ附加刑ヲ宣告スルコトナキニ至レリ

「説明」 禁治產者及ヒ準禁治產者ハ精神作用ノ狀態普通人ニ及ハサルニヨリ日常ノ生活關係ニ於テ爲ス所ノ民事商事上ノ取引行爲スラ完全ニ之ヲ爲ス能力ナキモノトシテ民法上、法律行爲

ヲ爲ス能力ナキ者トセラルル自己ノ利害ニノミ止マル民法上ノ行爲スラ之ヲ爲ス能力ナキ者タル以上ハ國民ノ重大ナル公權殊ニ參政權(選舉權及ヒ被選舉權)ヲ行ハシム可ラサルヤ勿論ナリ是レ禁治產者及ヒ準禁治產者ニ選舉權及ヒ被選舉權ヲ與ヘサル所以ナリ

身代限ノ處分ヲ受ケ又ハ家資分散若クハ破産ノ宣告ヲ受ケタル者ハ公益ニ戾リ或ハ他人ノ信用ニ背キ小ニシテハ債權者ニ損害ヲ被ムラシメ大ニシテハ經濟社會ノ秩序ヲ紊亂スル者ナルヲ以テ司法裁判ニヨリ財産上ニ於ケル無資力ノ狀態ヲ確認シ社會公衆ヲ警戒スルト共ニ其當人ヲシテ名譽アル地位ニ付キ若クハ重要ナル公權ヲ行フコトヲ禁ス是レ此等ノ者ニ選舉權及ヒ被選舉權ヲ行ハシメサル所以ナリ但シ身代限ノ處分ヲ受ケタル者ニシテ債務ノ辨濟ヲ終ヘ

又ハ家資分散及ヒ破産ノ宣告ヲ受ケタル者ニシテ復權ノ裁判ヲ受ケ其裁判確定シタルトキハ身代限ノ處分又ハ家資分散若クハ破産宣告ヲ爲シタル理由消滅スルニヨリ普通人同様、名譽ノ地位ニ就カシメ又ハ總テノ公權ヲ行ハシメサル可ラス是レ本條第二號ノ規定ニ依リ身分限代ヲ受ケタル者ハ債務ノ辨濟ヲ終ルマテ又家資分散若クハ破産ノ宣告ヲ受ケタル者ハ復權ノ裁判確定スルマテノ間選舉權及ヒ被選舉權ヲ有セシメサル所以ナリ

舊刑法第三十一條ニ謂フ所ノ公權ノ一種ナル國民ノ特權ハ主トシテ參政權ヲ指シ示スモノナルニヨリ公權ヲ剝奪セラレ若クハ停止セラルレハ選舉權及ヒ被選舉權ヲ喪失スヘキコト勿論ナリトス

第一審裁判所ニ於テ刑ノ宣告アルモ之ニ對シテ控訴スルコトヲ得控訴審ノ有罪判決ニ對シテハ更ニ上告スルコトヲ得、上告審ノ判決確定シテ始メテ裁判ノ確定アリト云フ故ニ第一審ノ有罪判決アリタルヨリ其裁判ノ確定スル迄ニハ長キ月日ヲ要シ長キハ一年以上ニ及フ而有罪ノ裁判確定前ニ於テハ被告人ハ唯タ犯罪ノ嫌疑者ト云フニ止マリ之ヲ犯罪人ト云フ能ハス隨テ刑罰ノ執行ヲ爲スコト能ハス左レトモ既ニ第一審ニ於テ犯罪アリト認メラレ刑罰ノ宣告ヲ受トタルモノナル以テ之ニ參政權ヲ行ハシム可ラス是レ禁錮以上ノ刑ノ宣告ヲ受ケタル者ニ選舉權及ヒ被選舉權ヲ行ハメサル所以ナリ

第十二條 華族ノ戸主ハ選舉權及ヒ被選舉權ヲ有セス

陸海軍々人ニシテ現役中ノ者及戰時若クハ事變ニ際シ召集中ノ者又ハ官立公立私立學校ノ學生、生徒亦前項ニ同シ

「解」 貴族院令第三條及ヒ第四條ニ依レハ華族ノ當主ニシテ公侯爵ヲ有スル者ハ年齡滿二十五歳ニ達スルトキハ當然貴族院議員タルヘク又伯、子、男爵ヲ有スル者ハ貴族院議員ノ互選人タルヲ得ル以上ハ別ニ衆議院議員ノ選舉、被選舉權ヲ有セシムル必要ナシ否ナ理論上、之ヲ併セテ有セシム可ラサルナリ」但シ本條第一項ニハ華族ノ戸主トアルニヨリ戸主ニ非ラサル華族ハ衆議院議員ノ選舉權及ヒ被選舉權ヲ有スルコト勿論ナリトス

問題 貴族院令第六條ニ依リ貴族院議員ノ互選舉權ヲ有スル多額納稅者及貴族院令第五條ニ依リ勅任セラレテ貴族院議員トナリタル者ハ衆議院議員ノ選舉權及ヒ被選舉權ヲ有スルヤ
答 予輩ハ左記二個ノ理由ニ依リ多額納稅者及ヒ勅選議員ハ衆議院議員ノ選舉權及ヒ被選舉權ナシト論定セントス

- (1) 貴族院及衆議院ハ唯一ノ議會ナルモ之ヲ別ツテ兩局ト爲ス之ヲ兩局ト爲ス理由ハ其要素(即チ議員)ヲ異ニスル二個ノ機關カ相對峙牽制シテ完好ナル議決ヲ爲サシメンカタメナリ然ルニ一人ニシテ同時ニ兩院ノ議員ヲ兼ヌルトキハ兩院分設ノ趣旨ニ戾ル
- (2) 憲法第三十六條ニ「何人モ同時ニ兩議院ノ議員タルコトヲ得ス」トアリ既ニ同一人ニシテ同時ニ兩院ノ議員タルコトヲ得サルモノトセハ貴族院議員タリ若クハ貴族院議員タルヘキ資格アル者ニ衆議院議員ノ選舉權及ヒ被選舉權ヲ附與スル理由ナシ

現役中ノ陸海軍、軍人ニ選舉權及ヒ被選舉權ヲ有セシメサル理由如何
軍人ハ國家ノ戰鬪力ヲ組織スルモノナレハ元帥陛下ニ隸屬シ一舉一動總テ軍紀ニ從ハシメサル可ラス然ルニ若シ選舉權ヲ行ハシメ被選舉權ヲ享有セシメ國家ノ政治ニ干與セシムルトキハ不知不識ノ間ニ軍人ノ本性ヲ失却セシムルニ至ル是レ軍人ニ參政權ヲ與ヘサル所以ナリ然レ現役ニアラサル即チ豫備後備ニアル者ハ身軍籍ニ列スルモ現實ニ戰鬪力ヲ組織スル者ニアラサルニ依リ前記現役軍人ノ如キ弊害ナキヲ以テ參政權ヲ認許スルモ不都合ナシ故ニ平常

ハ之ニ參政權ヲ行ハシムルモ戰時事變ニ際シ召集セラレタルトキハ現役軍人ト異ナルコトナ
キニ依リ再ヒ之ニ參政權ヲ行ハシメサルコトトナシヌ

官公立學校ノ學生生徒ニ選舉權及ヒ被選舉權ヲ行ハシメサル理由ハ左ノ如シ

- (1) 在學中ノ者ハ年齡長シテ選舉權若クハ被選舉權ヲ行ヒ得ル時代ニ達スルモ概ネ心經機敏
ニシテ事物ニ感動シ易ク此時代ノ者ヲシテ政治ニ參與セシムルモ適當ニ參政權ヲ行フコト
能ハス

- (2) 在學中政事運動ニ從事セシムレハ學業ヲ疏ンシ無謀ノ舉ヲ企テ終ニ一身ノ方向ヲ過ツ虞
アリ

第十三條 神官、神職、僧侶、其他諸宗ノ教師小學校教員ハ被選舉權ヲ有セス其之ヲ罷メタル後ニ
箇月ヲ經過セサル者亦同シ

政府ノ爲請負ヲ爲ス者又ハ政府ノ爲請負ヲ爲ス法人ノ役員ハ被選舉權ヲ有セス

「解」 神官トハ伊勢神宮ノ職員ニシテ祭主(親任官)宮司(勅任又ハ奏任官)權宮司、禰宜、權禰
宜(以上奏任官)主典、宮掌(以上判任官)ナリ

神職トハ官幣社、國幣社、府縣社、郷社、村社ニ於ケル職員ニシテ官、國幣社ニハ宮司、權宮
司(以上奏任待遇)禰宜、主典(判任待遇)ノ職員アリ府縣社以下ニハ社司、社掌(判任待遇)ノ職
員アリ

僧侶トハ宗教寺法ノ定ムル所ニ從ヒ僧籍ニ編入セラレタル者ナリ

諸宗ノ教師トハ神道、佛教耶蘇教回々教、モルモン宗其他ノ宗教ニ關シ布教ニ從事スル者ヲ
云フ宗教法案第二十五條ハ教師ノ定義ヲ掲ケテ「教師ト稱スルハ教派、宗教、教會又ハ寺ニ屬
シ宗教ノ宣布又ハ宗教上ノ儀式ノ執行ニ從事スル者ヲ云フ」ト蓋シ教師ノ眞意ニ適スル定義
ナリ

請負ノ意義ハ二様アリ(一)民法上、請負ト云ヘハ請負人カ或一定ノ仕事ヲ完全ニ成就セシム
ルコトヲ約シ注問者ハ其仕事ノ結果ニ對シ報酬ヲ與フルコトヲ約スル契約ナリ(第六百三十
二條)(二)通俗ニ謂フ所ノ請負ハ或定マリタル仕事ヲ一定ノ賃銀ヲ以テ成就セシムルコトヲ
約シ若シ其費用カ約定ノ賃銀以上トナレハ請負人ノ損失ニシテ勘定ノ賃銀以下ニテ成就スレ
ハ請負人ノ利益トナル結局仕事ノ完成ニ關シ請負人カ射倖的ノ利益關係ヲ有スル契約ナリ
或人ハ本條ニ謂フ所ノ請負ヲ民法上ノ意義ニ解釋スルモ誤ナリ若シ民法上ノ意義ニ解セハ政
府ト請負人トノ間ハ通常物品ノ賣買ヲ爲ス場合ト同シク請負人ヲシテ議員トナリ監督者ノ地
位ニ立タシム可ラサル理由ナシ若シ此ノ如キ者ヲモ議員タルコトヲ禁セントセハ政府ト賣買
其他ノ契約ヲ爲ス者ハ總テ議員トナルコトヲ禁セサル可ラス通俗ノ意義ニ解セハ請負人ハ政
府ト結ヒタル請負契約ノ結果ニ付キ射倖的ノ利害關係ヲ有スルヲ以テ其地位上、議員トナリ
テ政府ヲ監督スル能ハサルナリ是レ予輩カ本條ニ謂フ所ノ請負人ヲ通俗ノ意義ニ解スヘシト

云フ所以ナリ

政府トハ中央官廳ニシテ具體的ニ云ヘハ各省ナリ府縣廳、道廳、各師團、裁判所等ヲ包マヌ是レ明治三十四年法律第二號北海廳應法ニ於テ北海道廳ノタメ請負ヲ爲ス者ニ對シ道會議員タルコトヲ禁セント欲シ其第七條ニ於テ北海道廳ノタメ云々ト明定シタルニ依レハ單ニ政府トアル場合ニハ北海道廳以下各府縣廳ヲ包含セスト解スルヲ至當トス

法人ノ意義ハ第一卷法學通論ノ部第十一章第三節第三款ニ詳ナリ

請負ヲ爲ス法人ハ商法上ノ法人タル合名會社、合資會社、株式會社、株式合資會社並ニ民法上ノ法人タル營利ヲ目的トスル社團法人ナリ

法人ノ役員トハ業務執行ノ責任アル者ナリ具體的ニ云ヘハ合名會社ニ於テ業務執行者ヲ定メサルトキハ總テノ社員カ茲ニ謂フ所ノ役員ナリ合資會社及ヒ株式合資會社ニ於テ業務執行者ヲ定メサルトキハ無限責任社員カ茲ニ謂フ所ノ役員ナリ株式會社ニ於テハ取締役ノミカ茲ニ所謂、役員ナリ何トナレハ商法第七十一條ニ「取締役ハ各自會社ヲ代表シ第六十二條ノ規定ハ之ヲ取締役ニ準用ス」トアリ而第六十二條ニハ「會社ヲ代表スヘキ社員ハ會社ノ營業ニ關スル一切ノ裁判上又ハ裁判外ノ行爲ヲ爲ス權限ヲ有ス」トアルニ取締役カ會社ノ營業ニ關スル一切ノ行爲ヲ爲スコト明ナレハナリ營利ヲ目的トスル社團法人ニ於テハ理事カ業務ノ執行者ナルヲ以テ茲ニ謂フ所ノ役員ナリ

「説明」

神官、神職、僧侶其他諸宗ノ教師ニ被選舉權ヲ與ヘサルハ政治ト宗教トヲ全然分離スル趣旨ニ出テタルモノニシテ古來政教一致ノタメ國政ヲ紊亂シタル弊ヲ鑑ミ現ニ宗教ニ關係アル者ヲシテ斷然立法參政ノ職務ニ就クコトヲ得セシメサルモノナリ
小學校教員ヲシテ衆議院議員タラシメサルハ國民教育ノ重任ヲ負フモノナルヲ以テ若シ之ヲシテ政治ニ參與セシムレハ常ニ權謀術數ヲ弄スル爲政治家ノ慣行ヲ養生スル結果、不知不識ノ間ニ之ヲ學校教育ニ波及セシメ自然兒童ノ教化ヲ誤マリ隨テ又教育ノ本旨ニモ悖戾スルニ至レハナリ但シ小學校教員ニ限リ此制限アルハ小學就學ノ兒童ハ其思想極メテ軟弱ニシテ教師ノ思想ニ感化セラレ易キモノナレハナリ

第一項ニ列記スル神職以下ノ者其職ヲ罷ムルモ三ヶ月間ハ尙ホ被選舉權ヲ有セストスルハ選舉ノ前日、職ヲ罷メ翌日直チニ議員トナリタル實例アリ此ノ如キハ本條第一項ノ規定ヲシテ空文ニ歸セシムルモノナルヲ以テ舊選舉法ニ此規定ナカリシニ拘ハラヌ本法ニ於テハ第一項ニ於テ其之ヲ罷タル後以下ヲ創設シタル所以ナリ

政府ノタメ請負ヲ爲ス者又ハ政府ノタメ請負ヲ爲ス法人ノ役員ヲシテ被選舉權ヲ有セシメサル理由ハ左ノ如シ 曰、此等ノ者ハ政府ノ監督ヲ受ケテ請負事務ヲ執行スル者ナリ然ルニ衆議院議員ハ政府ヲ監督スル職責アリ故ニ若シ此等ノ者ヲシテ衆議院議員タラシメハ一面ニ於テハ政府ノ監督ヲ受ケ其反面ニ於テハ反テ政府ヲ監督スルニ至リ監督ト被監督ノ兩資格一身

ニ混同シ議員カ政府ヲ監督スル實效ヲ奏スル能ハサルニ至ル是レ此等ノ者ヲシテ衆議院議員
タラシメサル所以ナリ但シ此等ノ者ヲシテ議員タラシメサル理由ハ前述ノ如クナルヲ以テ若
シ選舉ノ當日既ニ請負契約ノ關係ヲ全ク解除スルトキハ被選舉權ヲ有セシムヘキコト勿論ナ
リトス

第十四條 選舉事務ニ關係アル官吏吏員ハ其選舉區内ニ於テ被選舉權ヲ有セス其之ヲ罷メタル後三
箇月ヲ經過セサル者亦同シ

「解」 官吏トハ府縣知事、郡長、及ヒ府縣屬、郡書記ナリ

吏員トハ市長、町村長並ニ市町村制ニヨリ吏員タル資格ヲ有スル市町村役所ノ役員ナリ

「說明」 選舉事務ニ關係アル官吏、吏員ハ選舉權者ニ對シ威迫、強制、等不正ノ行爲ヲ爲シ易ク
若シ此等ノ官吏、吏員ニ被選舉權ヲ有セシムヘントセンカ不正ノ手段ニヨリ容易ニ當選者ト
ナル恐アリ是レ此等ノ官吏、吏員ニ被選舉權ヲ與ヘサル所以ナリ

此等ノ官吏、吏員ハ其職ヲ罷メタル後尙ホ三個月内、被選舉權ヲ有セシメサルハ前條一項ノ
場合ニ同シ(前條第一項ノ義解ヲ參照スヘシ)

第十五條 宮内官、判事、檢事、行政裁判所長官、行政裁判所評定官、會計検査官、收税官吏、警
察官吏ハ被選舉權ヲ有セス

「解」 宮内官トハ官制ニ謂フ所ノ宮内省ノ官吏ニシテ其性質ハ國家ノ政務ニ關係セス帝室ノ内

政ニノミ從事スルモノナリ

會計検査官トハ會計検査院長、會計検査院部長、會計検査官ナリ

收税官吏トハ直接ニ收稅事務ニ從事スル官吏ニシテ具體的ニ云ヘハ稅務管理局長、司稅官、稅務
屬、稅務管理局ニ屬スル技手、稅關ノ吏員等ナリ

警察官吏トハ警視總監、警部長、警視、警部、巡查ヲ云フ

「解」 本條ニ列記スル官吏ハ其職務ノ性質上衆議院議員ト相兼ヌルコトヲ許ササルモノナリ左
フ左ニ各種ノ官吏ニ付キ其職務ノ性質上、議員ヲ兼ヌルコトヲ得サル所以ヲ説明セン

宮内官ハ帝室内部ノ吏員ナリ若シ之ニ議員タルコトヲ得セシメハ帝室ヲ政治政論ノ渦中へ牽
キ入ルル恐アリ是レ宮内官吏ニ被選舉權ヲ與ヘサル所以ナリ

判事、檢事ハ司法機關ノ中樞ナリ若シ之ヲ立法議院ノ議員タラシメハ三權分立ノ趣旨ニ從ヒ
司法機關タル裁判所ト立法機關タル帝國議會ヲ獨立並存セシムルコト能ハサルニ至ル虞ア
リ

行政裁判所長官及ヒ行政裁判所評定官ハ本條ノ外、行政裁判法第四條ニ依リ公然政事ニ關係
スルコトヲ禁セラル其理由ハ「此種ノ官吏ハ不法ノ行政處分ニ因リ侵害セラレタル權利ヲ救
濟スル職責ヲ有シ同時ニ行政官應ニ對シ監督者ノ地位ニ立ツ者ナルカ故ニ政事ヨリ獨立セシ
メサレハ完全ニ其職務ヲ盡スコト能ハス」ト云フニアリ

會計検査官ハ本條ノ外、會計検査院法第八條ニヨリ帝國議會ノ議員タルコトヲ禁セラル其理由ハ左ノ如シ 曰、政府カ歳入歳出ノ決算案ヲ議院ニ提出スルニ先チ會計検査院ニ於テ之ヲ検査確定スルモノニシテ(憲法第七十二條)會計検査官ノ職務ハ政府ノ財政行爲ニ對シ一種ノ裁判ヲ爲スモノナレハ政事ヨリ獨立セシメサレハ其職務ヲ行フコト能ハサルナリ 收税官吏ハ親シク國稅ノ賦課徵收ニ從事スル者ナレハ若シ之ニ被選舉權ヲ與フルトキハ其職權ヲ濫用シ妄リニ選舉權者ノ意思ヲ動カシ不公平ナル選舉ヲ爲サシムル恐アリ之レ收税官吏ニ被選舉權ヲ與ヘサル所以ナリ

警察官吏ハ司法警察事務ニ從事スルト將タ司法警察事務ニ從事スルトノ區別ナク政治ニ關シテ公平ナル處置ヲ爲シ從テ社會ノ安寧秩序ヲ保持セシムル職責アリ然ルニ若シ警察官吏カ被選舉權ヲ有シ公然政事ニ奔走スルニ於テハ公安秩序ヲ保持スル能ハサルヘシ是レ警察官吏ニ被選舉權ヲ與ヘサル所以ナリ

第十六條 前條ノ外ノ官吏ハ其職務ニ妨ケナキ限ハ議員ヲ相兼ヌルコトヲ得

〔解〕 官吏カ議員タルニ於テ官職ノ執行ニ妨アルヤ否ヤハ所屬長官ノ認定ニ一任セラル故ニ一見スレハ前條列記以外ノ官吏ハ無制限ニ議員タルコトヲ得ルカ如キモ其實ハ所屬長官ノ許可ヲ得サレハ議員タルコトヲ得サルモノトス

第十七條 府縣會議員ハ衆議院議員ト相兼ヌルコトヲ得ス

〔解〕 何故府縣會議員ト衆議院議員ハ之ヲ兼ヌルコトヲ得サルカ 曰、衆議院議員ハ帝國々民ノ意思ヲ代表シテ其利益ヲ企畫スルモノナリ反之府縣會議員ハ府縣民ノ意思ヲ代表シテ其利益ヲ計ルモノナリ故ニ若シ此兩資格ヲ兼有セシムレハ勢ヒ地方的利益ヲ計ルタメ全國一般ノ利益ヲ犠牲ニ供スル恐アリ是レ府縣會議員ニ衆議院議員ヲ兼ネシメサル所以ナリ

第三章 選舉人名簿

第十八條 町村長ハ毎年十月一日ノ現在ニ依リ其町村内ニ住所ヲ有スル者ノ選舉資格ヲ調査シ選舉人名簿正副二通ヲ調製シ十月十五日直ニ郡長ニ送付スヘシ

郡長ハ町村長ヨリ送付シタル名簿ヲ調査シ其修正スヘキモノハ修正ヲ加ヘ副本ハ十月三十一日迄ニ之ヲ町村長ニ送付スヘシ

市長ハ毎年十月一日ノ現在ニ依リ其市内ニ住所ヲ有スル者ノ選舉資格ヲ調査シ十月三十一日迄ニ選舉人名簿ヲ調製スヘシ

選舉人名簿ニハ選舉人ノ氏名、官位、職業、身分、住所、生年月、納稅額及納稅地等ヲ記載スヘシ
〔解〕 選舉人名簿トハ選舉人ノ氏名其他選舉權ニ關係アル事項ヲ登錄シ以テ選舉權ヲ有スルコトヲ公ニ證明スルモノナリ故ニ實際選舉權ヲ有スルモ之ニ登錄セラレサル者ハ選舉權ヲ行フコトヲ得サルナリ

「説明」 本條ハ選舉人名簿調製ノ時期、調製者、記載事項ヲ規定シタル條文ナリ

選舉人名簿ニ記載スヘキ事項ハ第三項ニ規定スルハ八種ノ事項ナリ「選舉人ノ氏名ヲ記載スル所以ハ氏名ハ特定人カ選舉權ヲ有スルヤ否ヤヲ判斷スル基本ノ標識ナレハナリ官位ヲ記載スル所以ハ官位アルカ爲メニ選舉資格ナキ者アレハナリ例ヘハ陸海軍ノ軍人ノ如シ職業ヲ記載スルハ職業ノ爲メニ選舉資格ナキ者アレハナリ例ヘハ神官、神職、僧侶、諸宗ノ教師、小學校教員ノ如シ身分ヲ記載スルハ一定ノ身分アルカ爲メニ選舉資格ナキ者アリ例ヘハ華族ノ當主ノ如シ住所ヲ記載スルハ第八條第二號ノ要件ヲ具フルコトヲ明ニセンカタメナリ生年月ヲ記載スルハ年齢ノ二十五歳ニ達シ第八條第一號ノ要件ヲ具フルヤ否ヤヲ調査スル便ニ供センカタメナリ納稅額ヲ記載スルハ第八條第三號ノ條件ヲ具フルヤ否ヤヲ明ニセンカタメナリ（納稅地ハ納稅ノ由テ生スル所ナルニヨリ序次之ヲ記載スルニ止マリ殊ニ大ナル必要ナシ）

第十九條 選舉人住其所ヲ有スル市町村外ニ於テ直接國稅ヲ納ムルトキハ命令ノ定ムル所ニ依リ其證明ヲ得テ十月五日迄ニ其住所地ノ市町村長ニ届出ツヘシ其期日迄ニ届出ヲ爲ササルトキハ其納稅ハ選舉人名簿ニ記載セラルヘキ要件ニ算入セス

「解」 命令ト云フモ通俗ノ意義ニ於ケル一個々々ノ命令ト云フ意ニアラス法規ノ性質ヲ有スル閣令省令、府縣令ヲ命令ト云フ本條ニ謂フ所ノ命令ハ明治三十四年十月七日內務省令第二十七號ナリ（附錄第二參照）

「説明」 選舉資格ノ一要件タル納稅ハ住所地ニ於テスルコトヲ要セス帝國内何レノ地ニ於テ納稅スルモ皆ナ住所地ニ於ケル納稅ニ合算セラル然ルニ住所ヲ有スル市町村外ニ於ケル納稅ハ住所ヲ有スル地ノ市町村役場ニ於テ之ヲ知ルコトヲ得サルカユヘニ納稅地ノ市町村役場ニ於テ納稅額ノ證明ヲ受ケ之ヲ住所地ノ市町村役場ニ届出テ始テ其納稅額ヲ選舉人名簿ニ記載セシムルコトトセリ

選舉ノ資格ハ十月一日ヲ期トシテ調査スルカユヘニ十月一日以後ニアラサレハ精確ナル納稅ヲ知ルコト能ハス故ニ納稅地ノ市町村役場ニ於テ納稅額ヲ證明スルモ十月一日以後ナリ十月額一日以後ニ證明ヲ得ハ遠隔ノ地ニ於テハ本條ノ規定通り十月五日迄ニ住所地ノ市町村長ニ届出ツルコト能ハサルコトアラム斯ル場合ニハ第二十二條ニ依テ保護ヲ受クルコトヲ得ヘシ

第二十條 郡長、市町村長ハ十一月五日ヨリ十五日間其應又ハ地方長官ノ許可ヲ得タル場所ニ於テ選舉人名簿ヲ縦覽ニ供スヘシ

「説明」 選舉人名簿ハ或人カ選舉權ヲ有スルコトヲ公ニ證明スルモノナレハ其記載ノ正確ナルト否トハ殊ニ之ニ登録セラルト否トハ選舉人ノ權利ニ大ナル影響ヲ及ホスモノナリ故ニ若シ其記載ニ誤謬アレハ選舉權者ヲシテ其訂正ヲ求ムル途ヲ開カサル可ラス而此訂正ノ目的ヲ達セシメンカタメニハ公ニ選舉人名簿ノ縦覽ヲ許シ或特定ノ選舉人ヲシテ自己ニ關スル記載事項カ正當ナルヤ否ヤヲ調査セシムル必要アリ是レ本條ノ規定アル所以ナリ

第二十一條 選舉人名簿ニ脱漏又ハ誤載アルコトヲ發見シタルトキハ其理由書及證憑ヲ具ヘテ之ヲ郡市長ニ申立ツルコトヲ得

「解」 脱漏トハ選舉人タル資格ヲ具フル者ニシテ選舉人名簿ニ登錄セラレサルヲ云フ

誤載トハ選舉人タル資格ナキ者ニシテ選舉人名簿ニ登錄セラレタルヲ云フ

「說明」 選舉人名簿ニ脱漏又誤載アルトキハ一人一個ノ權利ヲ消長セシムルノミナラス選舉ヲ適法ナラシムル一般ノ公益ニ關スルヲ以テ本人ハ勿論一般ノ選舉人ハ理由書及證憑ヲ具シテ其訂正ヲ求ムルコトヲ得ヘシ但シ其訂正申立ハ文書ヲ以テ選舉人名簿縦覽期限内ニ爲スヘキモノトス(第二十二條參照)

第二十二條 選舉人正當ノ事故ニ因リ第十九條ノ手續ヲ爲スコト能ハスシテ選舉人名簿ニ登錄セラレサルトキ亦前條ノ例ニ依ル

「說明」 正當ノ事故トハ選舉人ノ過失怠慢ニ基カサル場合ニシテ取扱吏員ノ手續上、期日ヲ過クルニ至ラシメタルヲ云フ例ヘハ證明ヲ爲スヘキ任務アル市町村長ヲ適法ニ手續ヲ爲スヘキ期日前ニ證明願ヲ受ケ乍ラ十月五日迄ニ届出ララル證明書ヲ下附セサリシカ如キ又通常ノ場合ナレハ十月五日迄ニ證明書ノ到着スヘキモノナルニ天災地變等ノ爲メ郵便ノ遲着シタル場合ノ如シ

「說明」 選舉資格ヲ有スル者カ住所外ニ於テ直接國稅ヲ納ムルニキハ本法第十九條ニヨリ十

月五日迄ニ住所ノ市町村役場ニ届出ヲ爲スコトヲ要ス若シ此届出ヲ爲ササレハ其納稅額ハ選舉人名簿ニ記載セラルヘキ要件ニ算入セラレヌ若シモ選舉人ノ懈怠ニ依ル場合ニハ當然ノ制裁ナリト雖モ選舉人ニ正當ノ事由アリ前記ノ如ク第十九條ノ手續ヲ爲ス能ハサル場合ニハ選舉人ニ對シテ酷ニ失ス是レ本條ノ規定ニ依リ十月五日迄ニ住所外ニ於テ納稅額ヲ住所ノ市町村長ニ届出ツル能ハサリシ理由書及ヒ其證憑ヲ具ヘ之ヲ管轄郡市長ニ申立テ選舉人名簿ノ訂正ヲ爲サシムル所以ナリ

第二十三條 縦覽期限ヲ經過シタルトキハ前二條ノ申立ヲ爲スコトヲ得ス

「說明」 第二十一條及ヒ第二十二條ハ選舉人ノ過失懈怠ニ基カスシテ選舉人ノ不利益ニ選舉人名簿カ調製セラレタル場合ニ其選舉人ノ不利益ヲ救済スルタメ設ケタル規定ナリ然トモ若シ無制限ニ此救済ヲ許ストキハ選舉人名簿確定ノ期ナク隨テ種々ノ弊害ヲ生スヘキニヨリ前二條ノ規定ニヨリ選舉人ノ不利益ヲ救済スル申立ハ選舉人名簿縦覽期限内ト爲シ其後ニ於テハ一切其申立ヲ許ササルモノトセリ

第二十四條 郡市長ニ於テ第二十一條第二十二條ノ申立ヲ受ケタルトキハ其理由及證憑ヲ審査シ申立ヲ受ケタル日ヨリ二十日以内ニ之ヲ決定スヘシ
其申立ヲ正當ナリト決定シタルトキハ直ニ選舉人名簿ヲ修正シ其由ヲ申立人及關係人ニ通知シ併セテ其要領ヲ告示スヘシ其申立ヲ正當ナラスト決定シタルトキハ之ヲ申立人ニ通知スヘシ

前項ニ依リ名簿ヲ修正シタルトキハ郡長ハ其由ヲ本人住所地ノ町村長ニ通知スヘシ

「解」 關係人トハ選舉人名簿ノ訂正ニ關シ利害關係ヲ有スル人ニシテ詳シク云ヘハ申立人ノ申立ニ依リ選舉人名簿ニ記載セラレテ選舉人タル資格ヲ得若クハ名簿ヨリ削除セラレテ選舉資格ヲ失フヘキ人ナリ

「説明」 本條第一項ハ郡市長カ選舉人名簿ノ訂正ニ關スル申立ヲ受ケタルトキ之ニ對スル處分方法ヲ規定シタルモノニシテ訂正申立ヲ是認スルト否認スルトニヨリテ大ニ其結果ヲ異ニス選舉人名簿訂正ノ申立ヲ正當ナリト決定シ其名簿ヲ訂正シタルトキハ選舉人名簿ヲ修正シタル由ヲ申立人及關係人ニ通知シ並ニ其要領ヲ告示スル(第二項前段)外郡長ハ選舉人名簿ニ記載セラレ又ハ人名簿ヨリ削除セラレタル本人ノ住所地ノ町村長ニ修正シタルコトヲ通知シ町村長ハ此通知ヲ受ケテ其保管スル選舉人名簿ヲ修正スヘキモノトス

第二十五條 前條郡市長ノ決定ニ不服アル申立人及關係人ハ郡市長ヲ被告トシ決定ノ通告ヲ受ケタル日ヨリ七日以内ニ地方裁判所ニ出訴スルコト得

前項地方裁判所ノ判決ニ對シテハ控訴スルコトヲ許サス但大審院ニ上告スルコトヲ得

「解」 第二十四條ニ規定スル郡市長ノ決定ハ時ニ公平ヲ失スルコトアリ又誤謬ノ決定ヲ爲ヌコトアリ此ノ如キ場合ニ之ヲ救済スル手續ナクハ選舉人タルヘキ者ノ權利完全ナラサル虞アリ是レ本條第一項ヲ設ケ第二十四條ニ基ク郡市長ノ決定ニ對シ地方裁判所ニ選舉人名簿修正

ノ訴ヲ起スコトヲ許ス所以ナリ

此場合ニ地方裁判所カ下シタル判決ニ對シ控訴スルコトヲ許ササルハ地方裁判所ノ判決ハ其實質ニ於テ通常ノ訴訟ニ於ケル控訴ノ裁判ニ該當スルヲ以テ再ヒ控訴ノ審理ヲ爲サシムル必要ナキニ由ル

地方裁判所及大審院ニ於テ選舉ニ關スル訴訟ヲ受理シタルトキハ本法第百五條ノ規定ニヨリ他ノ訴訟ノ順序ニ拘ハラヌ直ニ裁判ヲ爲スヘキモノトス蓋シ選舉訴訟ハ公權ノ行使ニ關スル爭議ニシテ公益上速ニ之ヲ決定スル必要アルニ由ルモノナリ

第二十六條 町村長ハ十一月二十日ヨリ十二月十日迄ノ間ニ其管理ニ屬スル選舉人名簿ヲ郡長ニ送付スヘシ

前項名簿ノ送付ヲ受ケタル郡長ハ之ヲ調査シ其修正スヘキモノハ修正ヲ加ヘ十二月二十日迄ニ之ヲ町村長ニ返付スヘシ

「解」 修正トハ第二十一條及ヒ第二十二條ニ基キタル決定又ハ第二十五條ニヨリ地方裁判所又ハ大審院ノ判決ノ結果ニ出テタル訂正ヲ云フレ 此以外ニ於テ脱漏誤記等ノコトアルモ既ニ縦覽期限ニ入りタルトキハ之ヲ修正ス可ラス又選舉權者ノ死亡若クハ選舉權ヲ行フコトヲ得サル官吏ニ任セラレ或ハ選舉權ヲ行フコトヲ得サル職業ニ就キタル場合ノ如キハ付箋ヲ以テ之ヲ標示スルニ止メ名簿中ヨリ削除スルコトヲ許サス

「説明」 選舉人名簿ノ正本ハ郡長之ヲ管理シ其副本ハ町村長之ヲ管理ス而正副ノ間常ニ記載事項ノ一致スルコトヲ必要トスルヤ勿論ナリ故ニ若シ第二十四條ノ規定ニ依リ郡長カ其管理スル名簿ヲ修正シタルトキハ町村長ノ管理スル副本ヲモ修正セシムル必要アリ然ルニ正本ヲ修正スル毎ニ副本ヲ修正スルタメ町村長ヨリ其副本ヲ送付セシムルトキハ煩雜ニ失ス加之縦覽期限内ナルトキハ町村役場備付ノ選舉人名簿ハ之ヲ郡役所ニ送付スル能ハス於此乎、縦覽期限ノ終リタル後(即チ十一月二十日以後)ニ於テ町村役場備付ノ名簿ヲ郡役所ニ送付セシメ郡長ハ之ヲ正本ト對照シ修正スヘキモノハ修正ヲ加ヘタル後、十二月二十日迄ニ之ヲ町村長ニ送付スヘキモノトセリ

第二十七條 選舉人名簿ハ十二月二十日ヲ以テ確定ス

選舉人名簿ハ次年ノ選舉人名簿確定ノ日迄之ヲ据置クヘシ但シ確定判決ニ依リ修正スヘキモノハ郡市長ニ於テ直ニ之ヲ修正シ其ノ要領ヲ告示スヘシ

前項ニ依リ名簿ヲ修正シタルトキハ郡長ハ其ノ由ヲ本人住所地ノ町村長ニ通知シ副本ヲ修正セシムヘシ

天災事變其ノ他ノ事故ニ因リ必要アルトキハ更ニ選舉人名簿ヲ調製スヘシ

前項選舉人名簿ノ調製及其ノ期日、縦覽確定ニ關スル期日、期間等ハ命令ノ定ムル所ニ依ル

「説明」 本條ハ(1)選舉人名簿ノ確定(2)確定ノ期間(3)確定ノ例外ヲ規定シタルモノナリ

選舉人名簿ハ其年十二月二十日ヲ以テ確定シ次年ノ選舉人名簿確定ノ日迄繼續ス蓋シ十二月二十日ヲ以テ名簿確定ノ期日ト爲セシ所以ハ此期日ハ郡長カ町村長ヨリ送り來ル名簿ヲ修正シ之ヲ町村長ニ送付スル時期ナレハ若シ此以前ニ於テ確定時期ヲ定ムレハ町村長ハ確定シタル名簿ノ内容ヲ知ルニ由ナキニ拘ハラス管轄内ノ選舉人ニ對シ確定シタルモノトシテ取扱ヲ爲スヘキ不都合アレハナリ

選舉人名簿確定ノ効果ハ確定後ハ名簿ノ記載事項ノ變更ヲ許ササルニアリ詳言スレハ確定後選舉資格ヲ失ヒ又ハ誤テ名簿ニ登錄セラレタルコトヲ發見セルモ之ヲ名簿ヨリ削除スルコトヲ得ス反之名簿確定後、誤テ名簿ニ登錄セラレサリシコトヲ發見スルモ之ヲ名簿ニ登錄スルコトヲ許サス

選舉人名簿確定ノ効果ニ對スル例外ハ(1)確定判決ニ依ル修正及ヒ(2)天災事變ニ依ル選舉人名簿ノ喪失ニ基ク再調ノ場合はナリ

(1) 第二十五條ニヨリ地方裁判所ニ出訴シテ判決ヲ受ケ其判決確定シタルトキ又ハ地方裁判所ノ判決ニ對シテ上告ヲ爲シ之ニ對スル大審院ノ判決確定シタルトキハ郡市長ニ於テ直ニ名簿ヲ修正シ其修正要旨ヲ告示セサル可ラス又郡長カ名簿ヲ修正シタルトキハ其由ヲ本人住所地ノ町村長ニ通知シ其管理ニ屬スル副本ヲ修正セシム

(2) 十二月二十日以後、選舉人名簿据置期間内ニ於テ天災事變其他ノ事故ニ因リ名簿ヲ喪失

若クハ毀損シ其用ニ堪ヘサルニ至ルトキハ更ニ名簿ヲ調査セサル可カラス隨テ前名簿確定ノ効力ヲ破壞スルモノトス

第四章 選舉、投票及投票所

第二十八條 總選舉ノ期日ハ勅令ヲ以テ之ヲ定メ少クトモ三十日前ニ之ヲ公布ス

「說明」 總選舉ノ期日ヲ定ムルニ特ニ勅令ヲ發布スル所以ハ舊選舉法ノ弊害ヲ鑑ミタルニアリ舊

選舉法ハ總選舉ノ期日ヲ七月一日ト一定シタルタメ種々ノ不都合ヲ生シタリ一例ヲ舉クレハ議員ノ任期滿了ニヨリ選舉ヲ行フ場合ニ若シ七月一日以前ニ任期滿了スルトキハ其滿了ノ日ヨリ七月一日マテノ間ハ衆議院議員ナルモノ之レナキ奇觀ヲ呈スヘク反之七月一日以後ニ任期滿了スヘキトキハ七月一日ヨリ前議員ノ任期滿了ノ日マテハ二重ニ議員アルニ至ルノ不都合アリ本法ハ此等ノ不都合ヲ生スルコトナカラシムルタメ總選舉ノ期日ハ時々勅令ヲ以テ之ヲ定ムルコトト爲シ選舉法上其期日ヲ一定スルコトナシ

第二十九條 選舉ハ投票ニ依リ之ヲ行フ、投票ハ一人一票ニ限ル

「說明」 本條第一項ハ本法ニ採用スル選舉方法ヲ一定シ投票ニヨリ選舉ヲ行フコトヲ明ニセリ我邦維新後各種ノ選舉ニ於テ殆ント投票ノミヲ選舉方法ト爲シタルニヨリ今更ラ投票ニヨリ選舉ヲ行フト云フ明文ハ何ノ必要モ之レ無ク寧ロ冗文ノ感ナキニアラサルモ選舉方法ハ投票ニ

限ルモノニアラス歐米諸國ノ進歩シタル選舉法ニ於テハ投票以外ノ選舉方法數多アリ唯我國ニ於テハ從來ノ慣行上、投票選舉ヲ便ナリトシテ此方法ヲ採用スルノミ決シテ投票以外ニ選舉方法ナシト誤解ス可ラス

第三十條 投票所ハ市役所、町村役場又ハ地方長官ノ許可ヲ得テ投票管理者ノ指定シタル場所ニ之ヲ設ク

「說明」 本條ハ投票所ノ位置ヲ定メタル規定ニシテ投票所ハ各投票區ニ必ラス一個所ヲ設クヘキモノトス而各投票區ニ於ケル投票所ハ市役所、町村役場ニ設クルヲ便ナリトス是レ本條前段ノ規定アル所以ナリ然トモ第二條第二項ノ規定ニヨリ一市町村ニ二個以上ノ投票所ヲ設クル必要アル場合若クハ數町村ヲ合シテ一投票所ヲ設クレハ充分ナル場合此外種々ノ事情ニヨリ市役所又ハ町村役場ニ於テ投票所ヲ設クルヲ不便ナリトスル場合ニハ投票管理者ハ地方長官ノ許可ヲ得テ市役所又ハ町村役場以外ニ選舉所ヲ設ケシムルヲ可トス是レ本條後段ノ規定ナル所以ナリ

第三十一條 投票管理者ハ選舉ノ期日ヨリ少クトモ五日前ニ投票所ヲ其投票區内ニ告示スヘシ

「說明」 投票所ヲ其投票區内ニ告示スルハ選舉權者ヲシテ何レノ場所ニ於テ投票ヲ爲スヘキカヲ知ラシメンカタメナリ故ニ投票所ノ告示ハ選舉期日以前ニ於テ之ヲ爲ス必要アリ是レ本條ニ於テ五日前ノ制限ヲ設クル所以ナリ

告示ノ方法ハ一般公布式ノ例ニ依ルヘキモノナリト雖モ若シ數町村ヲ合シテ一投票區ヲ設ケタル場合ニ其各町村ノ公布式カ相異ナルカ如キトキハ各町村各々特定シタル公布式ニヨリ告示スヘキモノナリ

第三十二條 郡市長ハ各投票區内ニ於ケル選舉人中ヨリ三名以上五名以下ノ投票立會人ヲ選任シ選舉日ヨリ少クトモ三日前ニ之ヲ本人ニ通知シ選舉ノ當日投票所ニ參會セシムヘシ
投票立會人ハ正當ノ事故ナクシテ其職ヲ辭スルコトヲ得ス

「説明」 立會人ノ義務ハ一方ニ於テ投票管理者ニ不法失當ノ處置ナキヤ否ヤヲ監視シ他方ニ於テ選舉人ヲシテ自由任意ニ投票セシムルニアリ故ニ立會人ノ選任ハ最モ之ヲ丁寧ニスル必要アリ然ルニ舊選舉法ハ投票管理者ヲシテ投票立會人ヲ選任セシメシカユヘ投票管理者ハ自己ト政見ヲ同ウスル者ヲ立會人ニ選任シタル傾向アリ爲メニ前記立會人ノ職務ヲ完ウセシメサルヤノ感アリタリ是レ本法ニ於テ立會人ノ選任ヲ郡市長ノ職務ト爲シタル所以ナリ
前述ノ如クニシテ投票立會人選任ノ方法ヲ改正シタリト雖モ尙ホ改正ノ目的ヲ貫徹スルタメ本法改正當時(明治二十五年)内務大臣ハ各地方官ニ左記ノ通知ヲ發送セリ
立會人ハ黨派ニ屬セサル最モ公平ナル人物ヲ選任スルコトヲ要ス若黨派以外ニ於テ適當ノ人物ヲ得難キ場合ニ於テハ各黨各派ノ中ニ就キ平等ニ之ヲ選任スヘキ様注意スヘシ云々
投票立會人ハ公ノ職務ナルヲ以テ一旦適法ニ選任セラレハ正當ノ事由ナクシテ其職ヲ辭ス

ルコトヲ得ス若シ正當ノ事由ナク其職務ヲ盡ササルトキハ本法第九十九條ニ依リ五圓以上五十圓以下ノ罰金ニ處セラル

第三十三條 投票所ハ午前七時ニ開キ午後六時ニ閉ツ

「説明」 本條ハ投票所ノ開閉時間ヲ定メ選舉人カ適法ニ投票ヲ爲シ得ヘキ時間ヲ明定セリ本法カ如此規定ヲ設クルニ至レル所以ハ舊選舉法ニ於テ投票所ノ開閉時間ヲ定メスシテ投票ノ始終時間ヲ定メタリシカユヘ法ノ適用上種々ノ疑問ヲ發生シタルニ依リ本法ハ投票ノ時間ヲ定メスシテ投票所ノ開閉時間ヲ定メ此時間内ニ投票所ニ入りタル者ハ閉所後ニ於テモ尙ホ引續キ投票ヲ爲サシメ得ルコトトセリ

第三十四條 選舉人ハ選舉ノ當日自ラ投票所ニ至リ選舉人名簿ノ對照ヲ經テ投票簿ニ捺印シ投票スヘシ

投票管理者ハ投票ヲ爲サントスル選舉人ノ本人ナルヤ否ヤヲ確認スルコト能ハサルトキハ其本人ナル者ヲ宣言セシムヘシ其宣言ヲ爲ササル者ハ投票ヲ爲スコトヲ得ス

「説明」 選舉投票ハ參政權行使ノ一種ニシテ重大ナル公權ノ行使ナルヲ以テ他人ヲシテ代理セシムルコトヲ得ス必ラス選舉人自ラ投票所ニ出頭シ投票管理者ニ向テ自己ノ住所氏名ヲ陳述シ選舉人名簿ノ對照ヲ受ケ而後投票簿ニ捺印シ以テ投票スヘキモノトス
投票ハ選舉人自ラ之ヲ爲スヘキモノナルヲ以テ投票管理者ハ投票ヲ爲サントスル選舉人ノ必

ラス本人ニ相違ナキヤ否ヲ取調フル必要アリ取調ノ結果、本人ナルコトヲ確認シタルトキハ直ニ捺印ヲ爲サシムヘク若シ本人ナルヤ否ヤニ付キ疑アルトキハ本人ナル旨ヲ宣言セシメ(若シ此宣言虚偽ナルトキハ本法第八十六條ニヨリ十圓以上五十圓以下ノ罰金ニ處セラレ)然ル後ニ投票ヲ爲サシムヘシ若シ此宣言ヲ爲ササルトキハ投票ヲ拒絶スヘシ

第三十五條 投票用紙ハ選舉ノ當日、投票所ニ於テ之ヲ選舉人ニ交付スヘシ

「説明」 投票用紙ハ各選舉人ニ於テ自由ニ之ヲ作成スルコトヲ許サス豫メ選舉係ニ於テ一定ノ形式ヲ以テ之ヲ作成ス投票用紙ヲ一定スル所以ハ一ハ調査上ノ便宜ヲ計ル目的ニ出テ一ハ不正投票ノ行ハレントスルヲ防止スル目的ニ出ツ故ニ選舉人ハ投票所ニ於テ係員ヨリ交付セラレタル用紙ヲ用ヒテ投票ヲ爲スヘク投票用紙以外ノ紙片ヲ以テ投票ヲ爲シタルトキハ本法第五十八條第一號ノ規定ニ依リ無効トナル

第三十六條 選舉人ハ投票所ニ於テ投票用紙ニ自ラ被選舉人一名ノ氏名ヲ記載シテ投函スヘシ

投票用紙ニハ選舉人ノ氏名ヲ記載スルコトヲ許サス

「説明」 本條ハ選舉投票ノ方法ヲ規定シタルモノニシテ其要旨ヲ摘録スレハ左ノ如シ

- (1) 投票ハ第三十條ニ規定セル投票所ニ於テ之ヲ行フ
- (2) 投票ハ第三十五條ニ依リテ交付セラレタル投票用紙ヲ用ヒテ之ヲ行フ
- (3) 投票用紙ニハ被選舉人一名ノミヲ記載ス

一 選舉人カ一人ノ被選舉人ノミヲ投票スルハ單記投票法ヲ採用シタル結果ナリ

(4) 被選舉人ノ氏名ハ選舉人自ラ之ヲ記載スヘシ若シ選舉人自ラ被選舉人ノ氏名ヲ記載スルコト能ハサルトキハ投票ヲ爲スコトヲ得ス(第二十八條第二項)

(5) 投票ハ選舉人自ラ之ヲ投票函ニ投入スヘシ若シ他人ヲシテ代テ投入セシムレハ或ハ代理者カ投票ヲ取り替ヘテ投入スル等ノ弊害アレハナリ

(6) 投票ニハ選舉人ノ氏名ヲ記載ス可ラス之レ本法カ無記名式ヲ採用シタル結果ナリ若シ投票ニ選舉人ノ氏名ヲ記載スヘシトセハ開票ノ際某選舉人カ某被選舉人ヲ投票シタルコト明確トナルニヨリ選舉人ハ投票期日前ニ規定ノ候補者ヨリ囑託若クハ依頼ヲ受ケ德義上之ニ背ク能ハサル情實ノタメ適法公正ナル投票ヲ爲スコト能ハサル弊アレハナリ

第三十七條 選舉人名簿ニ登録セラレサル者ハ投票スルコトヲ得ス但選舉人名簿ニ登録セラレヘキ確定判決書ヲ所持シ選舉ノ當日投票所ニ到ル者アルトキハ投票管理者ハ之ヲシテ投票セシムヘシ

「解」 選舉人名簿ニ登録セラレヘキ確定判決書トハ選舉人ヨリ脱漏ノ申立ヲ爲シタルニ郡長又ハ市長ニ於テ選舉權ナシト決定シ名簿ニ登録セサリシ場合又ハ關係人ヨリ被選舉人名簿ニ誤載ノ申立アリタルニ郡市長ニ於テ其申立ヲ正當ナリト決定シ名簿ヨリ削除シタル場合ニ選舉人カ地方裁判所ニ出訴シ其裁判所ニ於テ名簿ニ登録セラレヘキモノナリトノ判決ヲ受ケ或ハ地方裁判所カ郡市長決定通リノ判決ヲ爲シタルタメ更ニ大審院ニ上告シ大審院ニ於テ名簿ニ

登録セラルヘキモノナリトノ判決ヲ爲シ其各判決確定シタル場合ニ於ケル判決書ノ謄本ヲ選舉人名簿ニ登録セラルヘキ確定判決書ト云フ

「説明」 選舉權ヲ有スルコトヲ公ニ證明スルモノハ選舉人名簿ナリ故ニ選舉人名簿ニ登録セラレサル者ハ事實上選舉權ヲ有スルモ選舉權ヲ行ヒ投票スルコトヲ得ス但シ選舉人名簿ニ登録セラルヘキ確定判決書ヲ有スル者ハ選舉人名簿ニ登録セラレタルト同一ナルヲ以テ假令選舉人名簿ニ登録セラレサルモ投票スルコトヲ得ヘシ

第三十八條 選舉人名簿ニ登録セラレタル者選舉權ヲ有セサルトキハ投票ヲ爲スコトヲ得ス
自ラ被選舉人ノ氏名ヲ書スルコト能ハサル者亦同シ

「説明」 誤ツテ選舉人名簿ニ登録セラルルモ實際選舉權ナキ者並ニ選舉人名簿確定當時(十二月二十日)ニハ選舉權ヲ有セシモ選舉期日ニハ選舉資格(第十一條第十二條)ヲ喪失セシ者ハ選舉人名簿ノ表面ニ於テノミ選舉權ヲ有スルモ實際選舉權ヲ有セサル者ナルニ依リ選舉權ヲ行ハシムルコトヲ得ス是レ本條第一項ノ規定ニヨリ選舉投票ヲ禁スル所以ナリ

選舉投票ヲ爲スニハ少クトモ投票用紙ニ被選舉人ノ氏名ヲ記載スル能力アルコトヲ要ス是レ第三十六條第一項ノ規定ヨリ自然ニ生スル結論ナリ然ルニ若シ此能力ナキ者ヲシテ選舉權ヲ行ハシメント欲セハ舊選舉法ノ如ク他人ヲシテ代書セシメサル可ラス代書セシメタル投票ハ之ヲ朗讀シテ選舉人ニ讀ミ聞カセ誤アルヤ否ヤヲ糺ス必要アリ此ノ如クニシテ他人ニ被選舉

人ノ氏名ヲ代筆セシメ且其代書シタル氏名ヲ朗讀スルカ如キコトアレハ本法カ採用セル秘密選舉ノ趣旨ニ背ク之レ本條第二項ノ規定ヲ設ケ被選舉人ノ氏名ヲ自書スルコト能サル者ニハ投票ヲ爲サシメサル所以ナリ

第三十九條 投票ノ拒否ハ投票立會人ノ意見ヲ聽キ投票管理者之ヲ決定スヘシ
前項ノ決定ヲ受ケタル町村ノ選舉人不服アルトキハ投票管理者ハ假ニ投票ヲ爲サシムヘシ
前項ノ投票ハ選舉人ヲシテ之ヲ封筒ニ入レ封緘シ表面ニ自ラ其ノ氏名ヲ記載シ投函セシムヘシ
第一項ニ掲クル者ニ於テ異議アル町村ノ選舉人ニ對シテモ亦前二項ニ同シ

「解」 投票ノ拒否トハ選舉人カ投票スルコトヲ拒絶スルヲ云フ投票ヲ拒絶スルニ二種アリ(1)投票用紙ノ交付ヲ拒絶スル結果トシテ投票ノ拒絶トナルモノ例ヘハ第三十四條第二項ノ規定ニ基キ本人ナル者ヲ宣言セサル場合選舉人名簿登録セラレサル者(第三十七條)選舉人名簿ニ登録セラレタルモ選舉權ヲ有セサル者(第三十八條第一項)ノ如シ(2)投票ノ投函ヲ拒絶スヘキ者例ヘハ第三十五條ノ規定ニ背キ定式外ノ投票用紙ヲ持參スル場合及ヒ他人ヲシテ被選舉人ノ氏名ヲ記載セシメタル投票(第三十八條第二項)ノ如シ

「説明」 町村ノ選舉人(第二項及ヒ第四項)トアリテ市ノ選舉人ヲ除外スル所以ハ左ノ如シ
市ニ於ケル投票管理者ハ開票管理者トナリ投票立會人ハ開票立會人トナル故ニ本條第二項及ヒ第四項ニ規定スルカ如キ特別ノ方法ヲ設クル必要ナシ即チ假リニ投票スルノ途ヲ開カス投票

票所ニ於テ直ニ投票ノ拒否ヲ決定スヘキモノトス是レ市ノ選舉人ノ文字ヲ見サル所以ナリ

「説明」 投票ハ選舉權ノ行使ニシテ國民參政權實行ノ一種ナリ然ルニ此ノ如キ重要ナル權利ノ行使ヲ全ク投票管理者ノ意見ニ一任スルカ如キハ權利ノ保護十分ナラサル感アリ是レ本條第二項及ヒ第三項ノ規定ヲ設ケ選舉權ノ保護ヲ全カラシメントスル所以ナリ即チ町村ニ於ケル選舉人カ投票管理者ノ下シタル決定(投票ヲ拒絶スル決定)ニ不服アル時(第二項)又ハ投票立會人カ町村選舉人ノ投票ニ付キ異議ヲ狹ムトキ(第四項)ハ選舉人ヲシテ投票ヲ封筒ニ入レ之ヲ封緘シ其封筒ノ表面ニ選舉人ノ氏名ヲ自書セシメ假リニ投票セシム(即チ投函セシム)此ノ投票ハ第五十五條ノ規定ニヨリ開票所ニ於テ開票立會人ノ意見ヲ聽キ開票管理者カ之ヲ適法ナル投票トシテ受理スヘキヤ否ヤヲ決定スルモノトス

第四十條 投票所ヲ閉ツヘキ時刻ニ至リタルトキハ投票管理者ハ其由ヲ告ケテ投票所ノ入口ヲ鎖シ投票所ニ在ル選舉人ノ投票結了スルヲ待テ投票函ヲ閉鎖スヘシ
投票函閉鎖後ハ投票スルコトヲ得ス

「解」 投票所ヲ閉ツヘキ時刻トハ午後六時ナリ(第三十三條)

「説明」 第一項ハ投票所閉鎖ノ手續及ヒ投票函閉鎖ノ手續ヲ規定シタルモノナリ「投票所閉鎖ノ手續トハ午後六時ニ至リタルトキ投票管理者ハ閉鎖時刻到來ノ由ヲ告ケ投票所ノ入口ヲ閉スコト是ナリ」投票函閉鎖ノ手續トハ投票所閉鎖後、閉鎖前ニ投票所ニ入りタル選舉人ハ其數

幾何アルモ總テ投票ヲナサシメ其投票結了スルヲ待テ投票函ヲ閉鎖スルコト是ナリ第二項ハ投票函閉鎖ノ效力ヲ規定スルモノニシテ投票函閉鎖後ハ如何ナル事情アルモ絶對的ニ投票スルコトヲ許ササルニアリ故ニ投票函ヲ閉鎖スルニ先チ投票管理員ハ投票所内ニアル選舉人ニ對シ投票ヲ爲ササルモノアルヤ否ヤヲ問ヒ而後之レカ閉鎖ヲ宣告スヘキモノトス

第四十一條 投票管理者投票録ヲ作り投票ニ關スル顛末ヲ記載シ投票立會人ト共ニ之ニ署名スヘシ

「解」 投票録トハ選舉投票ニ關スル一切ノ事項ヲ記載スル文書ニシテ後日選舉ノ適法ナリヤ否ヤヲ判斷セシムヘキ證據トナルヘキモノナレハ選舉ノ翌日投票函ト共ニ開票所ニ送致スヘキモノナリ

「説明」 本條ハ投票録ノ作成者及其作成方法ヲ規定シタル條文ナリ

第四十二條 町村ニ於テハ投票管理者ハ一名又ハ數名ノ立會人ト共ニ投票ノ翌日迄ニ投票函、投票録及選舉人名簿ヲ開票管理者ニ送致スヘシ

「説明」 本條ハ投票管理人ニ投票函、投票録及選舉人名簿送致ノ責任アルコトヲ規定シタルモノナリ故ニ之ヲ開票管理者ニ送致スル迄ハ投票管理者ニ於テ之ヲ保管スヘキ責任アルヲ以テ奪取若クハ紛失等ノコトナキ様注意スルコトヲ要ス

本條ハ單ニ町村投票管理者ノ責任ヲ規定スルニ止マリ市ノ投票管理者ノ責任ニ及ハサル所以ハ市ニ在テハ投票管理者モ開票管理者モ共ニ市長ナルカ故ニ町村ニ於ケルカ如ク投票函、投

票録及選舉人名簿ヲ送致スル必要ナキニ由ル

第四十三條 島嶼其ノ他交通不便ノ地ニシテ前條ノ期日ニ投票函ヲ送致スルコト能ハサル情況アルトキハ地方長官ハ適宜ニ其ノ投票ノ期日ヲ定メ開票ノ期日迄ニ其投票函、投票録及選舉人名簿ヲ送致セシムルコトヲ得

「解」 前條ノ期日トハ選舉ノ翌日ニシテ開票ノ前日ナリ

開票ノ期日トハ前條ノ規定ニヨリ投票管理者ヨリ送致スル投票函ノ總テカ到着シタル翌日ナレハ選舉ノ翌々日ナリ

「說明」 開票管理者ノ管内ニ於ケル投票ハ總テ開票期日ノ前日迄ニ投票管理者ノ手許ニ到達セシメサル可ラス然ルニ島嶼其他交通ノ不便ノ地ニシテ開票ノ前日迄ニ投票ヲ送致スルコト能ハサル事情アルトキハ特ニ繰リ上ケテ投票期日ヲ定メ他ノ一般投票ト共ニ開票期日ノ前日ニ開票管理者ノ手許ニ到着スル様取計ヲハサル可ラス是レ本條ノ規定ヲ設ケ地方長官ヲシテ適宜ニ投票期日ヲ定メシメタ(一般投票期日ト異ナリ)ル所以ナリ

第四十四條 天災其ノ他避クヘカラサル事故ニ因リ投票ヲ行フコトヲ得サルトキ又ハ更ニ投票ヲ行フノ必要アルトキハ投票管理者ハ選舉長ニ其ノ由ヲ届出ツヘシ此ノ場合ニ於テハ選舉長ハ更ニ期日ヲ定メ投票ヲ行ハシムヘシ但シ其ノ期日ハ少クトモ五日前ニ投票區内ニ告示セシムヘシ

「解」 天災トハ地震、火事、暴風、水害等天然ノ災害ナリ

其他避ク可ラサル事故トハ戰爭、兇徒ノ襲來等ノ如ク個人ノ力ヲ以テ防止スルコトヲ得サル出來事ナリ

更ニ投票ヲ行フ必要アルトキトハ投票函ノ毀損アリ若クハ之ヲ奪取セラレシ等ノ事情アリ適法ニ投票シタル後更ニ投票ヲ行フ必要アルヲ云フ

「說明」 天災等ニヨリ投票ヲ行フコトヲ得サルトキ又ハ更ニ投票ヲ行フ必要アルトキ投票管理者カ其事由ヲ選舉長(府縣知事)ニ届出ツルトキハ其投票區ニ限り更ニ期日ヲ定メテ投票ヲ行ハシムル必要アリ是レ本條ノ規定ヲ設ケルニ至レル所以ナリ

第四十五條 同一選舉區内ニ於テ同時ニ二人以上ノ議員ヲ選舉スルトキハ選舉ノ種類如何ニ拘ハラズ第二十九條及第三十六條ノ例ニ依ル

「解」 選舉ノ種類トハ總選舉ト補缺選舉ノ區別ヲ云フ

同時ニ二人以上ノ議員ヲ選舉スルトハ一選舉區ニ於テ同一時期ニ二人以上ノ議員ヲ選舉スルヲ云フ單ニ一人ヲ選舉スルニ止マルトキハ第二十九條及第三十六條ニ正面ノ適用アリ何等ノ疑ナキヲ以テ之ヲ明定セサルナリ

「說明」 同一選舉區内ニ於テ同一時期ニ二人以上ノ議員ヲ選舉スルトキト雖モ選舉人ハ一票ヲ投シテ一人ノ議員ヲ選舉シ(第二十九條ノ適用)其投票スル方法ハ投票所ニ出頭シ係員ヨリ受取リタル所ノ投票用紙ニ自ラ被選舉人一名ノ氏名ヲ記載スルコト(第三十六條第一項ノ適用)投

票用紙ニハ選舉人ノ氏名ヲ記載スルコトヲ許サス(第三十六條第二項ノ適用)是レ本法カ採用スル大選舉區(一府縣ヲ以テ一選舉區ト爲ス)單記無記名式ノ原則ヨリ生スル結果ナリ

第四十六條 何人ト雖モ選舉人ノ投票シタル被選舉人ノ氏名ヲ陳述スルノ義務ナシ

「説明」 本法カ無記名投票ノ原則ヲ採用シタル所以ハ選舉人ヲシテ自ラ信任スル所ノ候補者ヲ自由ニ投票セシメ他ヨリ些少ノ干涉ヲモ受ケサラシメントスルニアリ此目的ヲ貫徹セシムル爲メニ選舉人ニ被選舉人ノ氏名ヲ默秘スル權利ヲ有セシムルコトヲ要ス是レ本條ノ規定アル所以ナリ

第五章 投票所取締

第四十七條 投票管理者投票所ノ秩序ヲ保持シ必要ナル場合ニ就テハ警察官吏ノ處分ヲ請求スルコトヲ得

「説明」 投票所ハ選舉人カ選舉權ヲ行使スル場所ナルヲ以テ投票管理者ハ場内ノ秩序ヲ保持選舉人ヲシテ安全ニ投票ヲ爲サシムルコトヲ要ス然ルニ秩序ノ保持ハ概ネ威力ノ實施ヲ必要トス是レ必要ナル場合ニハ警察力ヲ使用セシムル所以ナリ

第四十八條 選舉人、投票所ノ事務ニ從事スル者、投票所ヲ監視スル職權ヲ有スル者及警察官吏ノ外投票所ニ入ルコトヲ得ス

「説明」 投票所ハ多數ノ選舉人カ集合スル所ニシテ殊ニ主義、黨派ノ相異ナル黨員ノ相會スル所ナルハカメテ場内ノ靜謐安穩ヲ計リ選舉ノ自由ヲ保タシメサル可ラス是レ本條ヲ特設シテ投票所ヘハ無用ノ人ヲ入場セシメサル所以ナリ

第四十九條 票票所ニ於テ演說討論ヲ爲シ若ハ喧嘩ニ涉リ又ハ投票ニ關シ協議若クハ勸誘ヲ爲シ其ノ他投票所ノ秩序ヲ紊ル者アルトキハ投票管理者ハ之ヲ制止シ命ニ從ハサルトキハ之ヲ投票所外ニ退出セシムヘシ

「説明」 本條ハ投票所ノ秩序ヲ紊ル行爲ノ顯著ナルモノヲ列舉シ並ニ秩序ヲ紊ル行爲者ニ對スル制裁ヲ規定シタルモノナリ

(1)投票所ニ於ケル演說、討論(2)喧嘩(3)投票ニ關スル協議若クハ勸誘ハ何レモ投票所ノ秩序ヲ紊ル顯著ナル事例ナリ是レ其終ニ其他投票所ノ秩序ヲ紊ル者云々トアルニ依テ明ナリトス
本條ニ列記スル所ノ秩序ヲ紊ル行爲アルトキハ投票管理者ハ先ツ之ヲ制止シ若シ其制止ニ從ハサルモノアルトキハ之ヲ投票所外ニ退出セシムヘシ若シ此場合ニ於テ威力ヲ用スル必要アルトキハ警察官吏ヲシテ威力ヲ實現セシムルコトヲ得ヘシ何トナレハ本條ニ規定スル秩序ノ紊亂ハ第四十七條ニ謂フ所ノ秩序ノ保持ヲ破壞スルモノニシテ警察力ノ實施ヲ必要トスル場合合アレハナリ

第五十條 前條ニ依リ投票所外ニ退出セシメラレタル者ハ最後ニ至リ投票ヲ爲スコトヲ得但シ投票

所閉鎖後ハ此限ニ在ラス

「説明」 選舉權ハ公權中最モ重要ナル權利ナルニヨリ投票所ニ於ケル粗暴ノ行爲アリ一時選舉場ノ安寧秩序ヲ紊シ他選舉人ノ自由ヲ妨害スルコトアリトスルモ他選舉人ノ投票終了後ハ以前ニ退出セシメタル目的ヲ達シ終リタルニ依リ最後ニ入場セシメテ投票セシムルコトトセリ勿論投票所閉鎖後ハ如何ナル事情アルモ何人ニモ投票セシメサルモノナルニ依リ投票所閉鎖ニ際シテハ投票管理者ハ特ニ退出ヲ命シタル者ニ入場ヲ許スヘキ旨ヲ宣言スヘキモノトス

第六章 開票及開票所

第五十一條 開票所ハ郡市役所又ハ地方長官ノ許可ヲ得テ開票管理者ノ指定シタル場所ニ之ヲ設ケ「解」 開票所トハ一郡内又ハ一市内ニ於ケル各投票所ノ投票函ヲ集合シ之ヲ開票スル場所ナリ 開票 郡長カ開票管理者ト爲リ投票函ヲ開キ投票ノ有效無效ヲ檢査シ並ニ其受理不受理ヲ決定シ得票者及得票數ヲ調査シ其結果ヲ選舉長ニ報告スル手續全體ヲ開票ト云フ

「説明」 開票所ハ一郡一市ニ一ヶ所ヲ設ケ郡役所又ハ市役所ヲ以テ之ニ充ツルヲ通例トスレトモ郡市役所ニ於テ支障アリ若クハ狹隘ニシテ使用ニ堪ヘサル等ノ事情アルトキハ開票管理者ハ地方長官ノ許可ヲ經テ郡市役所以外ニ於テ開票所ヲ設クルコトヲ得

第五十二條 開票管理者ハ豫メ開票所ヲ告示スヘシ

「説明」 開票ハ得票者ノ運命ニ重大ナル關係ヲ有スルカユヘニ開票立會人ナルモノヲ設ケ之ヲシテ開票管理者ノ行爲ヲ監視セシメ又開票所ヲ公開シ汎ク選舉人ノ參觀ヲ許シ以テ開票事務ノ公明正大ナルコトヲ期ス隨テ開票所ハ豫メ各選舉人ニ知悉セシムル必要アリ又開票立會人ニモ共集合スヘキ開票所ヲ知ラシムル必要アリ是レ本條ノ規定ヲ設ケ開票管理者ニ豫メ開票所ノ告示ヲ爲サシムル所以ナリ

第五十三條 地方長官ハ各開票所區内ニ於ケル選舉人中ヨリ三名以上七名以下ノ開票立會人ヲ選任シ開票立會人ハ正當ノ事故ナクシテ其職ヲ辭スルコトヲ得ス

「説明」 開票ハ第五十一條ノ字解ニ於テ略説シタルカ如ク選舉會ニ於テ當選人ヲ定ムル唯一ノ材料ヲ作ルモノナレハ開票事務ハ最モ公平無私ナルコトヲ要ス是レ開票立會人ヲ設ケ開票管理者ノ行爲ヲ監視セシメ以テ開票事務ノ公平ヲ保タシメントスル所以ナリ 前述ノ如クニシテ開票立會人ノ職務ハ重要ナルカユヘニ其選任ハ最モ之ヲ鄭重ニセサル可ラス是レ舊選舉法カ「抽籤ヲ以テ各投票所ヨリ參會シタル立會人ノ中ヨリ選舉委員(即チ開票立會人)ヲ選任セシ」メシヲ改正シ地方長官ノ責任ヲ以テ開票管理者ヲ選任セシムルコトト爲シタル所以ナリ又開票立會人ノ選任ヲ開票管理者ニ一任セサリシ所以ハ若シ開票管理者ヲシテ開票立會人ヲ選任セシムルトキハ自己ト政見ヲ同ウスル者ノミヲ以テ開票立會人ト爲スニ至

リ開票立會人ヲ設置スル目的ヲ貫徹スルコト能ハサルニ至レハナリ
市ニ於テハ投票立會人ヲ以テ開票立會人ト爲ス(第一項但書)所以ハ市ニ於ケル投票ハ市長カ
投票管理者トナリ又開票管理者トナルカユヘニ投票立會人モ亦開票立會人ト同一ニテ充分ナ
リトスルニ由ル

開票立會人モ公ノ職務ナルヲ以テ適法ニ選任セラレタル者ハ妄リニ其職ヲ辭スルコトヲ得ス
若シ正當ノ事由ナクシテ其職責ヲ盡ササルトキハ本法第九十九條ノ規定ニ依リ五圓以上五十
圓以下ノ罰金ニ處セラル(第二項)

第五十四條 開票管理者ハ郡ニ於テハ投票函ノ總テ到達シタル翌日、市ニ於テハ投票ノ翌日、開票
立會人立會ノ上、投票函ヲ開キ投票ノ總數ト投票人ノ總數トヲ計算スヘシ

「説明」 投票ノ總數ト投票人ノ總數トヲ計算スル所以ハ投票人ノ數ト投票紙數ト差異アルヤ否ヤ
ヲ検査スルカタメナリ蓋シ一人ニテ二票以上ヲ投入シタル場合、投票函ニ不正投票ヲ混入シ
タル場合、投票函ヨリ投票ヲ竊取シタルモノアルカ如キ場合ニハ必ラス投票數ト投票人ノ數
トニ差異ヲ生スルモノナリ若シ検査ノ結果、尙二者ノ數ニ差異アリトセハ如何ナル處置ヲ爲
スヘキカ理論ノミニ依テ決定セハ無記名投票ノ場合ニハ再投票ヲ行ハシムルヲ以テ正當トス
然トモ選舉ノ場合ノ如キハ數多ノ手數ト日時ヲ要スルヲ以テ必ラス理論ニ依テ決行スル能ハ
ス茲ニハ唯二者ノ數ノ差異ノ有無及ヒ其差異ノ程度ヲ調査スルニ止メ其投票ノ效力ハ當選ニ

影響ヲ及ホスヤ否ヤニ依テ有效無效ヲ定ムヘキモノトス

第五十五條 前條ノ計算終リタルトキハ開票管理者ハ先ツ第三十九條第二項及第四項ノ投票ヲ調査
シ開票立會人ノ意見ヲ聽キ其ノ受理如何ヲ決定スヘシ

開票管理者ハ各投票所ノ投票ヲ混同シ開票立會人ト共ニ投票ヲ點檢スヘシ

「説明」 投票人ノ總數ト投票ノ總數トノ計算終リシタルトキハ開票管理者ハ先ツ第三十九條第二
項及ヒ同第四項ノ規定ニ依リ假リニ投票ヲ爲サシメタルモノアリヤ否ヤヲ調査シ若シ之レア
リトセハ適法ナル投票トシテ之ヲ受理スヘキヤ否ヤヲ決定スヘキモノナリ此決定ヲ爲スニ際
シテハ豫メ開票立會人ノ意見ヲ聽クコトヲ要ス但シ其意見ニ從フコトヲ要セス開票管理者ハ
自己ノ信スル所ニ依テ前記ノ決定ヲ爲スコトヲ得ヘシ蓋シ開票立會人ハ個人選舉人ニシテ各
候補者ニ對シ或ハ賛成シ或ハ反對ノ地位ニ立ツモノナレハ其意見ハ必シモ公平ナルモノニア
ラサレハナリ

前述ノ如ク立會人ノ意見ヲ聽キタル後、開票管理者ニ於テ其投票ヲ受理スヘキモノト決定シ
タルトキハ之ヲ開封シ其選舉人ノ屬スル投票區ノ投票トシ取扱フ若シ受理ス可ラサルモノト
決定シタルトキハ本法第五十九條ノ規定ニヨリ封筒ノ儘之ヲ無効投票ト共ニ保存スヘキモノ
トス

以上第一項ノ手續ヲ終リタルトキハ各投票所ヨリ送致シ來リタル總投票ヲ混同シ開票管理者

ハ開票立會人ト共ニ投票ヲ點檢スヘキモノトス
第五十六條 選舉人ハ其開票所ニ就キ開票ノ參觀ヲ求ムルコトヲ得

「説明」 選舉人ヲシテ開票ヲ參觀セシムル所以ハ選舉人ハ參政權ノ行使トシテ一定ノ候補者ニ投票シ以テ自己ノ政見ヲ表示シタルモノナレハ其表示ノ結果ヲ知ラントスルハ公私ノ觀念ニ於テ適當ノコトナレハナリ隨テ開票ノ參觀ヲ求ムルコトヲ得ヘキ者ハ其開票區内ニ於ケル選舉人ニ限ル故ニ單ニ選舉權ヲ有スルトノ理由ヲ以テ何レノ開票所ニ於テモ開票ノ參觀ヲ求ムルコトヲ得ス

前述ノ理由ニヨリ開票ハ之ヲ公開シ管内ノ選舉人ヲシテ參觀セシムト雖モ限アル會場ハ選舉人全體ヲ容ルル能ハサルニヨリ開票管理者ハ開票所ノ秩序ヲ維持スル職權ニヨリ豫メ參觀人ノ數ヲ制限スルコトヲ得ヘシ

第五十七條 投票ノ效力ハ開票立會人ノ意見ヲ聽キ開票管理者之ヲ決定スヘシ

「説明」 投票ヲ無効トスヘキ場合ハ次條ニ規定スル所ニシテ此以外ノ投票ハ總テ有效ナリ
或投票ヲ次條列記ノ一場合ニ該當スルモノトシテ無効ト決定スヘキカ將タ該當セストシテ有效ト決定スヘキカハ開票管理者ノ意見ニ依ルト雖モ開票事務ノ公平ヲ期スルタメ設置スル所ノ開票立會人ノ意見ヲ聽クヘキコトハ勿論ナリトス

第五十八條 左ノ投票ハ之ヲ無効トス

- 一、成規ノ用紙ヲ用ヒサルモノ
- 二、一投票中二人以上ノ被選舉人ヲ記載シタルモノ
- 三、被選舉人ノ何人タルヲ確認シ難キモノ
- 四、被選舉權ナキ者ノ氏名ヲ記載シタルモノ
- 五、被選舉人ノ氏名ノ外他事ヲ記載シタルモノ但シ官位、職業、身分、住所又ハ敬稱ノ類ヲ記入シタルモノハ此ノ限ニ在ラス

「説明」 本條ハ開票所ニ於テ各投票所ヨリ送致シ來リタル投票ニ付キ無効トスヘキモノ五個ヲ規定セリ

(第一) 成規ノ投票用紙ヲ用ヒサル投票ヲ無効トス

蓋シ成規ノ投票用紙ヲ用ヒサル投票ハ選舉人カ被選舉人ノ氏名ヲ自書シタルモノナルヤ否ヤ甚タ疑シク投票所ニ於テ選舉人カ自ラ認メタルモノト認メ難シ(果シテ然ラハ本法第三十六條第一項ニ選舉人ハ投票所ニ於テ投票用紙ニ自ラ被選舉人一名ノ氏名ヲ記載シタル規定ニ違背ス)且ツ投票用紙ヲ用サル投票ハ選舉人カ不正ノ手段ニヨリ投票管理者及ヒ投票立會人ノ目ヲ掠メ適法ナル投票ヲ爲スト共ニ此不正投票ヲ投票函ニ投入シタルニアラサルヤノ疑アリ(若シ此疑ニシテ眞實ナランニハ本法第三十九條第二項ニ規定セル投票ハ一人一票ニ限ルテウ原則ニ背クモノナリ)何レニシテモ投票用紙ヲ用ヒサル投票ハ不法ノ投票ナリ是レ此種ノ投票ヲ無効

トスル所以ナリ

(第二) 一枚ノ用紙中ニ二人以上ノ被選舉人ヲ記載シタル投票ハ之ヲ無効トス
本法第三十六條第一項ニ於テ選舉人ハ……投票用紙ニ自ラ被選舉人一名ノ氏名ヲ記載シト
規定シ單記投票ノ原則ヲ採用セルコトヲ明ニセリ故ニ若シ一投票用紙ニ被選舉人二名以上ヲ記
載スルトキハ(即チ聯記投票ト爲ストキハ)前記ノ原則ニ反シ第三十六條第一項ノ規定ニ違背ス
是レ一投票用紙ニ二人以上ノ被選舉人ヲ記載シタル投票ヲ無効トスル所以ナリ

(第三) 被選舉人ノ何人タルヤヲ確認シ難キ投票ハ之ヲ無効トス
若シ被選舉人ノ何人ナルカヲ認め難シトセハ何人ノ得票トナスヘキカヲ定ムル能ハス是レ此種
ノ投票ヲ無効トスル所以ナリ

(第四) 被選舉權ナキ者ノ氏名ヲ記載シタル投票ハ之ヲ無効トス
既ニ本法ニ於テ被選舉資格ヲ一定シタル以上ハ(第十條參考)此資格ナキ者ハ議員タルコトヲ得
ス議員タルコトヲ得サル者ヲ投票スルモ其投票ノ無効タルコト勿論ナリトス

(第五) 被選舉人ノ氏名以外ノ事ヲ投票用紙ニ記載シタル投票ハ無効トス
被選舉人ノ氏名以外ノ記事ハ或ハ滑稽輕侮ノ記事タリ(是レ公權ヲ弄スルモノナリ)或ハ選舉人
カ被選舉人ニ對スル依頼、囑託等ノ記事タルコトアリ何レニシテモ無用ノ記事タリト云フニ止
マラスシテ寧ロ恕ス可ラサル不法ノ行爲ナリトス是レ此種ノ投票ヲ無効トスル所以ナリ但シ官

職、位階、勳等、學位、職業、身分、住所、敬稱(殿、様、君、先生ノ類)ヲ用ユルハ別ニ害ナ
ク反テ同名異人アル場合ニ之ヲ識別シ得ル利益アルヲ以テ此等ノ記載ハ投票ノ效力ニ何等ノ關
係ナシトス

(備考) 第三十六條第二項ニ於テ禁止スル選舉人ノ氏名ノ記載ハ本條ニ所謂、他事ノ記載ニシテ
本號ノ規定ニヨリ其投票ハ無効タルヘキモノトス

第五十九條 投票ハ有效無効ヲ區別シ議員ノ任期間、開票管理者ニ於テ之ヲ保存スヘシ

「説明」 當選シタル議員ノ任期間ハ選舉終了後往々其當選ニ關シ落選候補者ヨリ訴訟ヲ提起スル
コトアリ此場合ニ有效若クハ無効ノ投票ハ有力ナル證據トナルコトアリ是レ當選議員ノ任期
中、二種ノ投票ヲ保存セシムル所以ナリ

第六十條 開票管理者ハ開票録ヲ作り開票ニ關スル顛末ヲ記載シ開票立會人ト共ニ署名シ投票録ト
併セテ議員ノ任期間之ヲ保存スヘシ

「解」 開票録トハ開票管理人カ開票ニ關スル一切ノ事項ヲ記載スル記録ナリ

「説明」 開票録ハ投票録ト共ニ選舉カ適法ニ行ハレタルコトヲ證明スル公ノ力ヲ有スル文書ナル
カ故ニ他日選舉訴訟ノ起ル場合ニ有力ナル證據トナルヘキモリナリ是レ當選議員ノ任期間之
ヲ保存セシムル所以ナリ

第六十一條 投票ノ點檢終リタルトキハ開票管理者ニ於テ直ニ其結果ヲ選舉長ニ報告スヘシ

「説明」 其結果トハ開票ノ結果ニシテ開票ノ結果トハ得票者ノ氏名、各得票ノ得票數、有效及ヒ無効投票ノ數等ナリ

「説明」 本條ハ投票ノ點檢終了後ニ於ケル開票管理者ノ報告義務ヲ規定シタルモノナリ

第六十二條 第四十四條ノ規定ハ但書ヲ除キ開票ニ之ヲ準用ス

「説明」 第四十四條ノ規定ヲ開票ニ準用セハ左ノ如クナルヘシ結局開票ニ關シテ左ノ如キ一條文アルモノト知ルヘシ

曰、天災其他避ク可ラサル事項ニヨリテ開票ヲ行フコトヲ得サルトキハ開票管理者ハ選舉長ニ其由ヲ告クヘシ此ノ場合ニ於テハ選舉長ハ更ニ期日ヲ定メテ開票ヲ行ハシムヘシ

第六十三條 開票所ノ取締ニ付テハ第五章ノ規定ヲ準用ス

「説明」 第五章ハ投票所取締ノ規定ナリ而投票所取締ノ規定ハ主トシテ投票所ノ秩序ヲ維持シ選舉人ヲシテ安全且自由ニ選舉ヲ行ハシメントスルニアリ故ニ此規定（第四十七條乃至第四十九條）ヲ準用セハ開票所ノ秩序ヲ維持シ且ツ開票管理者ヲシテ平穩無事ニ開票事務ヲ執行セシムルコトトナルヘシ

第七章 選舉會

第六十四條 選舉會ハ選舉長ノ指定シタル場所及日時ニ於テ之ヲ開キ第六十一條ノ報告ヲ調査ス選

舉ノ一部無効トナリ更ニ選舉ヲ行ヒタル場合ニ於テ第六十一條ノ報告ヲ受ケタルトキハ選舉長ハ選舉會ヲ開キ他ノ開票管理者ノ報告書ト共ニ更ニ之ヲ調査スヘシ

「解」 選舉會トハ道廳、各府縣毎ニ之ヲ設ケ地方長官ヲ會長ト爲シ第六十一條ノ報告書ヲ調査シ當選者ヲ決定シ以テ主要ナル事務ト爲スモノナリ

選舉ノ一部無効トナルトハ選舉ノ違法ナリシカタメ裁判所ニ於テ選舉ノ一部ヲ無効ト爲ス判決ヲ下シ其判決ノ確定シタルヲ云フ

「説明」 選舉會ハ選舉長ノ指定シタル場所及日時ニ於テ之ヲ開キ其管轄内、各開票管理員ヨリ提出シタル報告書ニ基キ各得票者ノ得點數ヲ調査シ以テ當選人ヲ定ムルヲ以テ其目的トスルモノナリ

選舉ノ一部無効トナリタルトキハ其無効ニ屬スル開票區ニ對シ更ニ選舉ヲ行ハシメ其選舉ニ關スル開票ノ結果トシテ第六十一條ノ報告書ヲ受ケタルトキハ更ニ選舉會ヲ開キ前ニ提出シタル他ノ開票區ノ報告書ト共ニ其報告書ヲ調査シ以テ當選人ヲ定ムヘキモノトス（第二項）

第六十五條 選舉長ハ豫メ選舉會ノ場所及日時ヲ告示スヘシ

「説明」 選舉立會人ハ其職務ヲ盡スタメ選舉會ニ出頭スル義務アリ選舉人ハ選舉會ヲ參觀スル權利アリ前記ノ義務ヲ盡サシメ又權利ヲ行ハシムルタメニハ豫メ選舉會ノ場所及ヒ其日時ヲ一般ニ告示スル必要アリ是レ本條ノ規定アルニ至レル所以ナリ

第六十六條 選舉長ハ各選舉區内ノ選舉人中ヨリ三名以上七名以下ノ選舉立會人ヲ選任シ選舉會開會ノ期日ヨリ少クトモ三日前ニ之ヲ本人ニ通知シ選舉會ノ當日選舉會ニ參會セシムヘシ
選舉立會人ハ正當ノ事故ナクシテ其ノ職ヲ辭スルコトヲ得ス

「説明」 第一項ハ投票立會人ノ選任及ヒ其通知ニ關スル第五十二條第一項ノ規定ト其精神ヲ同ウス同條ノ説明ヲ參照スヘシ

又第二項ハ投票立會人ノ義務ニ關スル第三十二條第二項ノ規定ト其精神ヲ同ウス同項ノ説明ヲ參照スヘシ

第六十七條 選舉長ハ選舉錄ヲ作り選舉會ニ關スル顛末ヲ記載シ選舉立會人ト共ニ署名シ第六十一條ノ報告書ト併セテ議員ノ任期間之ヲ保存スヘシ

「字」 選舉錄トハ選舉ニ關スル一切ノ事項ヲ記載スル文書ニシテ選舉長ノ作成スル所ノモノナリ

「説明」 選舉錄ノ效用ハ選舉會ニ於ケル選舉手續カ適法ニ行ハレタルコトヲ公證スルカヲ有スルニアリテ投票所ニ於ケル投票錄、開票所ニ於ケル開票錄ト其性質ヲ同ウス故ニ當選議員ノ任期中ハ第六十一條ノ報告書ト共ニ之ヲ保存スヘキモノトス

第六十八條 選舉人ハ其選舉會ニ參觀ヲ求ムルコトヲ得

「説明」 選舉人ハ本條ノ規定ニヨリ選舉會ヲ參觀スルコトヲ得ルト雖モ選舉長ハ選舉場ノ秩序維

持ノタメ或ハ選舉場内ノ都合ニヨリ一定ノ人員ヲ限リ參觀セシムルコトアルヘシ又選舉會場ニハ選舉人名簿ノ備付ナキカユヘニ參觀ヲ求ムル者カ果シテ選舉區内ノ選舉人ナルヤ否ヤ確知スルニ由ナシ故ニ選舉長ハ參觀ヲ求ムル者ニ對シ市町村長ノ證明書ヲ持參セシムルカ如キ制限ヲ加フルコトヲ得ヘシ

此外選舉會ノ參觀ハ開票所ノ參觀ト其性質ヲ同ウス第五十六條義解參照スヘシ

第六十九條 選舉會ノ取締ニ付テハ第五章ノ規定ヲ準用ス

「説明」 本條ハ開票所ノ取締ニ關スル第六十三條ト規定ノ精神ヲ同ウス同條ノ説明ヲ參照スヘシ

第八章 當選人

第七十條 有效投票ノ最多數ヲ得タル者ヲ以テ當選人トス但シ其ノ選舉區内ノ議員定數ヲ以テ選舉人名簿ニ記載セラレタル者ノ總數ヲ除シテ得タル數ノ五分ノ一以上ノ得票アルコトヲ要ス

前項ノ當選人ニシテ當選證書付與前ニ於テ其ノ當選ヲ辭シ若ハ死亡シタルトキ又ハ當選證書付與ノ前後ヲ問ハス選舉ニ關スル罰則ニ依リ處罰セラレタル結果當選無効トナリタルトキ又ハ被選舉權ヲ有セサル爲メ當選無効トナリタルトキハ前項ノ得票者ニシテ當選人ト爲ラサリシ者ノ中ニ就キ得票ノ順位ニ依リ之ヲ補充ス

前項ノ場合ヲ除クノ外選舉訴訟若クハ當選訴訟ノ結果ニ依リ必要ナルトキハ本條ノ例ニ依リ更ニ

當選人ヲ定ム

第七章ノ規定ハ前二項ノ場合ニ於テモ亦之ヲ適用ス

本條ニ依リ當選人ヲ定ムルニ當リ得票ノ數相同キトキハ年長者ヲ取り同年月ナルトキハ抽籤シテ其ノ順位ヲ定ム

「説明」 本條第一項ハ當選人ヲ定ムル方法ヲ規定シタルモノニシテ（尙ホ當選人ヲ定ムル方法ニ付テハ内務省選舉法調査會報告書ヲ參照スヘシ）本法ハ各種ノ黨派ニ屬スル選舉人ノ人員ニ比例シテ其政見ヲ代表セシメント欲シタルニヨリ比較多數制ヲ採用シ（過半数制ヲ採ラス）有効投票ノ最多數ヲ得タル者ヲ以テ當選者ト爲セリ然トモ候補者多數ナル場合ニル場合ニハ於テハ僅カ一二百ノ得票モ最多數ノ得票者タルコトアリ又一二ノ候補者カ數千ノ投票ヲ得タ他ノ候補者ノ得票數ハ僅ニ二三百ニ過キサレバ場合アリ前場合ノ得票者ヲ當選者トスレハ充分代表ノ實ヲ現ハササルノ嫌アリ後場合ニ他ノ候補者ヲシテ當選者タラシメサルハ酷ニ失スル嫌アリ是レ第一項但書ノ設アル所以ナリ」但書ノ規定ヲ例解スレハ左ノ如シ選舉區内ノ議員定數ヲ十名トシ選舉人名簿ニ記載セラレタル人員ヲ一萬五千人ト假定シ議員ノ定數ヲ以テ選舉人名簿ニ記載セラレタル者ノ總數ヲ除セハ千五百人トナル此千五百人ノ五分ノ一即チ三百人ヲ以テ此選舉區ニ於ケル議員タルニ必要ナルニ最少定限數トナス故ニ候補者ハ此定限數ノ以上ヲ有セサレハ如何ナル場合ニ於テモ當選者タルコトヲ得サルモノトス」前記ノ計算ヲ爲

スニ際シ注意スヘキ事項アリ左ノ如シ

(1) 選舉人名簿ニ脱漏セリトノ確定判決書ヲ持參シテ投票シタル者アルトキハ第二十七條ノ規定ニ依リ選舉人名簿ヲ修正シ以テ選舉人名簿ノ人員ノ總數ニ加フ又選舉人名簿ニ誤テ記載セラレタリトノ判決カ選舉會ヲ開ク以前ニ確定シタルトキハ選舉人名簿ノ總數ヨリ其數ヲ減ス

(2) 投票後、單ニ無資格者タルコトヲ發見シタル場合又ハ有資格者カ無資格者トナリタルモ選舉人名簿ノ總數ヨリ其數ヲ減セス

(3) 投票數ヲ計算スルニ當リ一人ニ滿タサル端數ヲ生シタルトキハ四捨五入ノ法ニ依ルル場合ハ補缺選舉ヲ省略スルタメ本項ニ列記スル四個ノ場合ニ該當シ當選者カ議員トナラサル場合ニ次點者ヲシテ議員タラジムル規定ニシテ本法カ大選舉區制ヲ採用シタル結果僅ニ一名ノ補缺員ヲ選舉セシムルタメ選舉區全部ニ選舉ヲ爲サシムル弊ヲ避ケンカタメニ設ケタル規定ナリ

第三項ハ選舉訴訟又ハ當選訴訟ノ結果ニヨリ當選者カ議員タルコト能ハサルニ至リタルトキ更ニ當選者ヲ定ムル方法ニシテ之ヲ例解スレハ甲乙丙丁ノ四名ヲ當選者ト決定シタリシニ選舉訴訟ニ依リ丁ハ無資格者ニシテ議員トナルコト能ハサルモノト確定セハ丁ノ次點者ニシテ第一項但書ノ得票アル戊ヲ以テ當選者ト爲ス戊若シ第二項ニ列記スル四個ノ場合ニ該當セハ

更ニ其次點者已ヲ以テ當選者ト爲スノ類ナリ

第四項 第七章ハ選舉會ニ關スル規定ナリ選舉會ニ關スル規定ヲ本條第二項及ヒ第三項ノ場合ニ適用セハ當ニ左ノ如クナルヘシ

日本條第二項及第三項ノ場合ニ次點者ヲ以テ當選人ト決定スルニ付テモ選舉長ハ通常ノ選舉ト同シク先ツ選舉會ヲ開クヘキ場所及ヒ日時ヲ定メテ之ヲ告示シ次ニ選舉立會人ヲ選任シ選舉會開設當時ニハ選舉立會人ヲ立會ハシメ又選舉人ノ參觀ヲ許シ公開ノ會場ニ於テ當選者ヲ決定シ選舉錄ヲ作成スルモノトス

第五項ハ本條第一項第二項第三項ノ規定ニ依リ當選者ヲ定ムルニ當リ得票ノ數相同シキ場合ニ當選者ヲ定ムル方法ヲ規定シタルモノナリ

第七十一條 當選人定マリタルトキハ選舉長ハ直ニ之ヲ選舉人ニ告知スヘシ

「説明」 本法ハ當選人ニ議員トナル義務ヲ負ハシメズ（英國等ニテ當選人ハ辭退スルコト得サルト大ニ其趣ヲ異ニス）議員タルコトヲ承諾スルト否トハ一ニ當選者ノ自由ナリ故ニ當選人ヲシテ其諾否ヲ表示セシムルタメ之ニ當選ノ事實ヲ通知スルコトヲ要ス是レ本條ノ規定アルニ至レル所以ナリ

第七十二條 當選人選舉ノ告知ヲ受ケタルトキハ其當選ヲ承諾スルヤ否ヤヲ選舉長ニ届出ツヘシ

一人ニシテ數選舉區ノ當選ヲ承諾スルコトヲ得ス

「説明」 本條ハ前條ノ規定ニヨリ選舉長ヨリ當選ノ事實ヲ通知シ來リタルトキ當選人ノ届出ノ義務ヲ規定シタルモノナリ蓋シ當選人ニ於テ諾否ノ自由アル以上ハ其諾否ヲ選舉長ニ届出ラシムルヲ至當トスレハナリ

一人カ數選舉區ニ於テ當選セハ其總テヲ辭退スルコトヲ得又之ヲ承諾スルコトヲ得ルモ承諾スル場合ニハ必ラス一選舉區ノ當選ノミヲ承諾セサル可ラス決シテ二選舉區以上ノ當選ヲ承諾スルコトヲ許サス若シ一人ニシテ二選舉區以上ノ當選ヲ承諾セハ議員ノ定數ヲ減少スル結果トナレハナリ

第七十三條 當選人當選ノ告知ヲ受ケタル日ヨリ二十日以内ニ當選承諾ノ届出ヲ爲ササルトキハ其ノ當選ヲ辭シタルモノト看做ス

「説明」 當選人ハ當選ヲ承諾シ若クハ之ヲ承諾セサル自由アルト雖モ其諾否ハ之ヲ選舉長ニ届出ツル義務アルコト前述ノ如シ故ニ若シ永ク諾否ノ通知ヲ爲ササルタメ其當選確定セサレハ選舉長ニ於テ事務整理上少カラサル不便アリ是レ本條ノ規定ヲ設ケ當選ノ告知ヲ受ケタル日ヨリ二十日以内ニ當選承諾ノ届出ヲ爲ササルトキハ其當選ヲ辭シタルモノト看做シ第七十條第二項ノ規定ニヨリ次點者ヲ以テ當選人ト決定セシムルコトトセリ

第七十四條 當選人ナキトキハ地方長官ハ選舉ノ期日ヲ定メ豫メ之ヲ告知シ更ニ選舉ヲ行ハシムヘシ

當選議員ノ定數ニ達セサルトキハ地方長官ハ前項ノ例ニ依リ其ノ不足ノ員數ニ對シ選舉ヲ行ハシムヘシ

第七十條第二項及第三項ノ場合ニ於テ當選人ナキトキ亦前二項ニ同シ
第八十條及第八十二條ノ出訴期間ハ本條ノ選舉ヲ行フコトヲ得ス其ノ出訴アリタルトキ裁判確定スルニ至ル迄ノ間亦同シ

「解」 當選人ナキトキトハ第七十條第一項但書ニ規定セル最少定限數以上ノ投票ヲ得タル者ナキヲ云フ

當選人議員ノ定數ニ達セサルトキトハ前記最少定限數以上ノ投票ヲ得タル者カ議員ノ定數ニ充タサルヲ云フ

「解」 第一項乃至第三項ノ場合ニ於テ法律カ要求スル所ノ議員ノ數ヲ充タスニ足ル當選人ヲ得サルトキハ所要ノ當選人ヲ得ル迄何回ニテモ選舉ヲ行ハシムヘキモノトス唯例外トナルハ(I)選舉ノ效力ニ關シ選舉訴訟ヲ提起シ得ヘキ期間(第八十條ノ出訴期間)(2)當選ノ效力ニ關シ當選訴訟ヲ提起シ得ヘキ期間(第八十二條ノ出訴期間)ハ選舉ヲ行フコトヲ得ス(3)又現ニ選舉訴訟又ハ當選訴訟ノ起リタルトキハ其裁判確定マテ選舉ヲ行フコトヲ得ス何トナレハ前記ノ期間又ハ選舉ニ關スル訴訟中ハ後日裁判ノ確定ニ依リ選舉ノ全部若クハ一部無効トナルコトアリ今直チニ選舉ヲ行ハシムルモ徒勞ニ屬スルコトアレハナリ

第七十五條 當選人當選ヲ承諾シタルトキハ地方長官ハ直ニ當選證書ヲ付與シ其ノ氏名ヲ管内ニ告示シ且之ヲ内務大臣ニ報告スヘシ

「解」 本條ハ當選承諾ノ届出アリタルトキ地方長官ノ爲スヘキ手續ヲ規定シタルモノナリ内務大臣ハ地方長官ノ報告ニヨリ當選人名簿ヲ調製シ之ヲ衆議院書記官長ニ送付ス書記官長ハ召集ノ當日衆議院規則第二條ニ知リ當選證書ヲ此名簿ニ對照スルモノトス

第七十六條 選舉訴訟若クハ當選訴訟ノ判決ニ依リ選舉若クハ當選無効ト爲リタルトキ又ハ當選證書ヲ附與シタル後選舉ニ關スル罰則ニ依リ處罰セラレタル結果、當選無効トナリタルトキハ地方長官ハ其當選證書ヲ取消シ之ヲ管内ニ告示スヘシ

「説明」 本條ハ地方長官カ當選證書ヲ取消シ其取消シタル旨ヲ管内ニ告示スヘキ場合三個ヲ規定セリ

- 一、選舉訴訟ノ判決ニヨリ選舉無効トナリタルトキ
- 二、當選訴訟ノ判決ニヨリ當選無効トナリタルトキ
- 三、當選證書ヲ付與シタル後選舉ニ關スル罰則ニ依リ處罰セラレタル結果、當選無効トナリタルトキ

第九章 議員ノ任期及補缺選舉

第七十七條 議員ノ任期ハ總選舉ノ日ヨリ四箇年トス但シ議會開會中ニ任期終ルモ閉會ニ至ル迄在任ス

「解」 總選舉ノ期日ヨリ四ケ年トス是レ議員ノ任期(四ケ年)ノ起算點ヲ定メタルモノナリ故ニ總選舉ノ日ヨリ曆ニ從ツテ計算シ四箇年ヲ以テ任期滿了トス例ヘハ總選舉カ明治三十五年八月十日ナラハ(第七回ノ總選舉ノ實例)明治三十九年八月十日ニ至リ任期滿了トナルカ如シ

「說明」 本條ハ議員ノ任期及ヒ任期ノ起算點ヲ定メタルモノナリ
議員ノ任期ノ長短ニ付テハ各國古今ノ法制區々ニシテ殆ント一定セシモノナシ(1)三年ヲ任期トスルモノ(普魯西、匈牙利、瑞典)(2)四年制(佛蘭西、和蘭、葡萄牙、白耳義、丁抹)(3)五年制(伊太利、西班牙)(4)六年制(埃太利索遜)(5)七年制(英吉利)等ノ區別アリ「任期長キニ過クルトキハ左記ノ弊害アリ(イ)時勢ノ變遷ニ從ヒ進歩スル國民ノ意思ハ議員ニ依テ代表セラレサルニ至ル(ロ)怠慢ニ流レ專横ノ行爲アルニ至ル(ハ)反之任期短キニ失スルトキハ選舉頻繁ニ行ハレ官民共ニ費用ト煩勞ニ苦シム加之議員ニ取テモ伎倆ヲ伸ハス餘地ナクシテ止マン我レ本法ニ於テハ各國ノ法制ヲ鑑ミ長短ノ中ヲ取り任期ヲ四年ト定メタル所以ナリ
任期滿了ハ議員ノ資格消滅ノ一原因ニシテ此外、議員ノ資格消滅原因多シ之ヲ大別スレバ各

議員ニ特別ナル資格消滅原因ト總議員ニ共通ナル資格消滅原因ノ二種トナル

- 一、各議員ニ特別ナル資格消滅原因ハ (1)死亡 (2)被選舉資格ノ消滅 (3)辭職 (4)除名是ナリ
- 二、總議員ニ共通スル資格消滅原因ハ解散ナリ

衆議院議員ノ解散ハ現在議員ノ資格ヲ消滅セシムル處分ニシテ天皇ノ大權行動ノ一ニ屬ス(憲法第四十四條第二項、同第四十五條)

第七十八條 選舉ノ日ヨリ一箇年以内ニ議員ノ缺員ヲ生シタルトキハ第七十條ノ例ニ依ル

前項ノ場合ニ於テ當選人ナキトキ又ハ選舉ノ日ヨリ一箇年以後ニ議員ノ缺員ヲ生シタルトキハ地方長官ハ内務大臣ノ命ニ依リ其ノ命ヲ受ケタル日ヨリ二十日以内ニ補缺選舉ヲ行フヘシ前項ノ補缺選舉ノ期日ハ地方長官豫メ之ヲ告示スヘシ

「解」 選舉ト汎ク規定シタル以上ハ總選舉ト補缺選舉ヲ包含ス故ニ總選舉ニ於テ議員トナリタル者カ一ケ年以内ニ缺員ト爲リ若クハ一箇年以後ニ缺員トナリタルトキニ本條ノ規定ヲ適用スルハ勿論、補缺選舉ニヨリ議員ト爲リタル者カ缺員ト爲リタル場合ニ於テモ本條ノ規定ニ依リ補缺議員ヲ定ムヘキモノトス

一箇年内外ヲ標準トシテ補缺議員ヲ定ムル手續ヲ異ニスル所以(第一項ト第二項)ハ向一箇年ハ缺員ト爲リタル議員ヲ選舉シタル選舉人名簿ノ確定期間ナレハナリ

「說明」 本條第一項及ヒ第二項ハ議員補缺ノ方法ヲ規定スルモノニシテ其方法ヲ大別スレハ二種

トナル

(第一) 第七十條ノ規定ニ依ル補缺方法

選舉ノ日ヨリ一箇年以内ニ議員ノ缺員ヲ生シタルトキハ前任議員ノ次點者ニシテ最少定限數以上ノ投票(第七十條第一項但書參照)ヲ得タルモ當選人ト爲ルコトヲ得サリシ者即チ補充員ヲシテ補缺セシム

(第二) 補缺選舉ニ依ル補缺方法

此方法ニ依ルヘキ場合ハ左記二個ノ場合ナリトス

(一) 選舉ノ日ヨリ一箇年以内ニ議員ニ缺員ハ生シタルニ由リ本法第七十條ノ規定ニ依リ補缺セントスルニ當リ當選人ナキトキ

當選人ナキトキトハ第七十條第一項但書ノ規定ニ依リ當選人トナルヘキ投票ヲ得タル者ナキトキハト云フ意ナリ

(二) 選舉ノ日ヨリ一箇年以後ニ缺員ヲ生シタルトキ

理論上ヨリ云ヘハ議員ノ補缺ハ常ニ補缺選舉ニ由ルヲ可トス然トモ本法ハ大選區制ヲ採用シタルカユヘニ一議員ノ補缺ノタメ常ニ補缺選舉ヲ行フヘシトセハ官民ノ不便、煩雜、失費勝ケテ算フ可ラス故ニ選舉ノ日ヨリ一箇年以内ニ缺員ヲ生シタル場合ニ限り便宜法トシテ前記(第一)ノ方法ヲ採用シタルモ選舉人ノ意思ハ時勢ノ推移並ニ政治社會ニ於

第七十九條 補缺議員ハ其前任者ノ殘任期間、在任ス

「解」 補缺議員トハ前條第一項及ヒ第二項ノ規定ニヨリテ補缺シタル議員ヲ總稱シ補缺選舉ニヨリテ當選シタル議員ハ之ヲ補缺議員ト稱セス

「說明」 衆議院議員ノ任期ハ四箇年ナルコト第七十七條ノ規定スル所ナリ若シ此規定ヲ補缺議員ニ適用セハ總選舉ニヨル多數ノ議員ハ任期滿了ニヨリ議員タル資格ヲ失フモ補缺議員ノミ依然トシテ議員タル資格ヲ有シ次ノ總選舉ニ於テ議員全體ヲ改選スルコト能ハサル不都合アリ是レ特ニ本條ヲ設ケテ補缺議員モ總選舉ニヨル議員ト共ニ其資格ヲ失ハシメ次ノ總選舉ニ於テハ議員全體ヲ改選セシムルコトト爲シタル所以ナリ

第十章 選舉訴訟及當選訴訟

第八十條 選舉ノ効力ニ關シ異議アル選舉人ハ選舉長ヲ被告トシ選舉ノ日ヨリ三十日以内ニ控訴院ニ出訴スルコトヲ得

前項控訴院ノ判決ニ不服アル者ハ大審院ニ上告スルコトヲ得

憲法行政法通義 附 錄 衆議院議員選舉法通解

〔解〕三十日以内ハ出訴人カ所轄控訴院ニ選舉訴訟ヲ提起スル期日ナレハ出訴人カ其控訴院所在地ニ居住セサルトキハ民事訴訟法第六十七條第一項ノ規定ニ依リ海陸路八里毎ニ一日ヲ伸長セラル

選舉人ニ限り選舉訴訟ヲ爲サシムル所以ハ選舉訴訟ハ選舉事務取扱上、不法ノ手續アリ爲メニ選舉人ノ權利ヲ毀損セラレタルニヨリ之ヲ提起セシムルモノナレハ選舉人以外ノ者ハ選舉訴訟ヲ起ス理由モ必要モ之レナキナリ

〔說明〕本條第一項ハ選舉訴訟ノ内容、選舉訴訟ノ原告(異議アル選舉人)被告(選舉長)選舉訴訟提起期間(選舉ノ日ヨリ三十日以内)管轄裁判所(控訴院)ヲ規定セリ而選舉訴訟ノ意義ハ前段

〔解〕ニ略說セシカ如ク選舉人名簿ノ調製並ニ其確定ヨリ選舉會終了ニ至ル迄ノ事務取扱上不法ノ手續アリ(註二)爲メニ選舉ノ效力ニ影響ヲ及ホスヘキ場合(即チ選舉ノ全部若クハ一部ヲ無効トナラシムヘキ場合)ニ選舉人カ選舉長ヲ相手取リテ起ス所ノ訴ナリ

(註一)選舉事務取扱上不法ノ手續アリト認ムヘキ顯著ナル場合ヲ具體的ニ列記スレハ大要左ノ如シ(1)第三十一條ニ背キ投票管理
者カ五日前ニ投票所ヲ告示セサル場合(2)第三十二條ニ背キ郡市長カ三日前ニ投票立會人ヲ選任セサル場合(3)第三十三條ニ背キ
午後六時前ニ投票所ヲ閉鎖シタル場合(4)第三十八條ヲ利用シ正當ナル選舉人ノ投票ヲ拒絶シタル場合(5)第五十一條ニ背キ開票
ヲ開票管理者ノ指定シタル場所ニ開カサル場合(6)第五十二條ニ背キ開票所ヲ告示セサリシ場合(7)第五十三條ニ背キ地方長官ニ
於テ立會人ヲ選任セサリシ場合(8)第五十六條ニ背キ故ナク選舉人ノ參觀ヲ拒絶シタル場合(9)第五十九條ニ背キ無効投票ヲ機毀
シタル場合(10)第六十四條ニ背キ選舉會ヲ選舉長ノ指定シタル場所以外ニ開キタル場合(11)第六十六條ニ背キ立會人ナクシテ選

舉會ヲ開キタル場合(12)第五十八條ニ背キ故ナク選舉人ノ參觀ヲ拒絶シタル場合等ナリ

第八十二條 選舉ノ規定ニ違背スルコトアルトキハ當選ノ結果ニ異動ヲ及ホスノ虞アル場合ニ限り
裁判所ハ其ノ選舉ノ全部若クハ一部ノ無効ヲ判決スヘシ

當選訴訟ニ於テモ其ノ選舉前項ノ場合ニ該當スルトキハ裁判所ハ其ノ全部若クハ一部ノ無効ヲ判決
スヘシ

〔解〕當選訴訟或候補者カ當選人ト定マリタル場合ニ當選人ハ被選舉資格ナシ若クハ得票數ニ誤
アリ等ノ理由ヲ主張シ其當選ヲ無効ナリト主張スル訴訟ナリ

〔說明〕第一項ハ選舉訴訟ニ於テ裁判所カ選舉ノ無効ヲ言渡スニハ(1)選舉ノ規定ニ違反スルコト
(2)規定ノ違反カ當選ノ結果ニ異動ヲ及ホス虞アルコトノ二條件ヲ要スルコトヲ規定セリ選舉
ノ無効ヲ言渡スニ選舉規定ノ違反ノミナラス當選ノ結果ニ異動ヲ及ホスコトヲ必要トスル所
以ハ單ニ選舉規定ニ違反スルニ止マリ當選ノ結果ニ影響ナキ場合ニハ理論上不法アリト云フ
ニ過キスシテ實害ナキニヨリ選舉手續ヲ無効トスル必要ナキニ依ル

第二項ハ當選訴訟ニ於テモ第一項同様二個ノ條件アル場合ニ限り當選ノ無効ヲ言渡スヘキコ
トヲ規定セリ

第八十二條 當選ヲ失ヒタル者當選ノ効力ニ關シ異議アルトキハ當選人ヲ被告トシ第七十五條ノ氏
名告示ノ日ヨリ三十日以内ニ控訴院ニ出訴スルコトヲ得但シ第七十條第二項但書ニ定メタル得票

ニ達シタリトノ理由ニ由リ出訴スル場合ニ於テハ選舉長ヲ被告トシ第七十四條ノ告示ノ日ヨリ三十日以内ニ出訴スヘシ

前項控訴院ノ判決ニ不服アル者ハ大審院ニ上告スルコトヲ得

「説明」 本條ハ當選訴訟ニ二種アルコトヲ定メタルモノニシテ即チ左ノ如シ

(第一) 當選ヲ失ヒタル者カ當選人ノ當選ヲ無効ナリト争フモノ

當選ヲ失ヒタル者トハ選舉ニ關シ最少定限數以上ノ投票ヲ得タル者ニシテ當選人ト定メラ

レサリシ者ナリ

此種ノ當選訴訟ニ於テハ當選人ヲ被告トシ地方長官カ當選人ノ氏名ヲ告示シタル日ヨリ三十

十日以内ニ起訴スヘキモノトス

(第二) 第七十條第一項但書ニ定メタル得票ニ達シタリトノ理由ニ由リ出訴スルモノ

此種ノ訴訟ハ選舉ノ後若クハ議員補缺ノ際、最少定限數以上ノ得票者ナシトシテ地方長官

カ更ニ選舉ヲ行ハシムル告示ヲ爲シタル時自己ハ第七十條第一項但書ニ規定スル得票者ナ

リトシテ地方長官ノ決定ヲ争フモノナレハ地方長官タル選舉長ヲ相手トシテ告示ノ日ヨリ

三十日以内ニ提起スヘキモノトス

第八十三條 裁判所ハ選舉訴訟若ハ當選訴訟ヲ裁判スルニ當リ檢事ヲシテ口頭辯論ニ立會ハシムヘ

シ

「説明」 選舉訴訟及ヒ當選訴訟ノ結果ハ共ニ公益ニ重大ナル影響ヲ及ホスモノナリ蓋シ此等ノ訴訟

ハ公權(選舉權)ノ行使並ニ立法府構成員ノ資格ノ有無ヲ決定スルモノナレハナリ他方ニ於

テ檢事ハ國家ヲ代表シ公益ヲ保存ノ重任ニ當ルモノナレハ公益ニ重大ナル關係ヲ有スル前記

二個ノ訴訟ノ口頭辯論ニ立會ハシムルコトトセリ

第八十四條 裁判所ニ於テ選舉訴訟若クハ當選訴訟ヲ判決シタルトキハ其判決書ノ謄本ヲ内務大臣

ニ送付スヘシ若帝國議會開會中ナルトキハ併セテ之ヲ衆議院議長ニ送付スヘシ

「説明」 本條ハ内務大臣及ヒ衆議院議長ヲシテ選舉訴訟及ヒ當選訴訟ノ結果ヲ知ラシメンカタメ

ニ設ケタル規定ナリ

内務大臣ガ此訴訟ノ結果ヲ知ル必要ハ内務大臣ハ地方長官ニ對シ補缺選舉ヲ命スル職權アリ

此職權ニヨリ補缺選舉ヲ命スルニハ或當選者カ訴訟ノ結果ニ依リ議員タルヲ得サルニ至リタ

ルコトヲ知ルノ必要アリ又衆議院議長ハ内務大臣ニ對シ補缺選舉ヲ請求スル必要アルノミナ

ラズ議員ノ資格ナキ者ニ對シテハ議場ニ入ルコトヲ禁シ其他議員ノ特權ヲ享有セシメサル必

要アレハナリ

第八十五條 原告人ハ訴狀ヲ提出スルト同時ニ保證金トシテ三百圓又ハ之ニ相當スル額面ノ公債證

書ヲ拱託スヘシ

原告人敗訴ノ場合ニ於テ裁判確定ノ日ヨリ七日以内ニ裁判費用ヲ完納セサルトキハ保證金ヲ以テ

之ニ充當シ仍足ラサルトキハ之ヲ追徴ス

「説明」 選舉訴訟ノ被告ハ選舉長タル地方長官ニシテ當選訴訟ノ被告ハ當選者ナリ如此被告ハ何レモ重要ナル地位ニ立ツモノナルノミナラス此等ノ訴訟ノ提起ハ選舉人ノ感情ヲ動搖セシメ其影響スル所少クナラサルニヨリ濫訴ノ弊ヲ嚴禁スル必要アルニヨリ本條ノ規定ヲ設ケ原告ニ一定ノ保證金ヲ立テシル所以ナリ

第十一章 罰則

舊刑法ハ其第二編第四章第九節ニ於テ公選ノ投票ヲ偽造スル罪ナル犯罪ヲ設ケ第二百三十三條乃至第二百三十六條ニ於テ左記四種ノ罪名ヲ設ケタリ本法制定ノ當時ニ於テハ刑法ニ此規定アルカタメ此規定ト重復スルモノヲ除キ此以外ニ於ケル犯罪ノミヲ規定セリ然ルニ新刑法制定ニ際シ選舉ニ關スル犯罪ハ特別法ニ於テ之ヲ規定スヘキモノトシ全然之ヲ削除シ唯刑法施行法第二十五條三號ニ於テ當分ノ内其効力ヲ有スルモノトシ早晚之ヲ改正シ此等選舉ニ關スル犯罪ハ各種ノ公選議員ノ選舉規則中ニ挿入セラルヘキコトヲ豫期セリ

舊刑法中ニ於ケル選舉ニ關スル犯罪左ノ如シ

- (1) 公選ノ投票ヲ偽造シ又ハ其數ヲ増減シタル罪(第二百三十二條)
- (2) 賄賂ヲ以テ投票ヲ爲サシメ又ハ賄賂ヲ受ケテ投票ヲ爲シタル罪(第二百三十四條)

- (3) 投票ヲ検査シ及其數ヲ計算スル者ニシテ其投票ヲ偽造シ又ハ増減シタル罪(第二百三十五條)
- (4) 調書ヲ作り投票ノ結果ヲ報告スル者ニシテ其數ヲ増減シ其他詐僞ノ所爲アルトキ(第二百三十六條)

第八十六條 詐僞ノ方法ヲ以テ選舉人名簿ニ登録セラレタル者又ハ第三十四條第二項ノ場合ニ於テ虚僞ノ宣言ヲ爲シタル者ハ十圓以上五十圓以下ノ罰金ニ處ス

「説明」 詐僞ノ方法ヲ以テ選舉人名簿ニ登録セラレタル者トハ虚無ノ事實ヲ構造シ又ハ現存スル事實ヲ詐稱若クハ隱蔽シ市町村長ヲシテ選舉權ヲ有スル者ト誤認セシメ以テ選舉人名簿ニ登録セシメタル者ナリ

罰金トハ刑罰ノ一種ナル財産刑ニシテ之ヲ完納スルコト能ハサルトキハ一月以上一月以下ノ期間勞役場ニ留置セララル(刑法第九條、同第十八條)

第八十七條 選舉ノ前後ヲ問ハス左ノ各號ニ該當スル所爲アル者ハ一日以上一年以下ノ輕禁錮ニ處シ又ハ十圓以上百圓以下ノ罰金ニ處ス

一、選舉ニ關シ直接又ハ間接ニ金錢物品手形其ノ他ノ利益若ハ公私ノ職務ヲ選舉人又ハ選舉運動者ニ供與シ又ハ供與セムコトヲ申込ミタル者又ハ供與若ハ申込ヲ承諾セムコトヲ周旋勸誘シタル者竝供與ヲ受ケ若ハ申込ヲ承諾シタル者

二、選舉ニ關シ酒食、遊覽等其ノ方法及名義ノ何タルヲ問ハス人ヲ饗應接待シ又ハ饗應接待ヲ受

ケタル者又ハ選舉會場、開票所若ハ投票所ニ往復スル爲船車馬ノ類ヲ供給シ及其ノ供給ヲ受ケタル者又ハ旅費若ハ宿泊料ノ類ヲ代辨シ其ノ代辨ヲ受ケタル者竝此等ノ約束ヲ爲シ又ハ約束ヲ受ケタル者

三、選舉ニ關シ選舉人又ハ其ノ關係アル社寺、學校、會社、組合、市町村等ニ對スル用水、小作債權、寄附其ノ他利害ノ關係ヲ利用シ選舉人ヲ誘導シタル者及其ノ誘導ニ應シタル者

前項ノ場合ニ於テ其ノ收受シタル物件ハ之ヲ沒收シ既ニ費用シタルモノハ其ノ價ヲ追徴ス

「解」 選舉ノ前後トハ選舉ノ當日ト其以前又ハ以後ニ於ケル時間ニシテ選舉ニ關シ不正行爲其他、當選ニ影響スヘキ行爲ヲ爲シ得ル時期ナリ而當選ニ影響スヘキ行爲ヲ爲シ得ル時期ナリヤ否ヤハ事實問題ニシテ爭アル場合ニ裁判所ノ認定ニ一任スヘク日時ヲ期シテ（例ハ選舉當日以前何日若クハ以後何日間）斷言スル能ハス

選舉ニ關シトハ自ラ投票ヲ得ル目的ヲ以テ又ハ他人ニ投票ヲ行セシムル目的ヲ以テ若クハ他人ノ得票ヲ妨クル目的ヲ以テト云フ意味ナリ

「說明」 本條第一號ノ規定ヲ分析スルトキハ左記七個ノ事項トナル

- (1) 選舉ニ關シ直接又ハ間接ニ金錢、物品、手形其他ノ利益ヲ選舉人ニ供與シタル者又ハ供與セント申込ミタル者
- (2) 選舉ニ關シ直接又ハ間接ニ金錢、物品、手形其他ノ利益ヲ選舉運動者ニ供與シタル者又

ハ供與セント申込ミタル者

- (3) 選舉ニ關シ直接又ハ間接ニ公私ノ職務ヲ選舉人ニ供與シタル者又ハ供與セント申込シタル者
- (4) 選舉ニ關シ直接又ハ間接ニ公私ノ職務ヲ選舉運動者ニ供與シ又ハ供與セント申込シタル者

者

- (5) 前四號ニ記載スル供與又ハ供與ノ申込ヲ承諾センコトヲ周旋勸誘シタル者

- (6) (1)乃至(4)ニ記載スル供與ヲ受ケタル者

- (7) (1)乃至(4)ニ記載スル供與ノ申込ヲ承諾シタル者

第二號ノ規定ヲ分析スレハ左記八個ノ事項トナル

- (1) 選舉ニ關シ酒食、遊覽等其方法及ヒ名義ノ何タルヲ問ハス人ヲ饗應接待シタル者

- (2) 選舉ニ關シ酒食、遊覽、等其他方法及ヒ名義ノ何タルヲ問ハス饗應接待ヲ受ケタル者

- (3) 選舉ニ關シ選舉會場、開票所、若クハ選舉所ニ往復スルタメ車馬ノ類ヲ供給シタル者

- (4) 選舉ニ關シ選舉會場、開票所、若クハ投票所ニ往復スルタメ車馬ノ類ノ供給ヲ受ケタル者

者

- (5) 選舉ニ關シ旅費若クハ宿泊料ノ類ヲ代辨シタル者

- (6) 選舉ニ關シ旅費若クハ宿泊料ノ類ノ代辨ヲ受ケタル者

(7) 選舉ニ關シ旅費若クハ宿泊料ノ類ヲ代辨スヘキ約束ヲ爲シタル者
 (8) 選舉ニ關シ旅費若クハ宿泊料ノ類ノ代辨ヲ受クヘキ約束ヲ爲シタル者
 本條第三號ノ規定ヲ分析スルトキハ左記四個ノ事項トナル

(I) 選舉ニ關シ選舉人ニ對スル用水、小作、債權、寄附其他ノ利害關係ヲ利用シテ選舉人ヲ誘導シタル者

(2) 選舉ニ關シ選舉人タル自己ニ對スル用水、小作、債權、寄附其他ノ利害關係ヲ利用シタル誘導ニ應シタル者

(3) 選舉ニ關シ選舉人ニ關係アル社寺、學校、會社、組合、市町村等ニ對スル用水、小作、債權、寄附其他ノ利害關係ヲ利用シ選舉人ヲ誘導シタル者

(4) 選舉人ニシテ前記(3)ノ誘導ニ應シタル者

第八十八條 右ノ各號ニ該當スル者ハ二月以上二年以下ノ輕禁錮ニ處シ、五圓以上百圓以下ノ罰金ヲ附加ス

一 選舉ニ關シ選舉人ニ暴行脅迫ヲ加ヘ若ハ之ヲ拐引シタル者

二 選舉人ニ對シ往來ノ便ヲ妨ケ又ハ詐僞ノ手段ヲ以テ選舉權ノ行使ヲ妨害シ若ハ投票ヲ爲サシメタル者

三 選舉ニ關シ選舉人又ハ其ノ關係アル社寺、學校、會社、組合、市町村等ニ對スル用水、小作、

債權其他、利害ノ關係ヲ利用シ選舉人ヲ威逼シタル者

「說明」 輕禁錮トハ舊刑法ニ於ケル輕罪ノ主刑ニシテ十一日以上五年以下ノ期間ニ於テ定メタル一定ノ期間、禁錮場ニ留置スル所謂、自由刑ナリ新刑法ハ重罪輕罪ノ區別ヲ廢シ又定役ナキ自由刑ハ總テ之ヲ禁錮ト稱シ有期禁錮、一月以上十五年以下ト定メ又拘留ハ一日以上三十日未滿ト定メタルニヨリ茲ニ所謂、輕禁錮ハ新刑法ノ有期禁錮及ヒ拘留ニ該當ス(新刑法第九條、第十二條)

暴行トハ被害者ノ身體ヲ傷害スルニ至ラサル程度ノ不法ナル腕力ノ使用ナリ
 脅迫トハ一定ノ人ヲシテ或行爲ヲ爲シ又ハ或意思ヲ表示セシムル目的ヲ以テ其人ヲ壓迫シ其精神作用ノ自由ヲ奪ヒ去ルヲ云フ
 威逼トハ威力ヲ用ヒテ人ヲ壓迫シ其精神作用ノ自由ヲ奪ヒ去ルヲ云フ

第八十九條 選舉事務ニ關係アル官吏、吏員、立會人及監視者、選舉人ノ投票シタル氏名ヲ表示シタル者ハ二月以上二年以下ノ輕禁錮ニ處シ五圓以上五百圓以下ノ罰金ヲ附加ス其表示シタル事實ノ虛僞ナルトキ亦同シ

「解」 表示トハ表白指示ノ意味ニシテ選舉人ノ氏名ヲ投票者以外ノ人ニ知ラシムルヲ云ヒ其方法ハ文書ヲ以テスルト言語ヲ以テスルトヲ問ハサルナリ

「說明」 無記名式選舉法ヲ採用スル結果ハ被選舉人ノ氏名ハ嚴ニ秘密ニ付セシムルコトヲ要ス而

秘密ヲ漏泄スル恐アル者ハ第四十八條ノ規定ニ依リ投票所ニ入ルコトヲ得ル官吏、公吏、立會人、監視者ナリ是レ本條ノ規定ヲ設ケ此等ノ者ノ秘密漏泄ニ對シ嚴重ナル制裁ヲ加ヘタル所以ナリ

第九十條 投票所又ハ開票所ニ於テ正當ノ事由ナクシテ選舉人ノ投票ニ關涉シ又ハ被選舉人ノ氏名ヲ認知スルノ方法ヲ行ヒタル者ハ一月以上一年以下ノ輕禁錮ニ處シ又ハ十圓以上百圓以下ノ罰金ニ處ス

法令ノ規定ニ依ラスシテ投票函ヲ開キ又ハ投票函中ノ投票ヲ取出シタル者ノ罰亦前項ニ同シ
「説明」 本條第一項ハ二個ノ犯罪行為ヲ規定スルモノニシテ第一ハ投票所又ハ開票所ニ於テ正當ノ事由ナクシテ選舉人ノ投票ニ關涉シタルコトヲ處罰スレ是レ選舉ノ自由ヲ保護スルタメ選舉ニ關係アル官吏、吏員ノ干渉ヲ防ク目的ヲ以テ規定シタル犯罪ナリ

第二ハ秘密選舉ノ主義ヲ一貫スルタメ被選舉人ノ氏名ヲ認知スル方法ヲ行ヒタルニヨリ成立スル犯罪ニシテ例ヘハ場内ノ取締ヲ名トシ警察官吏ヲシテ選舉人カ被選舉人ノ氏名ヲ記載スル現場ヲ窺ハシムル行為ノ如シ
第二項ハ正當ナル當選者ノ權利ヲ保護スル目的ヲ以テ選舉投票ノ結果ヲ害スル行為ヲ防止スルタメ規定シタルモノナリ

第九十一條 投票管理者、開票管理者、選舉長、立會人若ハ選舉監視者ニ暴行ヲ加ヘ又ハ投票會場

開票所ヲ騷擾シ又ハ投票、投票函其ノ他關係書類ヲ抑留、毀壞、奪取シタル者ハ四月以上四年以下ノ輕禁錮ニ處ス
多衆ヲ嘯聚シテ前項ノ罪ヲ犯シタル者ハ輕禁獄ニ處ス其情ヲ知テ嘯聚ニ應シ勢ヲ助ケタル者ハ一月以上五年以下ノ輕禁錮ニ處ス

「説明」 本條ハ選舉ノ自由ヲ保持シ投票ノ公平ヲ保タシムルタメ選舉ニ關係スル役員ニ暴行ヲ加ヘ又ハ選舉會場、開票所、投票所ヲ騷擾シ又ハ投票、投票函其他關係書類ヲ抑留、毀壞、奪取スル行為ヲ處罰スルタメ設ケタル規定ナリ

第九十二條 選舉人、議員候補者若ハ選舉運動者ヲ脅迫シ又ハ選舉會場、開票所、投票所ヲ騷擾シ又ハ投票、投票函其ノ他關係書類ヲ抑留、毀壞、奪取スルノ目的ヲ以テ多衆ヲ嘯聚シタル者ハ六月以上三年以下ノ輕禁錮ニ處ス其ノ情ヲ知テ嘯聚ニ應シ勢ヲ助ケタル者ハ十五日以上三月以下ノ輕禁錮ニ處ス」犯罪者第九十三條ノ物件ヲ携帶シタルトキハ各本刑ニ一等ヲ加フ

「説明」 本條ハ選舉人等ヲ脅迫スル目的ヲ以テ又ハ選舉會場ヲ騷擾スル目的ヲ以テ並ニ投票等ヲ抑留毀壞、奪取スル目的ヲ以テ多衆ヲ嘯聚シタル者及ヒ情ヲ知テ嘯聚ニ應シ勢ヲ助ケタル者ヲ罰スル規定ナリ

第九十三條 選舉人、議員候補者及選舉運動者ニシテ選舉ニ關係シ銃砲、槍戟、刀劍、竹槍、棍棒其ノ他、人ヲ殺傷スルニ足ルヘキ物件ヲ携帶シタル者ハ二年以下ノ輕禁錮又ハ五圓以上二百圓以

下ノ罰金ニ處ス

警察官吏又ハ憲兵ハ必要ト認ムル場合ニ於テ前項ノ物件ヲ領置スルコトヲ得

「説明」 本條ハ選舉候補者、選舉運動者ニシテ選舉ニ關シ兇器ヲ携帯シタル行爲ヲ處罰スル規定ナリ

第九十四條 前條記載ノ物件ヲ携帯シテ選舉會場開票所若ハ投票所ニ入りタル者ハ前條ノ例ニ依リ一等ヲ加フ

第九十五條 選舉ニ關シ氣勢ヲ張ルノ目的ヲ以テ多衆集合シ若ハ隊伍ヲ組ミテ往來シ又ハ煙火、篝火、松明ノ類ヲ用キ若ハ鐘鼓、法螺、喇叭ノ類ヲ鳴ラシ旗幟其ノ他ノ標章ヲ用ウル等ノ所爲ヲ爲シ警察官吏ノ制止ヲ受クルモ仍其ノ命ニ從ハサル者ハ十五日以上六月以下ノ輕禁錮ニ處シ又ハ五圓以上百圓以下ノ罰金ニ處ス

「解」 本條ハ選舉ニ關シ公衆ノ安寧秩序ヲ紊亂スヘキ行爲ヲ爲シ警察官吏ノ制止ヲ受ケ仍ホ其命ニ從ハサル者ノ行爲ヲ罰スル規定ナリ

第九十六條 第八十九條乃至第九十五條ノ所爲ヲ爲サシムルノ目的ヲ以テ演說又ハ新聞紙、雜誌、引札、張札其ノ他何等ノ方法ヲ以テスルニ拘ラス人ヲ教唆シタル者ハ其ノ各條ニ依リ處斷ス但シ新聞紙、雜誌ニ在リテハ仍其ノ署名シタル編輯人ヲ處斷ス

第九十七條 當選ヲ妨クルノ目的ヲ以テ演說又ハ新聞紙、雜誌、引札、張札、其ノ他何等ノ方法ヲ

以テスルニ拘ラス議員候補者ニ關シ虛偽ノ事項ヲ公ニシタル者ハ六月以下ノ輕禁錮ニ處シ五十圓以下ノ罰金ヲ附加ス新聞紙、雜誌ニ在リテハ前條但書ノ例ニ依ル

「説明」 本條ハ當選ヲ妨クル目的ヲ以テ候補者ニ關シ虛偽ノ事實ヲ公示シタル所爲ヲ罰スル規定ナリ

第九十八條 選舉人タルコトヲ得サル者ニシテ投票ヲ爲シタル者及氏名ヲ詐稱シテ投票ヲ爲シタル者ハ一月以上二年以下ノ輕禁錮ニ處シ十圓以上百圓以下ノ罰金ヲ附加ス

第九十九條 立會人正當ノ事故ナクシテ本法ニ定メタル義務ヲ缺クトキハ五十圓以上五十圓以下ノ罰金ニ處ス

「解」 立會人トハ投票立會人(第三十二條)開票立會人(第五十三條)選舉立會人(第六十六條)ノ三者ヲ併願ス

「説明」 立會人ハ選舉人ノ自由權利ヲ保障シ投票管理者、開票管理者並ニ選舉長ノ行爲ヲ監視シ以テ選舉ノ公平確實ヲ期セシメンタル設クル所ノ公職ニシテ之ヲ負擔スル者ニ就テ云ヘハ公法上ノ義務ナリ公法上ノ義務ハ之ヲ拋棄スルコトヲ得サルハ勿論若シ猥リニ其義務ノ履行ヲ怠レハ刑罰ヲ加ヘテ之ヲ強制スル必要アリ是レ本條ノ設アルニ至レル所以ナリ

第百條 第九十二條第二項、第九十三條及第九十四條ノ罪ヲ犯シタル場合ニ於テハ其携帯シタル物件ヲ沒收ス

第一百一條 當選人其選舉ニ關シ選舉ニ關スル犯罪ニ依リ刑ニ處セラレタルトキハ其當選ハ無効トス

「解」 其選舉ニ關シトハ當選シタル選舉ニ關シト云フ意味ナリ

選舉ニ關スル犯罪ニ依リトハ選舉法違背ノ犯罪ト云フ意ニシテ主トシテ本法第十一章ニ規定スル罰則違背ノ犯罪ナリ

「説明」 選舉法違背ノ犯罪ニ依リ刑ニ處セラレタルコトハ既ニ一種ノ制裁ヲ加ヘラレタルモノナリ之ニ加ヘテ其當選ヲ無効トスルハ重ネテ選舉法違背ノ行爲ニ制裁ヲ加フルモノト云フヘシ如此一選舉法違背行爲ニ二重ノ制裁ヲ加フル所以ハ候補者ヲシテ嚴重ニ選舉法規ヲ遵守セシメントスル越旨ニ外ナラサルナリ

第一百二條 選舉ニ關スル犯罪ニ依リ刑ニ處セラレタル者ハ裁判所ノ宣告ヲ以テ刑期後仍ニ二年以上八年以下選舉人及被選舉人タルコトヲ禁ス

「解」 選舉ニ關スル犯罪ハ他ノ犯罪ト異ナリ不法ニ選舉權ヲ行使シ若クハ不法ニ被選舉權ヲ行使シタルニ基ク犯罪ナリ故ニ此種ノ犯罪ニ對シテハ附加刑トシテ選舉權又ハ被選舉權ノ行使ヲ禁止スルヲ以テ最も能ク刑罰タルノ實效ヲ奏セシム是レ特ニ本條ノ規定ヲ設ケ裁判所ニ於テ刑期滿了後、二年以上八年以下ノ範圍内ニ選舉權又ハ被選舉權ノ行使ヲ禁スル言渡ヲ爲ス所以ナリ

第一百三條 本法ニ依リ處罰スヘキ犯罪ハ三箇月ヲ以テ時効ニ罹ル

「解」 時効トハ時ノ經過ノ效力ニヨリ權利ヲ所得シ又ハ義務、刑罰ヲ免ルルヲ云フ權利ヲ取得セシムル時効ハ民法ニ謂フ所ノ取得時効ニシテ義務ヲ免レシムル時効ハ民法上ノ免責時効ナリ又犯罪トシテ之ヲ訴追ムル權利(即チ公訴權)ヲ免レシムル時効ハ刑事訴訟法上ノ時効ナリ刑罰ヲ免レシムル時効ハ民法上ニ云フ所ノ時効ナリ本條ニ謂フ所ノ時効ハ此刑事訴訟法上ノ時効ニシテ六ヶ月ノ經過ニヨリ犯人ニ處罰ヲ免レシムルモノナリ

「説明」 本條ハ選舉法違背ノ犯罪ニ對スル時効ヲ規定シタルモノナルモ其時効期間ハ之ヲ六ヶ月トセリ然ルニ民法上ノ時効期間ハ長キハ三十年短キモ一ヶ年ナリ(第三十二條)又刑事訴訟法上ノ時効ハ長キハ十五年、短キモ六ヶ月ナリ(刑法施行法第三十八條)本條ニ於テ選舉ニ關スル犯罪ハ如何ニ重大ナルモノナルモ其公訴時効ハ之ヲ六ヶ月トセリ是レ如何ナル理由ニ經由スルモノナルカ曰、選舉ニ關スル犯罪ハ一時ノ競争熱ヨリ互ニ相確執スル結果知ラス識ラズ罪ヲ犯スニ至ルモノナルモ一旦選舉終了シ當選人ノ一定シタル以上ハ又前日ノ狀態劇ニ消散シ社會モ其犯罪事實ヲ遺忘シ又最早之ヲ罪トシテ處罰スル必要ナシ是レ選舉法違犯ノ犯罪ニ關シ特ニ其時効期間ヲ短縮シタル所以ナリ

第十二章 補則

第一百四條 選舉ニ關スル費用ニ付テハ勅令ヲ以テ之ヲ定ム

「説明」 選舉事務ハ市町村長、郡長、府縣知事ニ於テ之ヲ取扱フコトアリ此場合ニ要スル選舉費用ハ國庫ノ負擔ニ屬スルヤ將タ府縣費、郡費、市町村費ヲ以テ支辨スヘキカハ一個ノ疑問ナリ本條ハ勅令ヲ以テ之ヲ定ムト規定セリ而本法施行令(明治三十四年勅令第八十六號)ハ本條ニ所謂、勅令ニ該當シ其第二十五條至乃第三十二條ニ於テ費用ノ種類ニヨリ府縣費、及北海道地方費又ハ郡費若クハ市町村費ヲ支辨スヘキコトヲ明定セリ

第一百五條 選舉ニ關スル訴訟ニ付テハ裁判所ハ他ノ訴訟ノ順序ニ拘ハラズ速ニ其裁判ヲ爲スヘシ
 「説明」 議員ハ立法府タル所ノ帝國議會ノ構成員ニシテ其職務ノ重要ナルコト云フ迄モナシ而選舉ニ關スル訴訟ハ直接ニハ議員ノ資格認否ヲ決定シ間接ニハ立法府ニ於ケル議事ノ進行ニ大ナル影響ヲ及ホスモノナレハ公益上他ノ訴訟ノ延滞如何ニ拘ハラズ選舉ニ關スル訴訟ハ最モ速ニ之ヲ決定スル必要アリ是レ本條ノ規定アルニ至レル所以ナリ

第一百六條 町村制ヲ施行セサル地ニ於テハ本法ニ規定シタル町村長ノ職務ハ戶長又ハ之ニ準スヘキ者之ヲ掌ル
 島司ヲ置ケル島嶼ニ於テハ本法ニ規定シタル郡長ノ職務ハ島司之ヲ掌リ其ノ島司ナキモノニ於テハ郡長ニ準スヘキ者之ヲ掌ル
 東京市、京都市、大阪市ニ於テハ本法中市トアルハ區、市長トアルハ區長、市役所トアルハ區役所ニ該當ス

「解」 戶長ノ準スヘキ者トハ伊豆七島ニ於ケル地役人又ハ名主ノ如キモノナリ

「説明」 本法ハ總テ市町村制ヲ施行セルモノト前提シテ規定ヲ立テタルヲ以テ遠島若クハ僻遠ノ地ニシテ町村制ヲ施行セサル土地ニ對シテハ其適用定マラス於此、町村制ヲ施行セサル地ニ於テハ本法ニ規定スル町村長ノ職務ハ何人カ之ヲ執行スヘキカヲ明定スル必要アリ是レ第一項ノ規定ヲ設クルニ至レル所以ナリ

本法ハ開票管理者等ノ職務ニ關シ常ニ郡長アルモノト前提シテ規定ヲ設ケタリ然ルニ島嶼ニ於テハ島司ヲ置キテ郡長ヲ置カサル場合アリ又島司ヲ置クヘキ島嶼ニシテ島司ヲ置カサルモノアリ此ノ如キ場合ニ選舉ニ關スル郡長ノ職務ハ何人カ之ヲ行フヘキカヲ明定シ置ク必要アリ是レ本條第二項ノ規定アル所以ナリ

東京、京都、大阪三大市ノ區ハ其人口他府縣ニ於ケル市ニ匹敵ス此三市ノ區ハ本法ニ謂フ所ノ市ト看做シ隨テ其區長ハ市長ト看做シ區役所ハ市役所ト看做シテ取扱フヘキモノトス(第三項)

第一百七條 立會人指定ノ時刻ニ至リ參會セサルトキ又ハ參會シタルモ中途ヨリ定數ヲ缺キタルトキハ選舉管理者、開票管理者、選舉長ハ臨時ニ選舉人ノ中ヨリ立會人ヲ遷任スヘシ

「解」 定數トハ地方長官又ハ郡市長ニ於テ定メタル立會人ノ數ナリ

「説明」 立會人、指定ノ時刻ニ至リ參會セサルカ參會スルモ定數ヲ滿タサルトキハ選舉立會人ニ

付テハ選舉管理者ニ於テ開票立會人ニ付テハ開票管理者ニ於テ選舉會ノ立會人ニ於テハ選舉長ニ於テ臨時ニ選舉人中ヨリ立會人ヲ選擇スルモノトス

第百八條 選舉人名簿ニ關スル訴訟、選舉訴訟、當選訴訟ニ付テハ本法ニ規定シタルモノヲ除クノ外、總テ民事訴訟ノ例ニ依ル

「説明」 訟訴手續ハ選舉ニ關スルモノナルカユヘニ特別ノ規定ヲ設クヘキモノ多シ故ニ特別ノ規定ヲ爲スヘキ事項ニ付テハ本法ニ於テ一々之ヲ明定シ其他ハ總テ民事訴訟ノ例ニヨリ民事訴訟法ノ規定ヲ適用スヘキモノトセリ

第百九條 本法ニ於ケル直接國稅ノ種類ハ勅令ヲ以テ之ヲ定ム

「説明」 本法第八條、第十條、第十九條等ニ於テ直接國稅ナル文字ヲ使用スルモ直接國稅トハ如何ナル種類ノ租稅ナルヤヲ規定セスシテ之ヲ勅令ニ讓リタリ何故之ヲ勅令ニ讓リタルカ曰、租稅ハ國家歲入ノ都合ニヨリ時々其種類ニ増減變更ヲ來タスヲ免レヌ今若シ直接國稅ノ何タルヤヲ本法ニ規定シ置クトキハ稅法ノ改正毎ニ本法ヲ改正スヘキ不都合ヲ生スルニ至ルヘシ本條ノ意ヲ承ケテ直接國稅ノ種類ヲ定メタルモノハ本法施行令（明治三十四年勅令第百八十六號）第三十三條ナリ其文ニ曰、衆議院議員選舉法ニ於ケル直接國稅ノ種類左ノ如シ

- 一、地 租
- 二、所得稅（所得稅法第三條第一項第二種ノ所得中無記名債券ノ所得ニ係ル所得ヲ除ク）

三、營業稅

第百十條 北海道及沖繩縣ニ於テ本法ノ規定ヲ適用シ難キ事項ニ付テハ勅令ヲ以テ前段ノ規定ヲ設クルコトヲ得

「説明」 北海道及沖繩縣ハ共ニ本島ノ南北ニ偏シ氣候ニ寒暖ノ大差アルカ如ク人情風俗全然内地ト異ナリ隨テ規定ノ適用ニ關シテモ内地同様ナルコト能ハス是レ此兩地ニ對シテ本法ノ規定ヲ適用シ難キ事項ニ付テハ勅令ヲ以テ特別ノ規定ヲ設クルコトヲ得セシムル所以ナリ
北海道及沖繩縣ニ對シテハ次條ノ規定ニ依リ未タ本法ヲ施行スルニ至ラス而其施行セラルル一選舉區（北海道ノ札幌區、函館區、小樽區）ニ對シテモ本法施行令第三十八條ノ規定アルノミニシテ他ニ何等ノ規定ナシ

第十三章 附 則

第百十一條 本法ハ次ノ總選舉ヨリ之ヲ施行ス但シ北海道（札幌區、函館區、小樽區ヲ除ク）沖繩縣ニ付テハ勅令ヲ以テ別ニ施行ノ期日ヲ定ム

第百十二條 本法ニ依リ初メテ議員ヲ選舉スルニ付キ必要ナル選舉人名簿ノ調製ニ限リ第十八條乃至第二十條第二十四條第二十六條第二十七條ノ期日及期間ニ勅令ヲ以テ別々之ヲ定ムルコトヲ得但シ其選舉人名簿ハ次年ノ選舉人名簿確定ノ日迄其效力ヲ有ス

選舉法通解附錄

第一號

衆議院議員選舉法第一條第二項ニ謂フ所ノ別表

東京府	東京市	東京府	京都府	京都府	大阪府	大阪府	大阪府	神奈川縣	神奈川縣	兵庫縣
部	部	部	部	部	部	部	部	部	部	部
部(伊豆七島トモ)										
十一人	五人	三人	五人	三人	六人	六人	六人	二人	二人	六人
神戸市	姫路市	長崎縣	長崎縣	對馬部	新潟縣	新潟縣	新潟縣	△佐渡部	埼玉縣	群馬縣
部	部	部	部	部	部	部	部	部	部	部
部	部	部	部	部	部	部	部	部	部	部
十二人	十一人	十一人	六人	六人	一人	一人	一人	一人	一人	一人

△高崎市	千葉縣	茨城縣	水戸市	栃木縣	宇都宮市	奈良縣	奈良縣	三重縣	津市	△四日市市	愛知縣	名古屋市
部	部	部	部	部	部	部	部	部	部	部	部	部
部	部	部	部	部	部	部	部	部	部	部	部	部
十一人	十六人	十一人	九人	九人	六人	六人	六人	四人	一人	一人	七人	二人
静岡縣	山梨縣	山梨縣	山梨縣	滋賀縣	滋賀縣	岐阜縣	岐阜縣	岐阜縣	長野縣	長野縣	宮城縣	宮城縣
部	部	部	部	部	部	部	部	部	部	部	部	部
部	部	部	部	部	部	部	部	部	部	部	部	部
十一人	九人	九人	九人	四人	四人	五人	五人	五人	七人	一人	一人	一人

△九 龜市	高 松市	香 川縣	郡 德島	德 島縣	郡 和歌山	和 歌山縣	郡 赤間關	山 口縣	郡 尾道	△ 尾道	廣 島縣	廣 島縣	郡 岡山	岡 山縣
部	市	部	市	部	市	部	市	部	市	市	縣	縣	部	市
一 人	一 人	五 人	一 人	五 人	一 人	七 人	一 人	十 人	一 人	一 人	一 人	一 人	八 人	一 人

熊 本縣	郡 佐賀	佐 賀縣	大 分縣	郡 小倉	△ 小倉	△ 門司	△ 久留米	福 岡縣	福 岡縣	郡 高知	高 知縣	郡 松山	愛 媛縣	愛 媛縣
部	市	部	部	部	市	市	市	市	市	市	市	市	部	部
五 人	一 人	六 人	十 人	一 人	一 人	一 人	一 人	一 人	一 人	五 人	一 人	七 人	一 人	五 人

△ 秋田	郡 米澤	郡 山形	山 形縣	郡 青森	青 森縣	弘 前縣	郡 盛岡	巖 手縣	郡 若松	福 島縣	福 島縣	
部	市	部	市	部	市	市	部	市	部	市	部	
六 人	一 人	六 人	一 人	一 人	四 人	一 人	一 人	五 人	一 人	八 人	一 人	六 人

岡 山縣	隱 岐部	郡 松江	島 根縣	島 根縣	△ 鳥取	鳥 取縣	郡 高岡	富 山縣	富 山縣	郡 金澤	石 川縣	石 川縣	郡 福井	福 井縣
縣	部	市	部	部	市	市	部	市	市	部	市	市	部	市
一 人	五 人	一 人	三 人	一 人	五 人	一 人	一 人	五 人	一 人	五 人	一 人	四 人	一 人	一 人

熊本市	一人
熊本市	八人
宮崎縣	四人
鹿兒島縣	一人
鹿兒島	七人
鹿兒島	一人
大郡	一人
北海道廳	一人
札幌區	一人
函館區	一人
小樽區	一人
札幌、小樽、岩内、増毛、宗谷、上川、空知、室蘭、浦河各支廳管内	一人

函館、松前、檜山、壽都各支廳管内	一人
根室、釧路、河西、網走各支廳管内	一人
(根室支廳管内千島ニ屬スル諸郡ヲ除ク)	
沖繩縣	
那覇區	
首里區	
島尻郡	二人
中頭郡	
國頭郡	

△本表ハ選舉區ノ人口ニ増減ヲ生スルモ少クトモ十箇年間ハ之ヲ更正セス

第二一號

選舉法百十二條ニ依ル選舉人名簿ニ關スル件(明治三十五年三月十日勅令第四十號)

明治三十三年法律第七十三號衆議院議員選舉法第百十二條ニ依リ明治三十五年ニ於ケル衆議院議員選舉人名簿ノ調製ニ限リ同法第十八條乃至第二十條第二十六條及第二十七號ノ期日及期間ヲ左ノ如ク定ム

第十八條第一項ノ選舉資格調査ノ期日ヲ四月一日トシ選舉人名簿送付ノ期限ヲ四月十五日トシ同條第二項ノ期限ヲ四月三十日トシ同條第三項ノ選舉資格調査ノ期日ヲ四月一日トシ選舉人名簿調製ノ期限ヲ四月三十日トス

第十九條ノ期限ヲ四月五日トス

第二條ノ期間ヲ五月五日ヨリ十五日間トス

第二十六條第一項ノ期間ヲ五月二十日ヨリ六月十日迄トシ第二項ノ期限ヲ六月二十日トス

第二十七條第一項ノ期日ヲ六月二十日トス

第三號

衆議院議員選舉法施行令(明治三十四年十月十三日勅令第百八十六號)

- 第一條 處議院議員選舉法第二條ニ依リ市町村ニ於テ二箇以上ノ投票區ヲ設ケ又ハ數町村ノ區域ニ依リ一投票區ヲ設クルコトヲ要スルトキハ地方長官之ヲ定メ管内ニ告示スヘシ
- 第二條 二箇以上ノ投票區ヲ設ケタル場合ニ於テハ左ノ規定ニ依ル
- 一 選舉人名簿ハ每投票區各別ニ之ヲ調製スヘシ
 - 二 各投票區ニ於ケル投票管理者ハ市ニ在リテハ地方長官、町村ニ在リテハ郡長ニ於テ官吏又ハ吏員ノ中ニ就キ之ヲ指名ス此場合ニ於テハ投票管理者ノ内一名ハ市町村長、市町村長故障アルトキハ其ノ職務ヲ行フ者ヲ以テ之ニ充ツルコトヲ要ス
 - 三 市町村長ハ選舉前選舉人名簿ヲ各投票管理者ニ送付スヘシ
 - 四 投票ヲ終リタルトキハ市ノ投票管理者ハ一名又ハ數名ノ投票立會人ト共ニ遲滯ナク投票函、投票録及選舉人名簿ヲ開票管理者ニ送致スヘシ
 - 五 市ノ開票所ニ於テハ投票函ノ總テ到達スルニ非サレハ之ヲ開クコトヲ得ス
- 第三條 數町村ノ區域ニ依リ一投票區ヲ設ケタル場合ニ於テハ左ノ規定ニ依ル
- 一 投票管理者ハ郡長ニ於テ關係町村長、町村長故障アルトキハ其ノ職務ヲ行フ者ノ中ニ就キ之ヲ

指名ス

- 二 町村長ハ選舉前選舉人名簿ヲ投票管理者ニ送付スヘシ
- 第四條 選舉人ノ年齢ハ選舉人名簿調製ノ期日ニ依リ被選舉人ノ年齢ハ選舉期日ニ依リ之ヲ算定ス
- 第五條 郡市町村ノ境界變更アリタル爲選舉人名簿ニ異動ヲ生シタルトキハ郡市長ニ在リテハ其ノ管理ニ屬スル選舉人名簿中異動ニ係ル部分ヲ新ニ屬シタル郡市ノ郡市長ニ送付シ町村長ニ在リテハ管理ニ屬スル選舉人名簿中異動ニ係ル部分ヲ新ニ屬シタル町村ノ町村長ニ送付シ同時ニ其ノ旨ヲ郡長ニ報告スヘシ
- 町村長ニ於テ選舉人名簿ノ送付ヲ受ケタルトキハ直ニ其ノ旨ヲ郡長ニ報告スヘシ
- 市町村ノ廢置分合アリタル爲選舉人名簿ノ引繼ヲ要スルトキハ本條ノ例ニ依ル
- 第六條 前條ニヨリ郡長ニ於テ市長ヨリ選舉人名簿ノ送付ヲ受ケタルトキハ直ニ其ノ副本ヲ調製シ關係町村長ニ送付スヘシ
- 第七條 選舉人名簿縦覧ノ場所ハ郡長及市町村長ニ於テ縦覧期日ヨリ少クトモ三日前ニ之ヲ告示スヘシ
- 第八條 選舉人名簿其ノ他選舉ニ關スル書類ハ使用ノ時期ヲ經過スルモ選舉若ハ當票ノ効力確定セサル間ハ之ヲ保存スルコトヲ要ス
- 市町村ニ於テ二箇以上ノ投票區ヲ設ケタル場合ニ於テハ投票管理者ノ保存スヘキ書類ハ市町村長ニ

於テ前項ノ例ニ依リ之ヲ保存スルコトヲ要ス

第九條 郡市町ニ於テ投票立會人ヲ選任シタルトキハ同時ニ其ノ住所氏名ヲ投票管理者ニ通知スヘシ

第十條 投票管理者ニ於テ必要アリト語ムルトキハ投票所入場券及到着番號札ヲ選舉人ニ交付スルコトヲ得

第十一條 投票記載ノ場所ハ選舉人ヲシテ他ノ選舉人ノ投票ヲ視ヒ又ハ投票ノ交換其ノ他不正ノ手段ヲ用フルコト能ハサラシムル爲相當ノ設備ヲ爲スヘシ

第十二條 投票函ハ二重ノ蓋ヲ造リ各別ニ鎖鑰ヲ設クヘシ

第十三條 投票管理者ハ選舉ヲ爲サシムルニ先チ投票所ニ參集シタル選舉人ノ面前ニ於テ投票函ヲ開キ其空虛ナルコトヲ示シタル後内蓋ヲ鎖スヘシ

第十四條 投票用紙ハ投票管理者及投票立書人ノ面前ニ於テ選舉人ヲシテ其ノ住所氏名ヲ自稱セシメ選舉人名簿ニ對照シ且ツ投票簿ニ捺印セシメタル後之ヲ交付スヘシ

第十五條 選舉人誤テ投票ノ用紙又ハ封筒ヲ汚損セシメタルトキハ其ノ引換ヲ請求スルコトヲ得

第十六條 投票ハ投票管理者及投票立會人ノ面前ニ於テ選舉人自ラ之ヲ投函スヘシ

第十七條 投票ヲ爲サムトスル選舉人ヲシテ本人ナル旨ノ宣言ヲ爲サシムル必要アルトモハ投票管理者ハ投票立會人ノ面前ニ於テ之ヲ宣言セシメ投票所ノ事務ニ従事スル者ヲシテ之ヲ筆記セシメ選舉人ニ讀聞カセ選舉人ヲシテ之ニ署名捺印セシムヘシ

前項ノ宣言書ハ之ヲ投票録ニ添附スヘシ

第十八條 選舉人ニシテ投票前投票所外ニ退出シ又ハ退出シ命セラレタルトキハ投票管理者ハ投票用紙ヲ取上ケ其ノ旨ヲ投票簿ニ記入スヘシ

第十九條 投票所外ニ退出セシメラレタル選舉人ニシテ投票ヲ爲サムトスル者アルトキハ投票管理者ハ投票所ノ入口ヲ鎖スニ先チ入場ヲ許スヘシ

第二十條 投票ヲ終リタルトキハ投票管理者ハ投票函ノ内蓋ノ投票口及外蓋ヲ鎖シ其ノ内蓋ノ鑰ハ投票函ヲ送致スヘキ投票立會人之ヲ保管シ外蓋ノ鑰ハ投票管理者之ヲ保管スヘシ

第二十一條 衆議院議員選舉法第四十四條ニ依リ選舉長ニ於テ更ニ投票期日ヲ定メタルトキハ直ニ之ヲ郡市長ニ通知スヘシ

郡市長ニ於テ前項ノ通知ヲ受ケタルトキハ更ニ衆議院議員選舉法第三十二條ノ手續ヲ爲スヘシ

第二十二條 地方長官ニ於テ開票立會人ヲ選任シタルトキハ同時ニ其ノ住所氏名ヲ開票管理者ニ通知スヘシ

第二十三條 投票ヲ點檢スルトキハ投票管理者又ハ選舉事務ニ従事スル者ニ於テ毎票記載ノ氏名ヲ朗讀シ選舉事務ニ従事スル者二名ヲシテ各別ニ同一被選舉人ノ得票ヲ點數簿ニ記入セシムヘシ

第二十四條 投票ノ點檢ヲ終リタルトキハ開票管理者ハ各被選舉人ノ得票數ヲ朗讀スヘシ

第二十五條 開票管理者ハ點檢濟ニ係ル投票ノ有效無效ヲ區別シ開票立會人ト共ニ封印ノ上之ヲ保存

スヘシ

不受理ノ決定アリタル投票ハ其ノ封筒ト其ニ前項ノ例ニ依リ之ヲ保存スヘシ

第二十六條 開票管理者衆議院議員選舉法第六十一條ノ報告ヲ爲ストキハ開票録ノ謄本ヲ添附シ併セテ選舉人名簿ニ記載セラレタル者ノ總數ヲ報告スヘシ

前項ノ報告ヲ爲シタルトキハ開票管理者ハ各投票管理者ヨリ送付シタル選舉人名簿ヲ關係町村長ニ返付スヘシ

第二十七條 選舉長ニ於テ開票管理者ノ報告書ヲ調査スルトキハ毎開票區得票者ノ氏名及其ノ得票數ヲ朗讀シ終ニ各得票者ノ得票總數ヲ朗讀スヘシ

第二十八條 衆議院議員選舉法第六十二條ニ依リ選舉長ニ於テ開票期日ヲ定メタルトキハ地方長官ハ更ニ同法五十三條ノ手續ヲ爲スヘシ

第二十九條 選舉人名簿、投票簿、投票ノ用紙及封筒並投票函ノ調製ニ要スル費用ハ府縣費及北海道地方費ヲ以テ之ヲ支辨スヘシ

第三十條 選舉長、開票管理者又ハ投票管理者ニ於テ選舉事務ノ爲要スル費用及選舉會場、開票所又ハ投票所ニ要スル費用ハ當該行廳ノ經費ヲ以テ之ヲ支辨スヘシ

第三十一條 數町村ノ區域ニ依リ一投票區ヲ設ケタル場合ニ於テハ町村費ヲ以テ支辨スヘキ費用ハ之ヲ各町村ニ平分スヘシ

第三十二條 投票立會人、開票立會人及投票立會人ニハ地方長官ノ定ムル所ニ依リ職務ノ爲要スル費用ヲ給スルコトヲ得

前項ノ費用ハ府縣費及北海道地方費ヲ以テ之ヲ支辨スヘシ

第三十三條 衆議院議員選舉法ニ於ケル直接國稅ノ種類左ノ如シ

一 地、租

二 所得稅 所得稅法第三條第一項第二種ノ所得中無記名債券ノ所得ニ係ル所得稅ヲ除ク

三 營業稅

第三十四條 衆議院議員選舉法第一項ノ別表ニ於テ獨立ノ選舉區ト爲シタルモノヲ除クノ外市ハ從前屬シタル選舉區ニ包含スルモノトス

第三十五條 郡市ノ區域ニ屬セサル島嶼ニ於テハ開票區ハ島ノ區域ニ係ル

第三十六條 開票管理者、投票管理者及其ノ代理者故障アルトキハ上級官廳ニ臨時ニ官吏又ハ吏員ヲシテ其ノ事務ヲ管掌セシムルコトヲ得

第三十七條 衆議院議員選舉法第三條及第六條ノ規定ハ本令ニ之ヲ準用ス

第三十八條 北海道ノ札幌區、函館區及小樽區ニ於テハ衆議院議員選舉法其ノ他之ニ關スル法令中市トアルハ區長、市役所トアルハ區役所ニ該當ス

第四號

市町村外ニ於ケル納稅證明ノ件(明治三十四年十月七日
內務省令第二十七號)

明治三十三年法律第七十三號衆議院議員選舉法第十九條ニ依リ選舉人ニ於テ納稅ノ届出ヲ爲ストキハ選舉人名簿ニ記載セラルヘキ納稅要件ニ付地租營業稅及所得稅法第三條第一項第三種ノ所得ニ係ル所得稅ヲ納ムルモノニ在テハ其ノ稅ヲ徵收スル行政廳ノ證明ヲ得所稅第三項第一條第二種ノ所得中記名債券ノ所得ニ係ル所得稅ヲ納ムル者ニ在テハ其ノ稅ヲ徵收スル公共團體若ハ組合又ハ銀行會社ノ證明ヲ得ルコトヲ要ス
前項證明ノ請求ヲ受ケタル行政廳公共團體若ハ組合又ハ銀行會社ハ遲滯ナク證明ヲ爲スヘシ

第五號

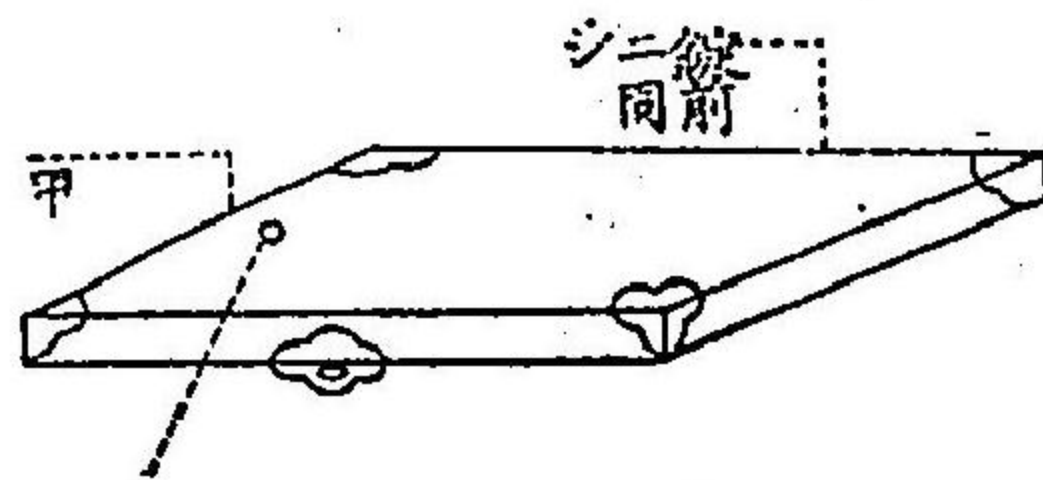
衆議院議員選舉法第二十七條ニ依リ更ニ調製スル選舉人名簿ノ件

(明治三十四年十月七日
內務省令第二十八號)

明治三十三年法律第七十三號衆議院議員選舉法第二十七條末項ノ選舉人名簿ノ調製及其ノ期日縱覽確定ニ關スル期間等ハ地方長官之ヲ定ム

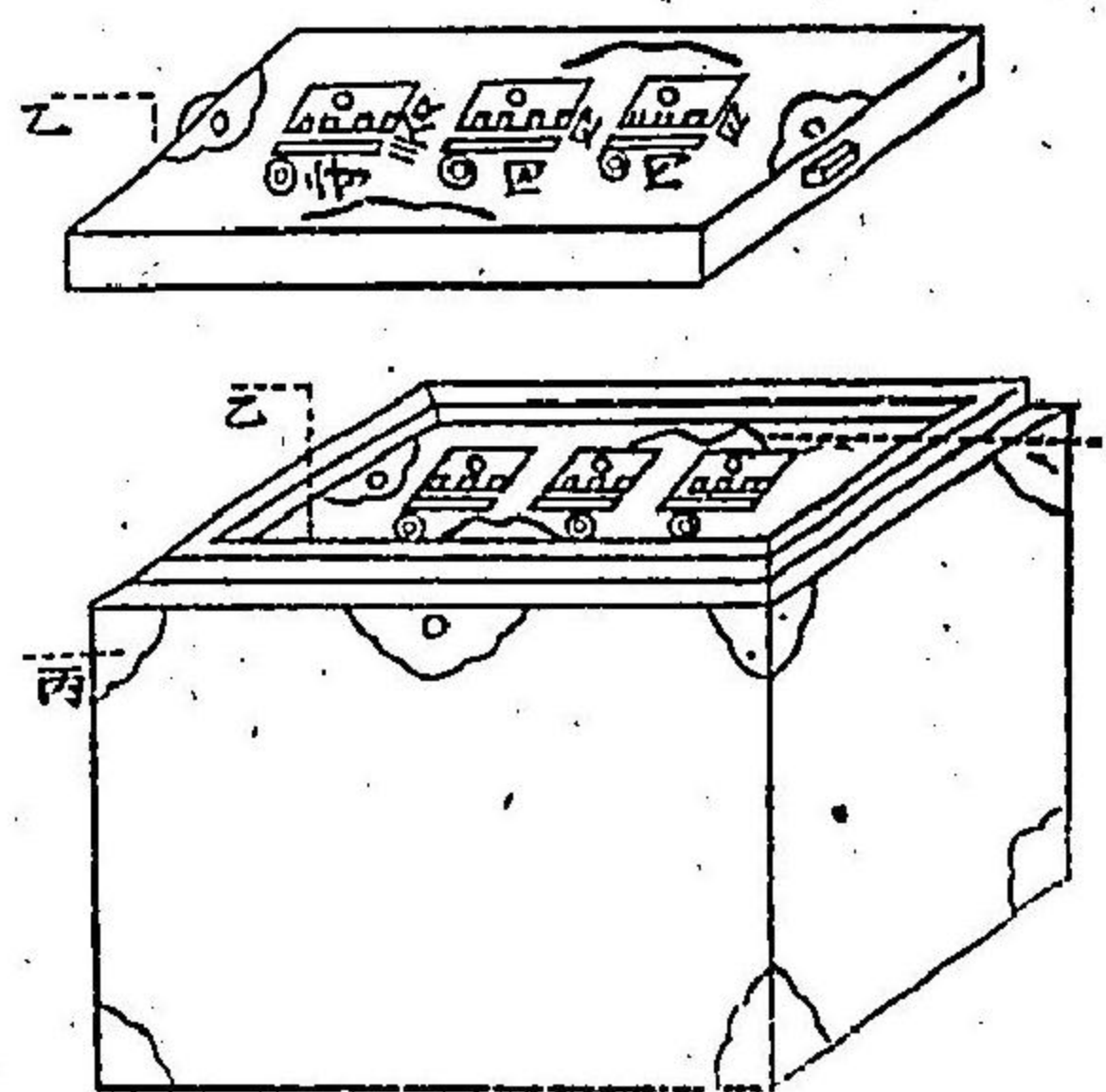
投票函樣式

厚仕上凡八步
高凡一尺二寸
幅凡一尺五寸
横凡一尺
但シ大小ハ
選舉人ノ多
寡ニ應シ遠
宜ニ之ヲ造
ルヘシ



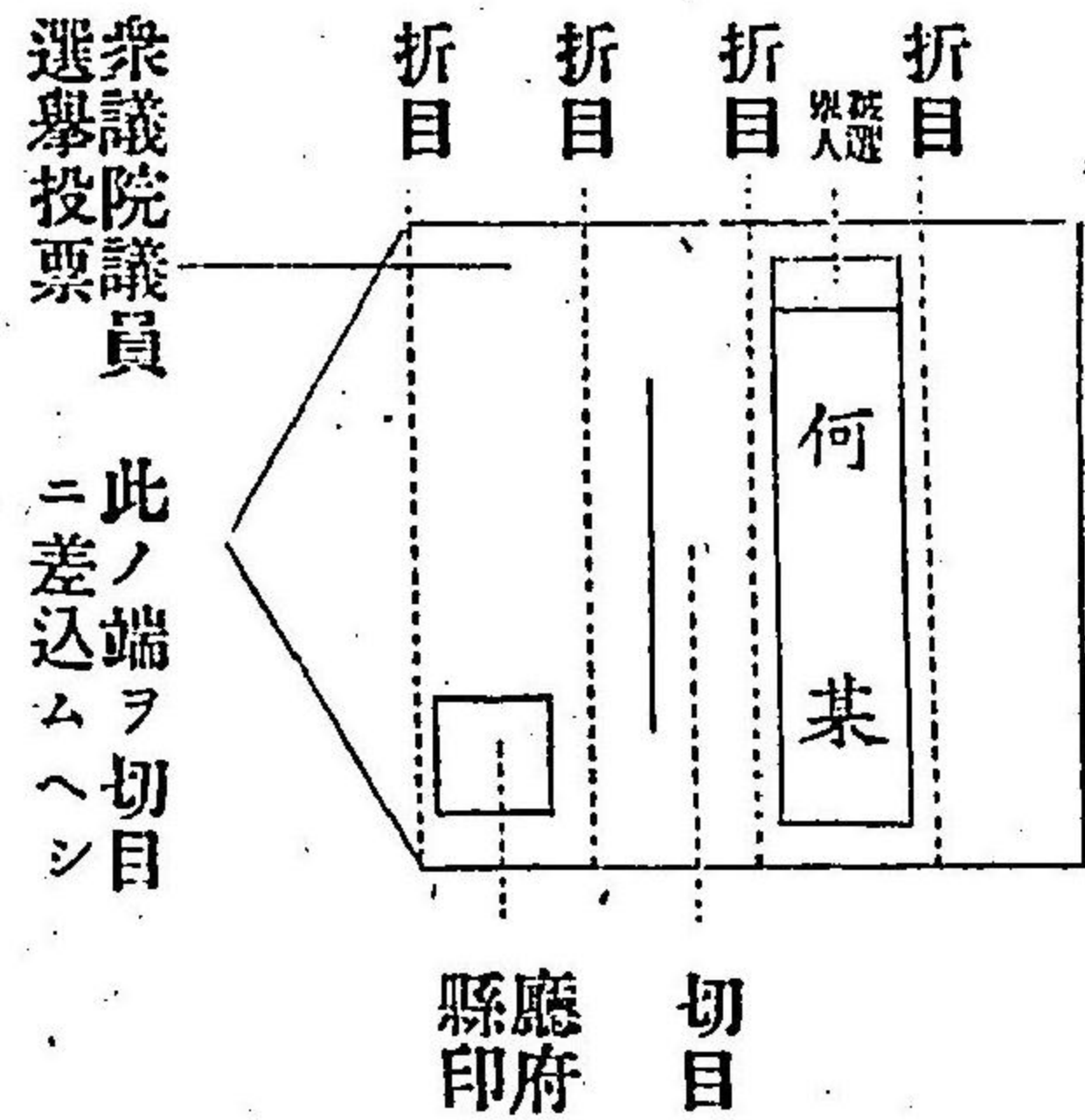
衆議院議員投票函
何村區
何郡(市)何町村投票所

此ハ此ノ内ノ錠
ノナ錠内ノ錠
ハ用モ異ノハ此
ヘラルト蓋錠

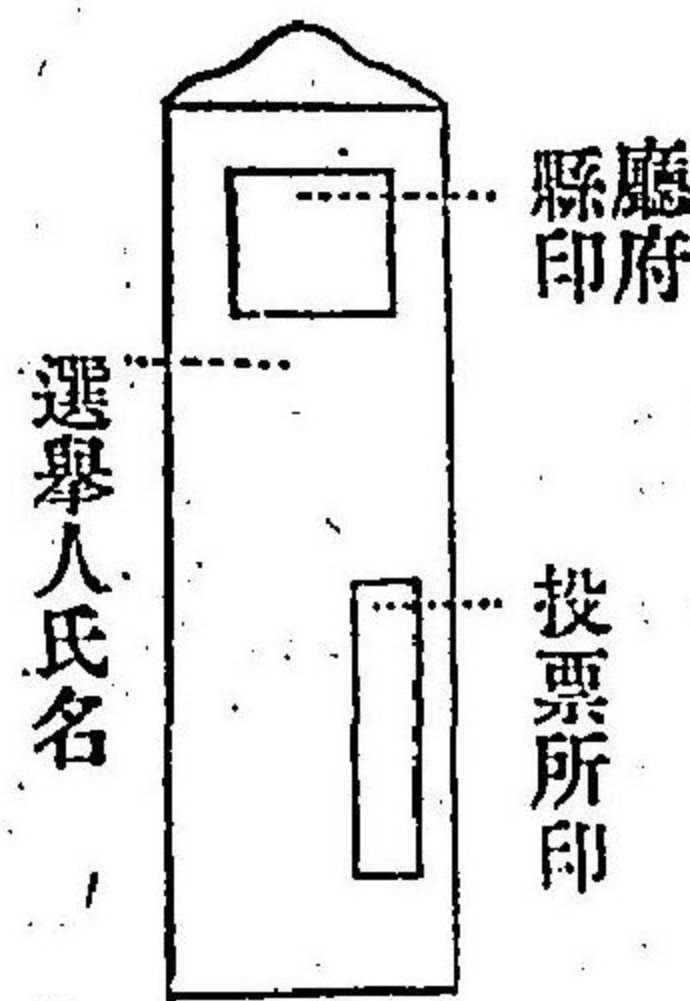
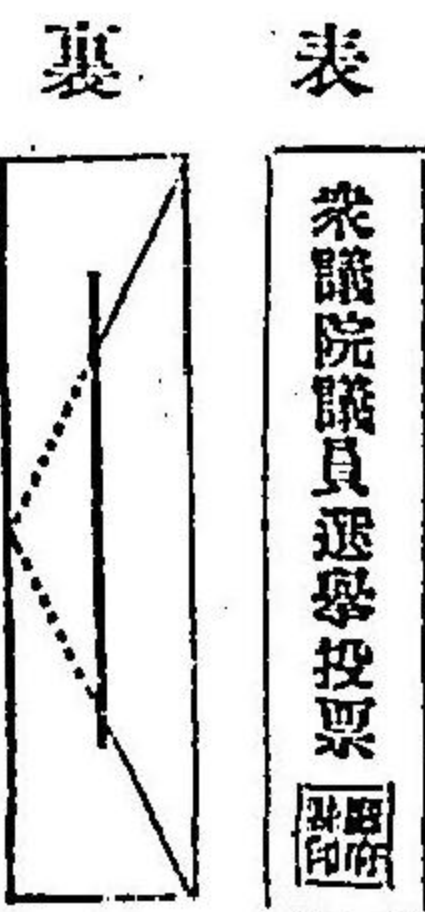


投票口ハ便宜ニ從ヒ一箇又ハ
二箇ト爲スモ妨ケナシ
此ノ蓋ハテウツガイニ造リ投
票終レハ蓋トナシ錠ヲオロス
但シ内蓋ノ輪ハ五箇所共一種
ノモノヲ用フ

投票用紙樣式 用紙程村又ハ西ノ内



衆議院議員選舉法第三十九條ニ依リ假ニ爲
サシムル投票ノ封筒樣式



第七號

衆議院議員選舉法及同施行令ニ關スル事務及書式等取扱方

(明治三十四年十月七日) 廳府縣
內務省訓令第十四號

- 第一條 衆議院議員選舉法第三十二條ニ依リ選任シタル投票立會人其ノ職ヲ辭シタル場合ニ於テ選舉ノ期日ヨリ少クトモ二日前ニ之ヲ本人ニ通知スルコトヲ得ヘキ餘日ヲ存スルトキハ同條ニ依リ更ニ投票立會人ヲ選任スヘシ
- 第二條 市役所町村役場以外ニ投票所ヲ設クル場合ニ於テハ可成門戸アル場所ヲ指定スヘシ
- 第三條 投票用紙及封筒ヲ各投票所ニ配付スルトキハ投票所毎ニ各其ノ數ヲ明記シ投票終了ノ後直ニ使用ノ數ヲ報告セシメ殘餘及汚損ノ投票用紙及封筒ハ同時ニ之ヲ返還セシムヘシ
- 第四條 投票所ハ概略別記様式ニ從ヒ選舉人ノ多少ニ依テ適宜之ヲ斟酌シ受付所選舉人控所選舉人名簿對照投票簿捺印及投票用紙交付所投票記載所投票ノ場所等ヲ設備スヘシ
- 第五條 投票ハ投票記載ノ爲設ケタル卓上ニ於テ之ヲ記載セシメ其ノ記載終リタルトキハ直ニ投函セシムヘシ
- 投票記載ノ爲設ケタル卓上ニハ筆硯墨ヲ備ヘ置キ投票記載ニ支障ナカラシムヘシ
- 第六條 選舉人ノ出入ノ門戸及投票所出入口等ニハ警察官吏又ハ特ニ設ケタル取締人ヲ配置シ取締ヲシムヘシ

爲サシムヘシ

- 第七條 衆議院議員選舉法第四十條ニ依リ投票函閉鎖ノ後ハ開票管理者ニ送致スル迄ノ間投票函ハ之ヲ投票所外ニ轉送スルコトヲ得ス
- 第八條 衆議院議員選舉法第六十六條ニ依リ選任シタル選舉立會人其職ヲ辭シタル場合ニ於テ選舉會開會ノ日ヨリ少ナクトモ二日前ニ之ヲ本人ニ通知スルコトヲ得ヘキ餘日ヲ存スルトキハ同條ニ依リ更ニ選舉立會人ヲ選任スヘシ
- 第九條 衆議院議員選舉法第七十條ノ手續ハ選舉會ニ於テ之ヲ行フヘシ
- 第十條 投票簿投票錄開票錄選舉點數簿ハ別記様式ニ依リ之ヲ調製スヘシ
- 投票錄開票錄選舉錄ハ謄本ヲ調製シ選舉人又ハ被選舉人ノ請求アリタルトキハ之ヲ閱覽セシムヘシ
- 第十一條 當選證書ハ別記様式ニ依リ之ヲ調製スヘシ
- 第十二條 投票所開票所選舉會場ニハ各其ノ門戸ニ標札ヲ掲クヘシ

(別記)

投票所様式

入口		出口	
選挙人 控所	所受付		
	投票管理 立會人 立會人 ○○○		
投票用紙 捺印所 交付所		投票函	
投票記載所	投票記載所	投票記載所	投票記載所

投票簿様式 (用紙美濃紙)

選挙人名簿番號				氏名			
第一號				何	某	印	
第二號				、	、	、	

一投票簿ハ選挙人名簿ノ番號順序ニ依ラス便宜イロハ順ト爲スモ妨ケナシ
投票録様式

何府縣郡市町村衆議院議員投票所投票録

憲法行政法通義 附錄 選挙法通解(附錄)

欄上
何年何月何日
投票執行

- 一 投票所ハ何町村役場(何市役所)(何ノ場所)ニ之ヲ設ケタリ
- 二 左ノ投票立會人ハ何レモ投票時刻マテニ投票所ニ參會シタリ

住	所	氏	名
住	所	氏	名
住	所	氏	名
住	所	氏	名

投票時刻ニ至リ投票立會人中何名參會セサルニ由リ投票管理者ハ臨時ニ投票區内ニ於ケル選舉人中ヨリ左ノ者ヲ投票立人會ニ選任シタリ

- 三 投票場ハ何年何月何日午前第七時ニ之ヲ開キタリ

- 四 投票立會人中氏名ハ一旦參會シタルモ午^前後^後第何時何々ノ事故ヲ以テ其職ヲ辭シタル爲其ノ定數ヲ缺キタルニ由リ投票管理者ハ臨時ニ投票區内ニ於ケル選舉人中ヨリ午^前後^後第何時左ノ者ヲ投票立會人ニ選任シタリ

住	所	氏	名
---	---	---	---

- 五 投票管理者ハ投票立會人ト共ニ投票ニ先チ投票所ニ參集シタル選舉人ノ面前ニ於テ投票函ヲ開キ其ノ空虛ナルコトヲ示シタル後内蓋ヲ鎖シ投票管理者及投票立會人ノ列席スル面前ニ之ヲ置キタリ

- 六 投票管理者及投票立會人ノ面前ニ於テ選舉人ヲシテ逐次其ノ住所氏名ヲ自稱セシメ選舉人名簿ニ對照シ且ツ投票簿ニ捺印セシメタル後(到着番號札ト引換ニ)投票用紙ヲ交付シタリ

- 七 選舉人ハ自ラ投票ヲ認メ之ヲ投票函ニ投入シタリ

- 八 投票管理者ハ左ノ選舉人ノ本人ナルヤ否ヲ確認スルコト能ハサリシヲ以テ投票立會人ノ面前ニ於テ本人ナル旨ヲ宣言セシメ投票所ノ事務ニ從事スル職氏名ヲシテ之ヲ筆記セシメ之ヲ選舉人ニ讀ミ聞カセ選舉人ヲシテ之ニ署名捺印セシメタリ

住	所	氏	名
---	---	---	---

投票管理者ハ左ノ選舉人ノ本人ナルヤ否ヲ確認スルコト能ハサリシヲ以テ投票立會人ノ面前ニ於テ其ノ本人ナル旨ノ宣言ヲ命シタルモ其ノ宣言ヲ爲サルニ依リ本人ニアラスト認メ之ヲ投票所外ニ退出セシメタリ

住	所	氏	名
---	---	---	---

- 九 左ノ選舉人ハ選舉人名簿ニ登録ナキモ之ニ登録セラルヘキ確定判決書ヲ所持シ投票所ニ到着シタルニ依リ投票管理者ハ之ヲシテ投票セシメタリ

住	所	氏	名
---	---	---	---

- 十 左ノ選舉人ハ何々ノ事由ニ依リ投票管理者ニ於テ投票立會人ノ意見ヲ聽キ投票ヲ許否シタリ

住	所	氏	名
---	---	---	---

假ニ投票ヲ爲サシメタル者

何人

二十一 以上ノ外投票ニ關シ投票管理者ニ於テ緊要ト認ムル事項アルトキハ之ヲ記載スヘシ
投票管理者ハ此ノ投票録ヲ作り之ヲ朗讀シタル上投票立會人ト共ニ茲ニ署名ス

何年何月何日

投票管理者

何市町村長

氏

名

投票立會人

氏

名

氏

名

氏

名

開票録様式

何府縣郡市衆議院議員開票所開票録

欄上
何年何月何日
開票執行

一 開票所ハ何郡市役所(何ノ場所)ニ之ヲ設ケタリ

二 左ノ開票立會人ハ何レモ開票時刻マテニ開票所ニ參會シタリ

往 所

氏

名

住 所

氏

名

開票時刻ニ至リ開票立會人中何名參會セサルニ由リ開票管理者ハ臨時開票區内ニ於ケル選舉人中
ヨリ左ノ者ヲ開票立會人ニ選任シタリ

住 所

氏

名

三 何年何月何日各投票所ノ投票函總テ到達シタルヲ以テ(郡)

何月何日何日投票ヲ了リタルヲ以テ(市)

其ノ翌何日開票所ヲ開キ午前何時ヨリ開票ヲ行フ

四 開票立會人中氏名ハ一旦參會シタルモ午^前後第何時何々ノ事故ヲ以テ其ノ職ヲ辭シタル爲其ノ定

數ヲ缺キタルニ由リ開票管理者ハ臨時ニ開票區内ニ於ケル選舉人中ヨリ午^前後第何時左ノ者ヲ開票

立會人ニ選任シタリ

住 所

氏

名

五 開票管理者ハ開票立會人立會ノ上逐次投票函ヲ開キ投票ノ總數ト選舉人ノ總數トヲ計算シタル
ニ左ノ如シ

投票數

何 票

投票人數

何 人

外

假ニ爲シタル投票數
何 票
假ニ爲シタル投票人數
何 人

投票總數ト投票人總數ト符合セリ

投票總數ト投票人總數ト符合セス即投票總數ハ投票人總數ニ比シ何票多ク又ハ少シ(其ノ理由ノ明カナルモノハ之ヲ記載ス)

六 投票管理者ヨリ許否ノ決定ヲ受ケタル者ニ於テ假ニ投票ヲ爲シタル者左ノ如シ

住 所 氏 名
住 所 氏 名

投票管理者ハ右ノ投票ヲ調査シ投票立會人ノ意見ヲ聽キ左ノ通之ヲ決定シタリ

受理セシモノ

一 事由何々
住 所 氏 名

一 事由何々
住 所 氏 名

受理セサリシモノ

一 事由何々
住 所 氏 名

一 事由何々
住 所 氏 名

七 開票管理者ハ各投票所ノ投票ヲ混同シ投票立會人ト共ニ投票ヲ點檢シ開票管理者ハ每票記載ノ氏名ヲ朗讀シタリ

八 選舉事務ニ従事スル官職氏名及官職氏名ノ二名ハ投票記載ノ氏名ノ朗讀ニ應シ各別ニ同一被選舉人ノ得票ヲ點數簿ニ記入シ且一名ニ於テ各被選舉人ノ得票ヲ記入スル毎ニ其ノ得票數ヲ呼ヒ他ノ一名ト共ニ其ノ得票數ヲ校合シタリ

九 開票管理者ニ於テ開票立會人ノ意見ヲ聽キ有效又ハ無効ト決定シタル投票左ノ如シ

一 有效ト決定シタルモノ
何 票

一 無効ト決定シタルモノ
何 票

内

一 成規ノ用紙ヲ用ヒサルモノ
何 票

二 一投票中二人以上ノ被選人ヲ記載シタルモノ
何 票

三 被選舉人ノ何人タルヲ確認シ難キモノ
何 票

四

五

總 計 何 票

十 午後何時投票ノ點檢ヲ了リタルヲ以テ開票管理者ハ各被選舉人ノ得票數ヲ朗讀シタリ

十一 被選舉人ノ得票數左ノ如シ

何	票	氏	名
何	票	氏	名

十二 開票管理者ハ點檢濟投票ノ有效及不受理ノ決定アリタル投票ヲ大別シ尙有效ノ決定アリタル投票ニ在テハ得票者毎ニ之ヲ區別シ無効ノ決定アリタル投票ニ在テハ之ヲ類別シテ各別ニ之ヲ封筒ニ入レ開票立會人ト共ニ之ヲ封印シタリ

十三 午前第何時開票所ノ事務ヲ結了ス

十四 左ノ何名ハ開票所ノ事務ニ從事シタリ

官	職	氏	名
官	職	氏	名
官	職	氏	名

十五 開票所ニ臨監シタル官吏左ノ如シ

十六 以上ノ外開票ニ關シ開票管理者ニ於テ緊要ト認ムル事項アルトキハ之ヲ記載スヘシ開票管理者ハ此ノ開票録ヲ作り之ヲ朗讀シタル上開票立會人ト共ニ茲ニ署名ス

何年何月何日

開票管理者

何	郡市長	氏	名
開	票立會人	氏	名
		氏	名
		氏	名

選舉錄樣式

何府縣何郡(何市)(何市)衆議院議員選舉會選舉錄

欄上
何年何月何日
選舉會開會

一 選舉會ハ何年何月何日何ノ場所ニ於テ之ヲ開キ午前第時ヨリ其ノ事務ヲ開始シタリ
二 左ノ選舉立會人ハ何レモ選舉開會ノ時刻マテニ選舉會ニ參會シタリ

住	所	氏	名
住	所	氏	名
住	所	氏	名

選舉會開會ノ時刻ニ至リ選舉立會人中何名參會セサルニ由リ選舉長ハ臨時ニ選舉區内ニ於ケル選舉人中左ノ者ヲ選舉立會人ニ選任シタリ

三 選舉立會人中氏名ハ一日參會シタルモ午^後第何時何々ノ事故ヲ以テ其ノ職ヲ辭シタル爲其ノ定數ヲ缺キタルニ由リ選舉長ハ臨時ニ選舉區内ニ於ケル選舉人中ヨリ午^後第何時左ノ者ヲ選舉立會人ニ選任シタリ

住 所 氏 名

四 選舉長ハ選舉立會人立會ノ上開票管理者ノ報告書ヲ逐次調査シ毎開票區得票者ノ氏名及其ノ得票數ヲ朗讀シ終ニ各得票者ノ得票總數ヲ朗讀シタリ其ノ得票總數左ノ如シ

何 票 氏 名

何 票 氏 名

何 票 氏 名

五 選舉區内ノ議員定數ヲ以テ選舉人名簿ニ記載セラレタル者ノ總數何人ヲ除シテ得タル數ハ何人ニシテ此ノ五ノ一ノ數ハ何票ナリ得票者中此ノ數ニ達スルモノヲ舉クレハ左ノ如シ

何 票 氏 名

何 票 氏 名

右ノ内有效投票ノ最多數ヲ得タル左ノ何名ヲ以テ當選人トス

氏 名

氏 名

(但シ氏名及氏名ハ得票ノ數相同キニ依リ其ノ生年月ヲ調査スルニ氏名ハ何年何月生氏名ハ何年何月生ニシテ氏名年長者ナルヲ以テ當選人ト定メタリ
 同年月ナルヲ以テ選舉長ニ於テ抽籤シタルニ氏名當籤セリ依テ氏名ヲ以テ當選人ト定メタリ)
 六 午後第何時選舉會ノ事務ヲ結了ス
 七 左ノ何名ハ選舉會ノ事務ニ從事シタリ

官 職 氏 名
 官 職 氏 名

八 以上ノ外選舉ニ關シ選舉長ニ於テ緊要ト認ムル事項アルトキハ之ヲ記載スヘシ
 選舉長ハ此ノ選舉錄ヲ作り之ヲ朗讀シタル上選舉立會人ト共ニ茲ニ署名ス
 何年何月何日

選舉長
 何府縣知事 氏 名
 選舉立會人 氏 名

衆議院議員當選證書様式 用紙鳥ノ子四ツ切

氏名 六五八

衆議院議員當選證書

住所

氏名

右ノ者何府縣(何府縣郡部)(何府縣郡部)選舉區ニ於テ衆議院議員ニ當
選シタルコトヲ證ス

年月日

地方長官

氏名印

點數様式 用紙美濃紙

得點總數	一	二	三	四	五	六	七	八	九	一〇	一	二	三	四	五	六	七	八	九	一〇	氏名	
一八〇											一九〇											
一六〇											一七〇											
一四〇											一五〇											
一二〇											一三〇											
一〇〇											一一〇											
八〇											九〇											
六〇											七〇											
四〇											五〇											
二〇											三〇											
											一〇											

明治四十二年十二月一日印刷
明治四十二年十二月八日發行

法典釋義全書第壹編

憲法行政法通義與付

定價金壹圓五拾錢

著者 西村 勘之助

發行者 葉多野 太兵衛

東京市神田區今川小路二丁目四番地

印刷者 山 田 英 二

東京市小石川區久堅町百八番地

印刷所 博文館印刷所

東京市小石川區久堅町百八番地



發行所

電話本局九六五
掛號附金七四四七

東京市神田區今川小路二丁目四番地

清水書店

法典釋義全書

編一第

憲法行政法通義

法學博士 清水澄先生監修
辯護士 西村勘之助君著

(既)

菊版クローズ製
紙數六百六十頁

刊

定價 金壹圓五拾錢
郵稅 內地金十二錢 漢清
韓、樺、金三十五錢

編二第

新刑法義解

法律學士 岩野新平先生校閱
辯護士 西村勘之助君著

(既)

菊版クローズ製
紙數六百三十頁

刊

定價 金壹圓五拾錢
郵稅 內地金十二錢 漢清
韓、樺、金三十五錢

編三第

修正刑事訴訟法通解

法學士 豐島直通先生校閱
辯護士 西村勘之助君著

(既)

菊版クローズ製
紙數六百三十頁

刊

定價 金壹圓五拾錢
郵稅 內地金十二錢 漢清
韓、樺、金三十五錢

編四第

民事訴訟法通義

佐伯兼次郎君著

(既)

菊版クローズ製
紙數八百頁

刊

定價 金壹圓五拾錢
郵稅 內地金十二錢 漢清
韓、樺、金三十五錢

法典釋義全書

第五編

法學博士 奧田義人先生校閱
辯護士 西村勘之助君著

民法通義

(近)

上卷 菊版クローヌ製
紙數約七百頁

刊

定價 金壹圓五拾錢
郵稅 內地金十二錢 臺灣金三十五錢

第六編

法學博士 奧田義人先生校閱
辯護士 西村勘之助君著

民法通義

(近)

下卷 菊版クローヌ製
紙數約七百頁

刊

定價 金壹圓五拾錢
郵稅 內地金十二錢 臺灣金三十五錢

第七編

法學博士 和仁貞吉先生校閱
辯護士 西村勘之助君著

民法通義

(近)

上卷 菊版クローヌ製
紙數約六百頁

刊

定價 金壹圓五拾錢
郵稅 內地金十二錢 臺灣金三十五錢

第八編

法學博士 和仁貞吉先生校閱
辯護士 西村勘之助君著

民法通義

(近)

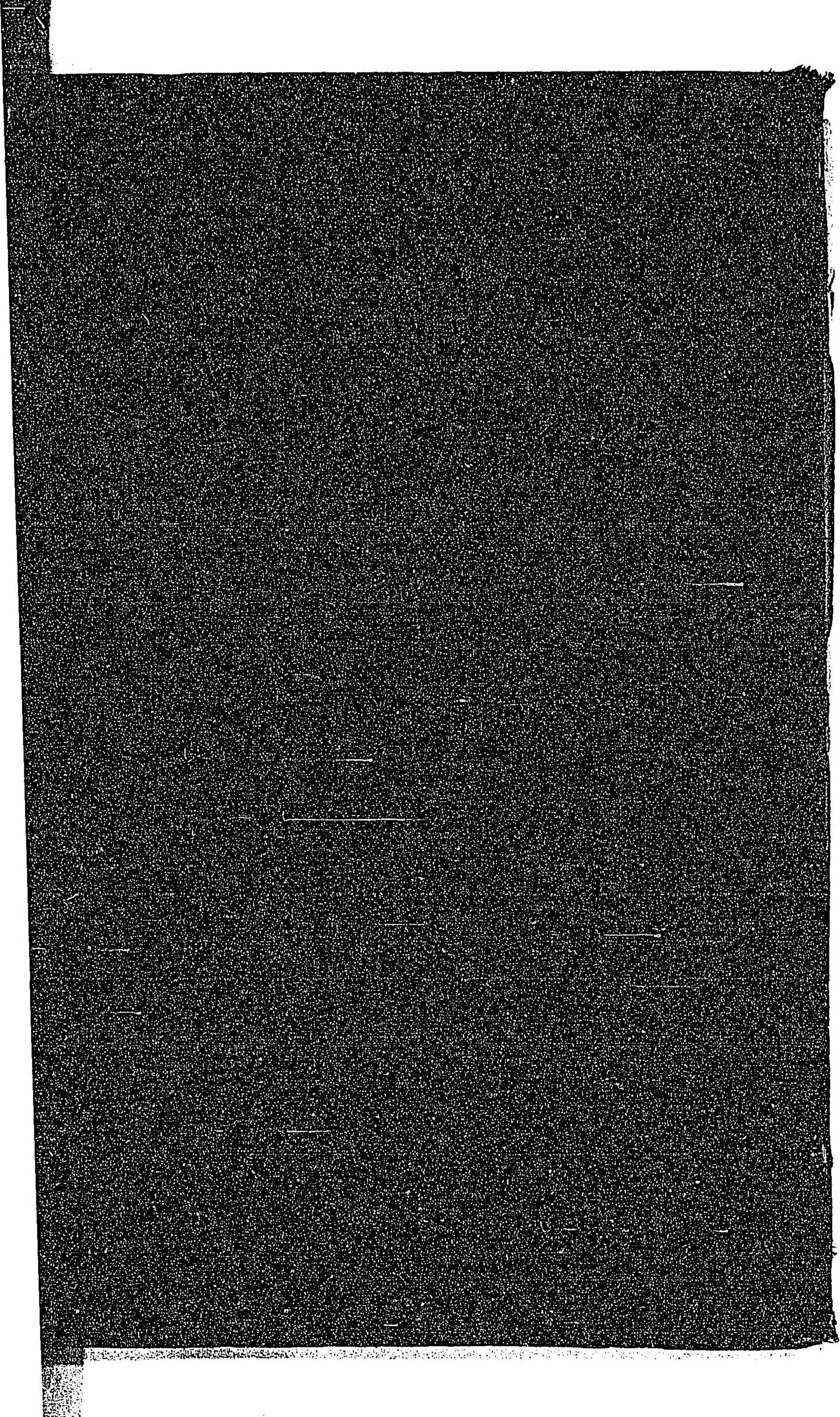
下卷 菊版クローヌ製
紙數約六百頁

刊

定價 金壹圓五拾錢
郵稅 內地金十二錢 臺灣金三十五錢

97
194

97
194



91
194

M

031487-000-7

91-194

憲法行政法通義

西村 勸之助 / 著

M42

BBE-0086

